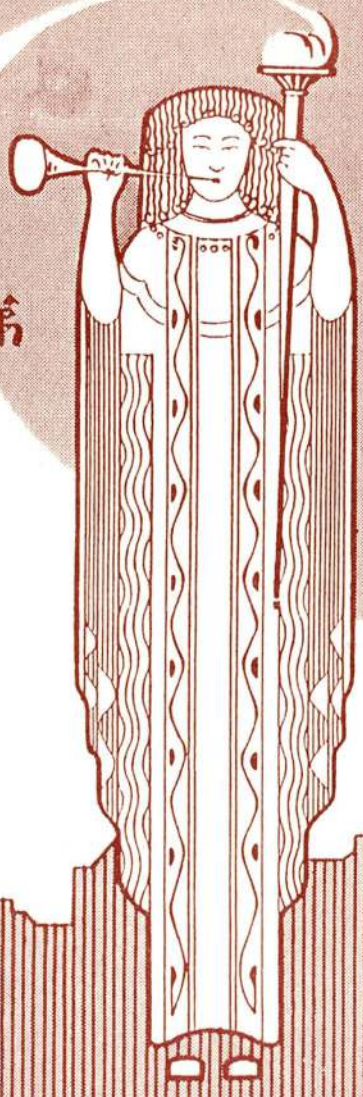
日本建築協會雜誌

第二輯　第九號



大正八年九月二十五日

日本建築協會會則

第一條　本會ノ目的ハ我國建築界ノ堅實ナル發展ヲ期スルニ在リ

第二條　本會ハ日本建築協會ト稱ス

第三條　本會ハ事務所ヲ大阪市ニ置ク

地方ニ支會ヲ設クルコトヲ得

第四條　本會ハ人格、學識、經驗アル建築家ヲ以テ會員トス

會員ノ氏名住所ハ會員名簿ニ之ヲ記錄ス

會員タラント希望スル者ハ會員五名以上ノ紹介ヲ以テ入會希望書及履歷書ヲ本會ニ提出スヘシ其諾否ハ理事會ノ詮衡ヲ經テ例會ニ於テ之ヲ議決ス

第五條　本會ハ其目的ヲ贊成シ事業ヲ援助スル者ヲ賛助員トス

賛助員ヲ分チテ左ノ四種トス

一　名譽賛助員―地位又ハ學識アル名望家

二　終身賛助員―金百圓以上又ハ之ニ相當スル物件ヲ本會ニ寄附スル篤志家

三　特別賛助員―建築ニ關聯スル特種ノ技術家又ハ事業家

四　普通賛助員―建築ニ關係又ハ趣味ヲ有スル者

賛助員ノ氏名住所寄附ノ金額又ハ物件ハ各賛助員名簿ニ之ヲ記錄ス

第六條　名譽賛助員ハ例會ノ決議ニ依リ本會ノ之ヲ推薦ス

終身賛助員タラントスル者ハ會員貳名以上ノ紹介ヲ以テ申込書及寄附ノ金額又ハ物件ヲ本會ニ提出スベシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

特別賛助員タラントスル者ハ會員二名以上ノ紹介ヲ以テ申込書及履歷書ヲ本會ニ提出スベシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

普通賛助員タラントスル者ハ會員ノ紹介ヲ以テ申込書ヲ本會ニ提出スヘシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

第七條　會員ハ第十九條ニ關スル權利ヲ享有ス

會員ハ會內ニ於ケル其言行ニ付會外ニ於テ責ニ任ゼザルコトヲ得

名譽賛助員ハ本會ノ優遇及第十九條ニ基キ相當ノ利得ヲ受ク

終身賛助員、特別賛助員及普通賛助員ハ第十九條ニ基キ會誌ノ配布其他各相當ノ利得ヲ受ク

第八條　會員ニシテ脫會セムトスル者ハ其旨ヲ本會ニ申込ムベシ

前項ノ規定ハ賛助員ニ之ヲ準用ス

第九條　本會ノ會員ニシテ本則ノ規定ニ違背シ又ハ本會ノ名譽ヲ汚スノ行爲アリト認メラルル者ニ對シ理事會ノ決議ヲ經テ其權利ヲ停止シ若ハ之ニ脫會ヲ勸告シ又ハ例會ノ決議ヲ經テ之ヲ除名スルコトヲ得

前項ノ規定ハ賛助員ニ之ヲ準用ス

第十條　脫會其他ノ事由ニ因リ會員タルノ資格ヲ失ヒタル者ハ既納會費ノ返還ヲ求メ又ハ其債務ヲ免カルルコトヲ得ズ

第十一條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一　會頭　一名

二　副會頭　一名

三　理事長　一名

四　理事　六名

會頭ハ會務ヲ總攬シ本會ヲ代表ス

副會頭ハ會務ヲ補佐シ會頭事故アルトキ其職務ヲ代理ス

理事長ハ會務ヲ總理シ會頭、副會頭事故アルトキ其職務ヲ代理シ理事會ヲ代表ス

理事ハ會務ヲ處理シ理事長事故アルトキ理事會ノ決議ニ依リ其職務ヲ代理ス

第十二條　役員ハ會員中ヨリ例會ニ於テ之ヲ選擧ス但會頭副會頭ノ名譽賛助員中ヨリ之ヲ選出スルコトヲ得

役員ノ任期ハ貳年トス

理事ノ改選ハ每年半數トス但引續キ重任スルコトヲ得ズ

第十三條　本會ニ左ノ職員ヲ置ク

一　主記　一名

二　主計　一名

三　編輯　三名

四　編輯補　若干名

五　書記　若干名

主記ハ庶務ヲ、主計ハ會計ヲ、編輯ハ編纂ヲ處理ス

編輯補ハ編輯ノ旨ヲ受ケ編纂ヲ分掌ス

書記ハ理事長理事及理事ノ命ヲ受ケ會務ニ從事ス

第十四條　主記、主計、編輯ハ理事之ヲ互選ス

編輯補ハ會員中ヨリ理事會之ヲ指名ス

書記ハ理事會之ヲ任命シ有給トスコトヲ得

第十五條　本會ハ調査研究ノ必要ニ應ジ例會ノ決議ニ依リ各部ノ委員會ヲ設ケ各部ニ委員長一名委員若干名ヲ置ク

委員長及委員ハ會員中ヨリ理事會之ヲ指名シ委員長ハ當該委員ノ互選トス

理事會ハ特殊事項ニ關シ會員外ノ專門家ヲ囑託委員トスコトヲ得

第十六條　委員長ハ當該委員會ヲ代表シ委員長故アルトキハ當該委員會ノ決議ニ依リ委員其職務ヲ代理ス

委員會ノ經過ハ例會ニ於テ之ヲ報告ス

委員會ノ調査研究報告ハ例會ノ決議ヲ經テ本會ノ名ヲ以テ之ヲ發表ス但シ緊急事項ニ付テハ理事會ノ承認ヲ經テ當該委員會ノ名ヲ以テスルコトヲ得

第十七條　本會ハ每月一回會員ヲ召集シ例會ヲ開キ重要事項ヲ審議シ報告會、談話會、討論會又ハ講演會ヲ催ス但理事會ハ必要ト認ムルトキ臨時之ヲ開催スルコトヲ得

例會ニ於ケル議案其他ノ事項ハ理事會之ヲ會員ニ報告ス但緊急事項ニ付テハ此限ニ在ラス

第十八條　本會ノ會計年度ハ每年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

本會ノ會計ハ每年三月ニ於テ理事會之ヲ整理シ例會ニ於テ之ヲ報告ス

第十九條　本會ノ行フ事業左ノ如シ

一　建築ニ關スル諮詢事項ノ調査研究

二　調査研究報告ノ發表

三　建築ニ關スル重要事項ノ議決

四　決議事項ノ實行促進

五　會誌ノ發刊

六　建築ニ關スル圖書ノ刊行

七　建築ニ關スル講演會ノ開催

八　建築ニ關スル展覽會ノ公開

九　建築ニ關スル視察

十　建築ニ關スル有志者ノ親睦會

十一　理想的建築ノ計畫

十二　其他建築ニ關スル有益ナル事項

第二十條　會員ハ會費年額金拾貳圓ヲ本會ニ據出ス

但例會ニ出席シ難キ地方在住ノ會員ノ會費ハ半額トス

一時ニ金百圓以上ヲ出スト地方ニ在ルト將又前項ノ會費ヲ免ルル會員タルノ承認ヲ得タル者ハ入會金五圓ヲ本會ニ納付スベシ

特別賛助員ハ特別賛助費年額金六圓ヲ、普通賛助員ハ普通賛助費年額金參圓ヲ本會ニ前納スベシ

但次期以內ニ之ヲ分納スルコトヲ得

第二十一條　本會ノ經費ハ會費入會金寄附金賛助費其他ノ收入ヲ以テ支辨ス

本會ノ財產ハ理事長之ヲ管理ス

第二十二條　本會ノ財產增減權義及每月ノ收支ハ主計其計算書ヲ作リ翌月理事會ニ報告ス

本會ノ財產增減權義及每年ノ收支ハ理事會ニ其決算書ヲ作リ翌年一月例會ニ於テ報告ス

第二十三條　本會及本則ニ關スル詳細ノ事項ハ例會ノ決議ニ依リ細則ニ之ヲ定ム

第二十四條　本則ハ例會ノ決議ニ依リ之ヲ變更スルコトヲ得



初秋の新裝

高尚なる御座敷には是非此の花霞を御取付け下さい其穩かな光りと優美なる形とは必らずや優雅なる氣分を御家庭に漲らせます

東京電氣絲布會社

神奈川縣川崎町

東京出張所 銀座尾張町 電話新橋 (三一〇五六 三一三一二)

大阪出張所 西區阿波堀通 電話新町 (六五〇 八九九八)

門司出張所 西本町 電話 (四六 六八二)

名古屋 仙臺 札幌 大連 上海

D-261

日本建築協會雜誌 第貳輯 第九號

目次

口繪
大阪市廳舍配景圖（三色版）
大阪市營職業紹介所（自一至八）

△建築の勃興と勞働問題……一
△都市住宅の建設に就て（下）……會員 京都帝國大學法科大學教授 法學博士 片岡安……二
△社會的感情に就て（上）……佐々木惣一……九
△都市研究の必要（下）……都市研究會副會頭 内田嘉吉……一三
△都市計畫に關する法制（二）……内務省都市計畫課長 池田宏……一八
△都市計畫に就て（三）……内務事務官 吉村哲……二四
△住宅問題と田園都市（下）……都市事情研究會員 三宅勘一……二九
△本邦現代住宅改良の施工法（三）……會員 小笠原鈐……三六

△女流の住宅觀
□新しく住宅を建てる人に　醫學博士 男爵 加藤照麿氏夫人　加藤常子女史　談　四二
□西洋かぶれの珍し物喰ひは考へもの　前持許局長夫人　中松繁子　談　四六
△街道樹論（三）　特別委員 農學士　大屋靈城　五一
△朝鮮營林廠所管の森林一班（二）　會員　谷民藏　五六
△都市と社會施設（其三）
□北米合衆國に於ける住居社會法人　會員　M T生　六三
□大阪市營職業紹介所　特別委員　江村郊邨　六九
△京都古建築觀（十三）　伊藤清造　八二
△調査
□橫濱市大火罹災家屋に關する調査（B）　九〇
□大阪市接續町村下水道調査綱要（三）　九四
△時報　一〇二
△會報
△編輯たより
△ベルン市建築條例　（上）

附錄

G.E. CHEMICAL PRODUCTS.

ジーエフ防水剤

GF. Waterproofing Paste.
GF. Trowel Coating.
GF. Dampproofing Coating.
GF. Acidproofing.
GF. Cristalrox.
GF. Mastic Cement.
GF. Timber Life.
GF. Floor Enamel.
GF. Brick and Cement Coating.
GF. Galvanized Steel Coating,
Etc., Etc.

ジーエフ塗料

GE
YOUNGSTOWN. OHIO.

TKS

製造元　米國ジエネラル、ファイヤープルーフキング會社
輸入元　中外貿易株式會社

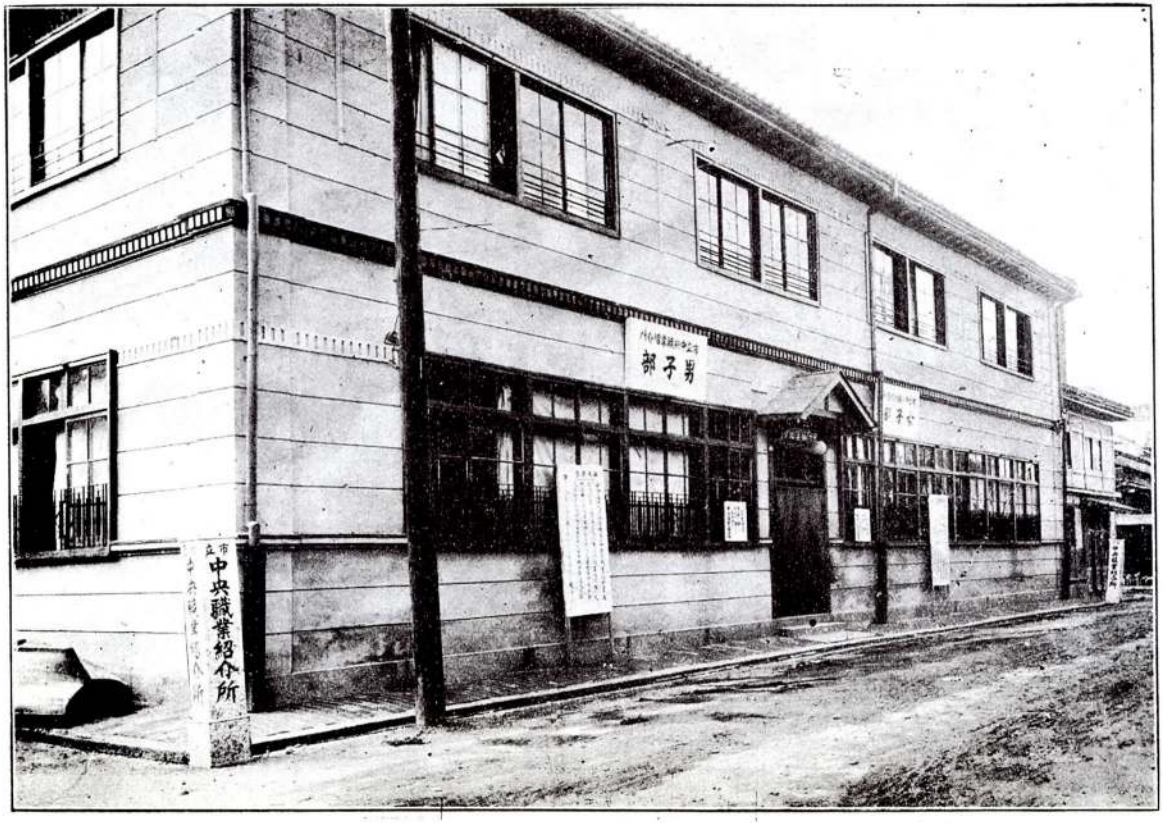
◉ジーエフ防水劑
◉ジーエフ防水防濕塗料
◉ジーエフ防酸塗料
◉ジーエフ室內裝飾塗料
◉ジーエフ床用塗料
◉ジーエフ金屬防蝕塗料
◉ジーエフ木材防蝕塗料
◉在庫品豊富◉

販賣元　株式會社 東洋工業社
東京市京橋區傳馬町一丁目
電話京橋 一二八〇・二二〇・四長三〇四五
出張所　大阪　名古屋　小倉　紐育



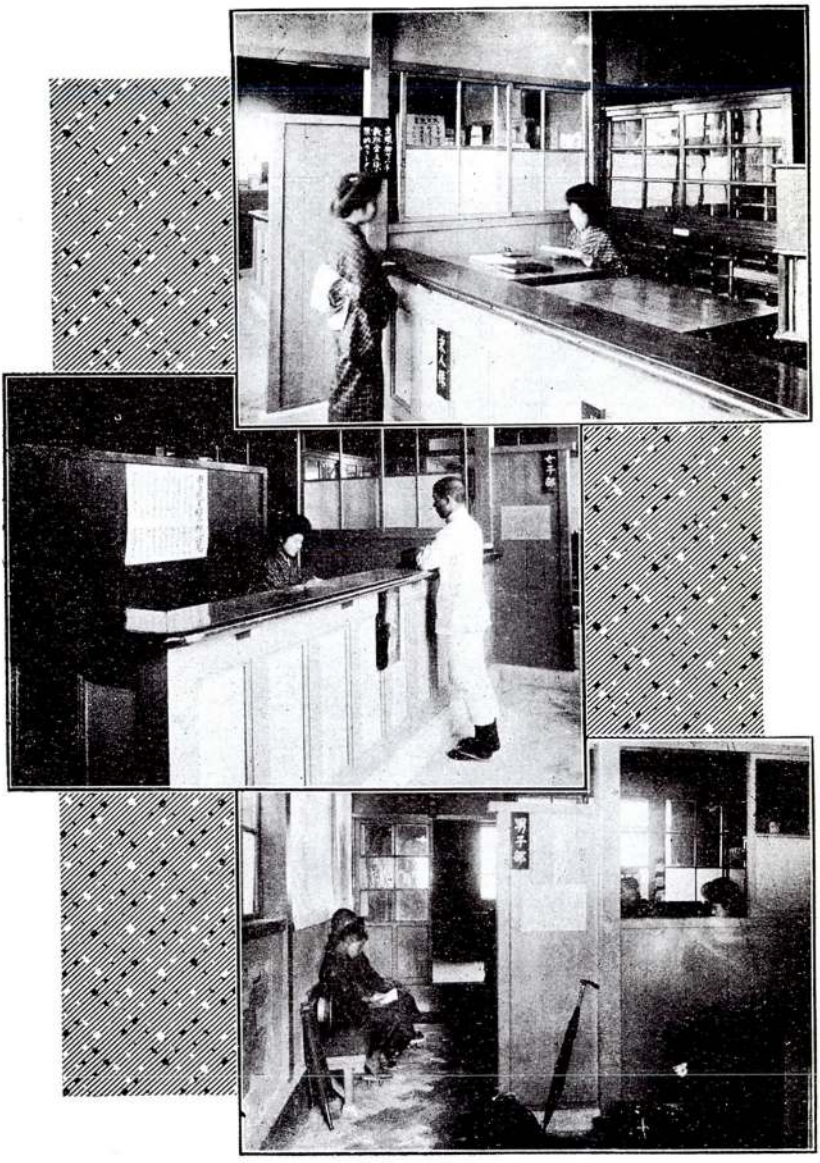
（大阪市役所提供）

建築中の大阪市廳舍



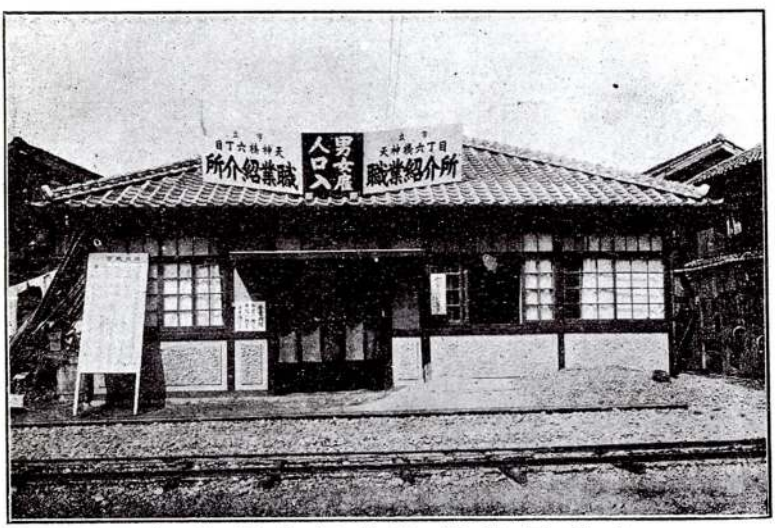
市營中央職業紹介所外觀

中央職業紹介所内部

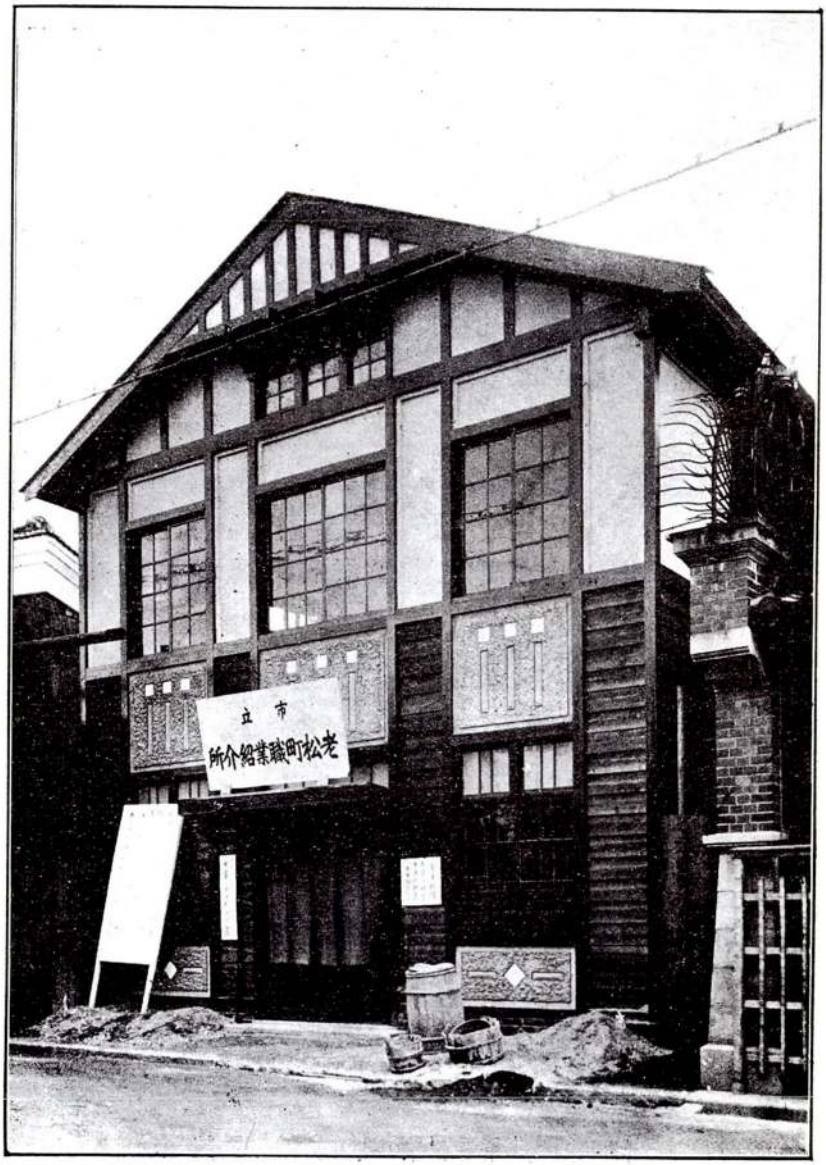




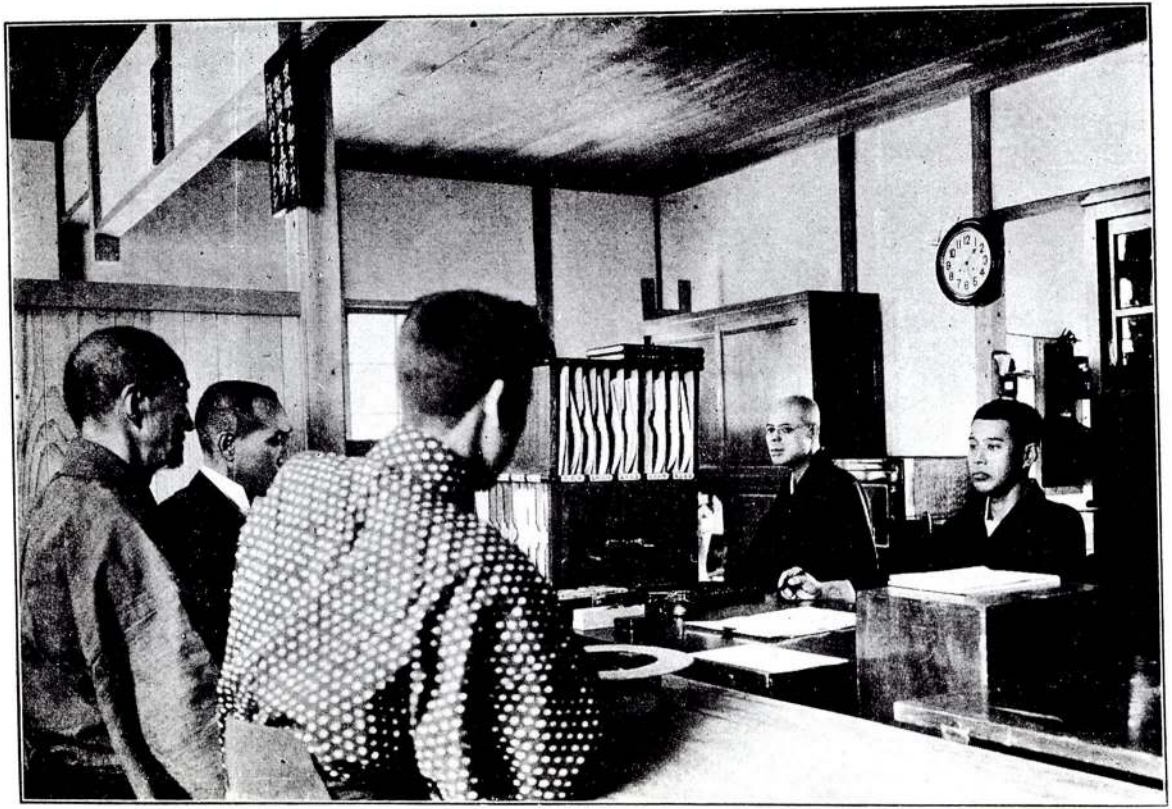
市營天神橋職業紹介所内部



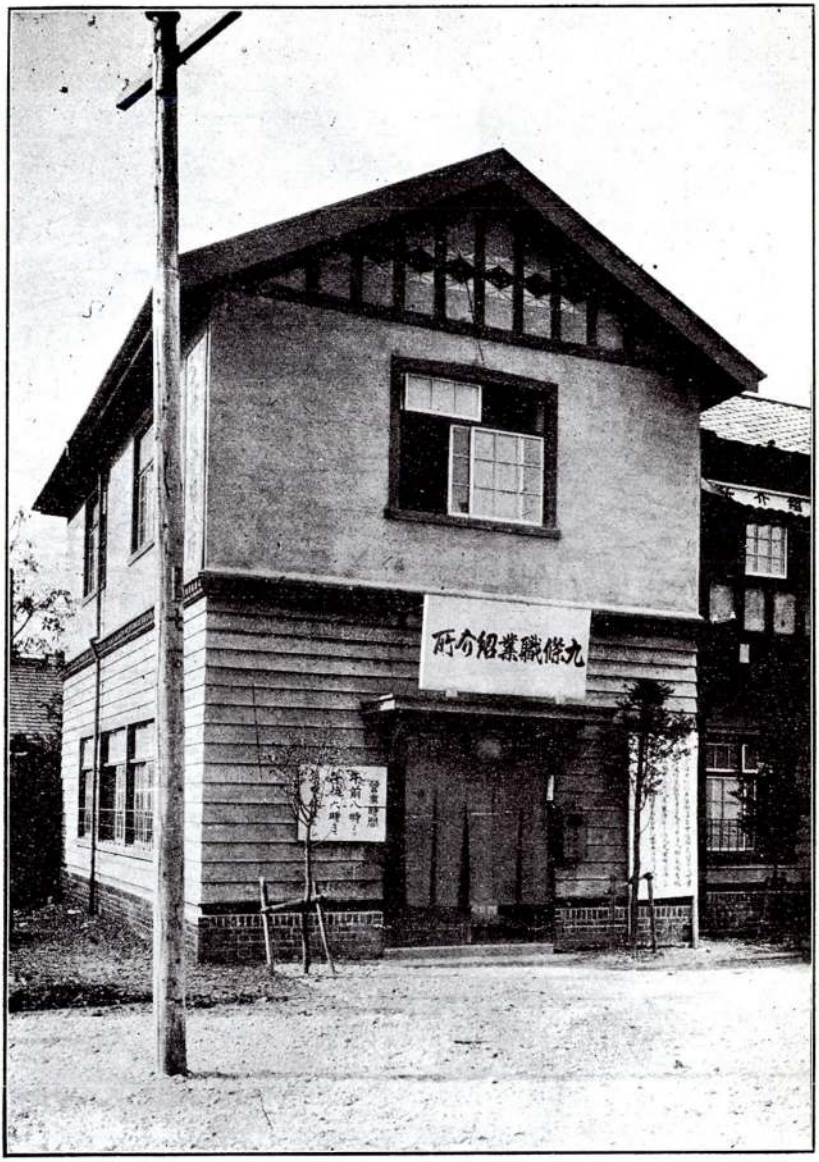
市營天神橋職業紹介所外觀



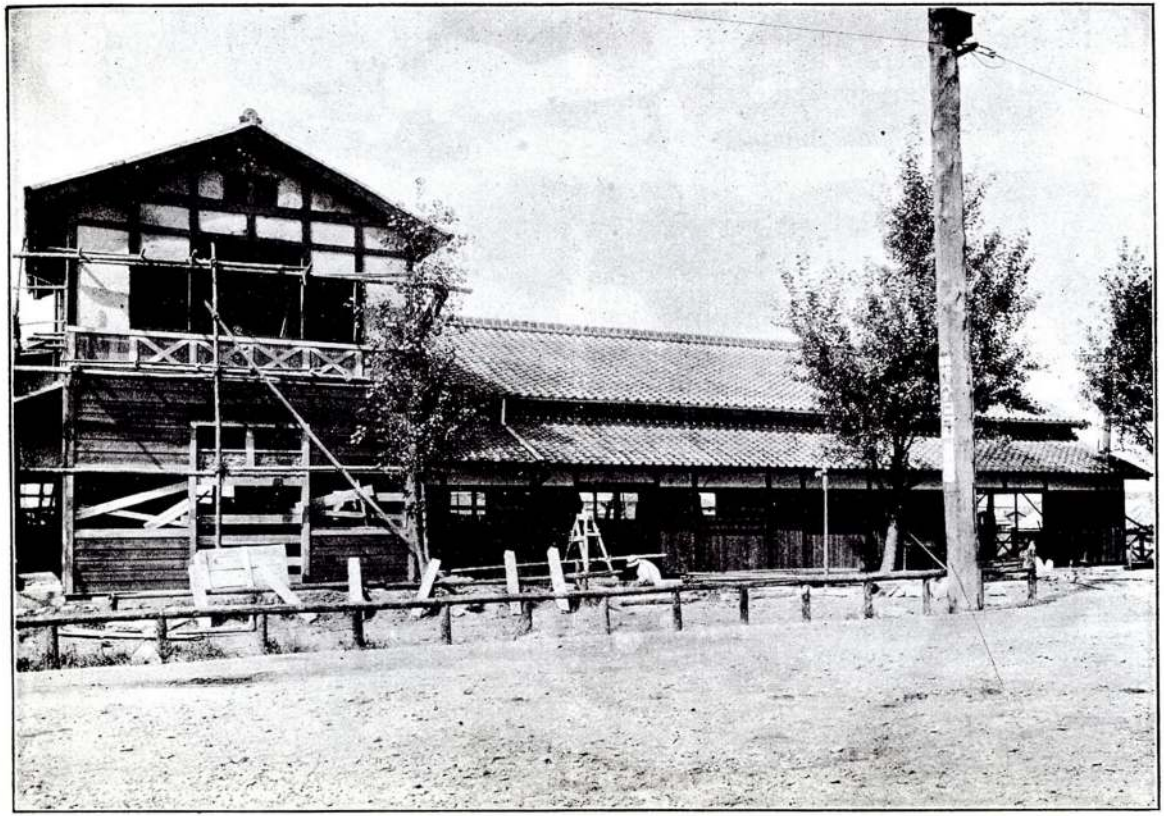
市營老松町職業紹介所外觀



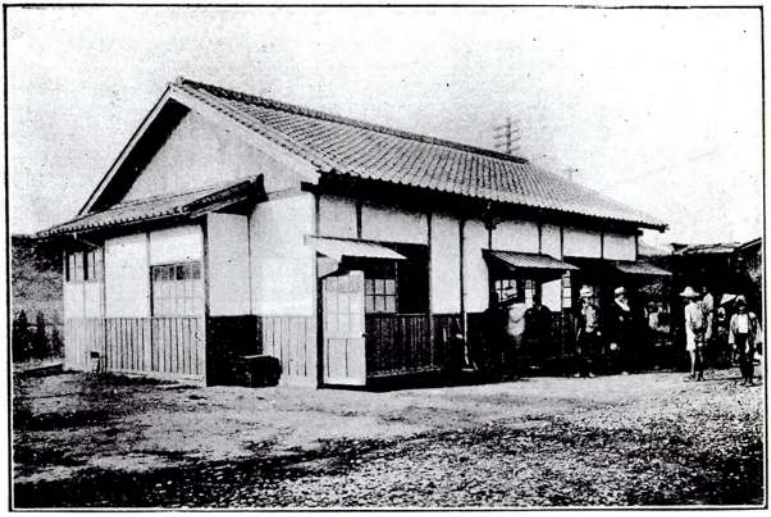
市營老松町職業紹介所内部



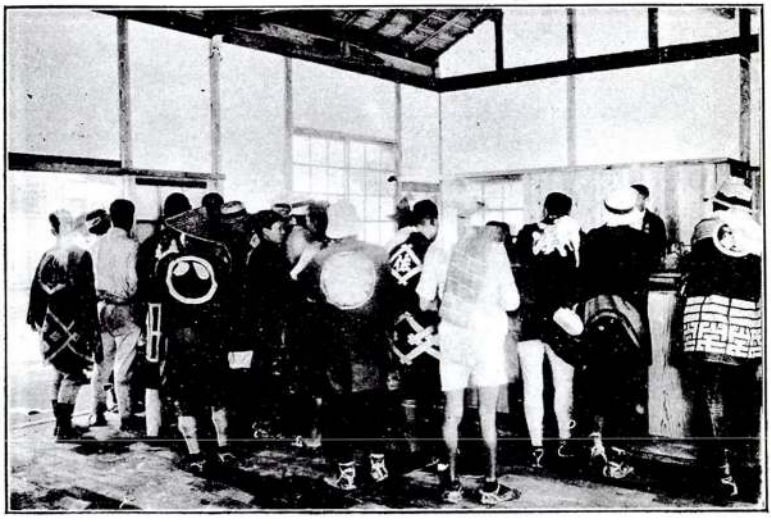
市營九條職業紹介所外觀



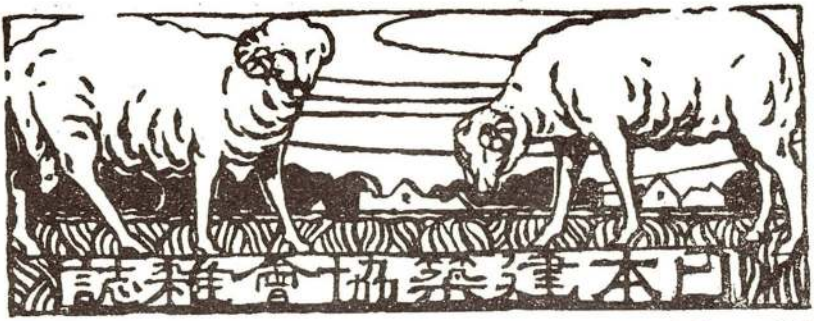
市營京橋勞働仲介所外觀



市營今宮勞働仲介所外觀



市營今宮勞働仲介所內部



建築の勃興と勞働問題

都市の發展と其經濟力の充實は堅實にして恒久性の建築を要求し、其建設の勃興は我國現時の一大特徵なり。我國の都市は此點に於て寧ろ遲れたるの觀なき能はず。然るに近時世界的の問題として喧傳さるゝ勞働問題は遂に我國建築事業の勃興に甚大なる影響を與へんとするの時期に際會す、抑も、建築の建設には廣汎の材料と各方面の勞働を集中せざるべからず、而して、其進歩の程度高きに從ひ益復雜なる內容と實質を要求して已まず。故に、各方面の各種の勞働問題終結せざる間は、凡て其累を建築工事に及ぼすを常とす。吾人は、勞働階級の技能と其人格に信賴する事重きが故に、其正當なる要求の早く解決して、誠心誠意以て、我國現時の勃興せんとする建築事業の發展に協力せんことを切望せざるを得ず。蓋し建築は材料と勞力の結晶なる點に於て、他の如何なる事業よりも普遍的にして廣大なるものあればなり。



都市住宅の建設に就て（下）

會員　片岡安

四　建築組合の特權と制限

都市住宅を最も組織的に又社會の需要と相待ちて適當に供給し得る方法は、什うしても公益を中心として組織されたる建築組合の經營に據るを第一策とせねばならぬ。若し都市の自治組織が圓滿に運ぶものとすれば公共團体自身に於て住宅の建設を經營するも亦一策である。英國の都市にては住宅經營を直接公共團体に於て施行しつゝあり、獨乙の諸都市は、建築組合に之を經營せしめて來たのであるが、今此處にはその優劣を彼此批評するを避けて、其何れにしても住宅經營者として有すべき特權に就て少しく述べて置きたい。

都市住宅を經營し普く市民に適當なる住居を得せしむることは、都市の生活狀態を向上し、市民の生活安定を計る第一歩であるから、其經營を組織的に且つ順序よく運ばしめる爲めには、國家としても亦社會一般に於ても、あらゆる事を犧牲にして其經營に便宜を與へ特權を行使せしめて然る

べき筈である。一八九〇年の英國の住宅法は正さにその精神により編成されたるものにして其大要を摘記すれば、

一　現在又は今後に建設すべき勞働階級住宅經營の爲めには、地方官憲は其地方官憲の地域内外に亘り、其經營に適應すべき土地、家屋及借家を買收することを得、若し必要の場合には强制的に之を收用することを得

二　上述の如く買收したる土地は勞働階級住宅の經營にのみ使用する目的にて、他人に賣渡し又は交換することを得

三　公共團体事業債委員は勞働階級住宅の經營又は改良の目的の爲めには、資金を左の企業者に貸與するの權能を有す

（イ）一般勞働階級住宅を經營せんとする會社又は其使用勞働者の住宅を經營せんとするもの

に

（ロ）土地所有者に

（ハ）五十年より少からざる期間の地上權所有者に

四　若し住宅經營が個人又は會社に於て實行されざる場合は公共團体は自から之を企て

（イ）勞働階級住宅を建設し

（ロ）現存の住宅を改造又は增築して其目的に適應せしめ

（ハ）必要に應じ一般住宅の完備を計る

若し七年間の成績により、此等の住宅の不必要を認むるか又は經濟上不利益なる場合は之を賣却することを得

英國は社會改良の政策として先づ都市住宅問題の緊急なるを認めて一八九〇年以上の特權を其經營者に附與したのである。而して爾來其特權によりて英國諸都市は可なり大膽に住宅公營を經營して來たことや、其經過の甚だ良好なることは吾人の數次敷衍した通りである。

獨乙の諸都市の經營せる住宅は主として建築組合の仕事に屬したのであつて、市はその經營に對して極力その利便を計り二三の都市にては其利益の四朱に達するまでを補償した、而して獨乙の諸都市は都市計畫の大局案により早くも住宅地帶を定めて其住宅經營の永遠策を立てたことは都市住宅問題解決には少からぬ利益を與へたのである。

若し我國に於て今後住宅經營者に如何なる特權を與へたならば其成績を擧ぐるに便利なるやを考ふるに、矢張り其第一は

住宅敷地の買收を強制し得ることである。今や我國の都市は其內外の發展實に著しく、地價の暴騰もさることながら、事實に於て其買收は不可能とせられて居るのである。之れ一は都市に於ける土地課稅の方法誤まれる爲め、土地投機熱益旺盛となり、眞實の土地利用者は常に彼等に壓迫されて其目的を達するに困難を感じて居るを常態とする。若し住宅經營の目的の爲めに土地收用を可能ならしめ、以て土地投機者の射倖心を或る程度まで冷却せしめ得るならば、實に一擧兩得の方法とも言ひ得る。次に

家屋稅免除の特典を建設後四五年間に亘りて之を與ふることである。而してそれにて尙ほ經營上利潤を見ざる場合には政府又は公共團體は其配當率年五朱に達するまで補給金を與ふること猶輕便鐵道の補給の如くなし以て其經營の初期を援助すべきである。

東京大學の經濟學部敎授渡邊鐵藏氏は建築組合の特權の隨一として割增金付債券の發行を許可し以て其資金の潤澤を期すべしと唱へらるゝも、そは建築組合が資金關係上困難に陷るべしとの前提の下に考へらるゝことなるべく、吾人もその意味に於ては決して之に反對するものではないけれども、我國の現時の狀態は其資金に困難を感ずるものではないかと思はれるのである。若し民間の小額資金を蒐むるを以て社會經濟の調節上利益なりとする意味ならば、勞働階級をして小額割增金付債券に應募せしむることや右會社株券に對して公債、勸業債券等の如き特權を付與することは可なり有力なる事柄であろふと思はれる。乍併それ等の事實は住宅建設の普及と少しく緣の遠き嫌あれば此處には深く論せぬことゝする。

何れにしても我國にては從來住宅建設を貧弱にして、しかも無理解なる箇人家主に委して、少しも顧みなかつた關係上、以上述べたような特權や利便は其の經營者には少しも與へられなかつたのである。乍併今後住宅建設が社會の需要に順應して適當に進行するを望むならば、其經營が市であるにしても、建築組合であるにしても、上述の如き特權は先決問題として絕對必要の條件である。若しそれなくして都市住宅問題を解決せんとしたとて到底適當なる方法を見出し得る筈がない。

尙ほ建築組合の特權として要求すべき事柄はないでもない、けれども其半面に對する監督と制限

は更に重要なる事柄であるから二三それを述べて置きたい。抑も建築組合の仕事は慈善病院の經營などの如き受身の作業ではなく、全く積極的、建設的でしかも打算的でなくてはならぬから、其經營は生氣潑溂なるもので同時に緊縮整然たるを要する。故に其經營には制限と監督を必要とする程度は他の事業と全く趣を異にすることを忘れてはならぬのである。

建築組合の作業には二方面ありて各其立場を異にする。即ち其一は經濟的方面で其他は技術的又は實用的の問題である。組合を監督する場合にも自然其方面より之を見るを要する。而して監督とか制限とか言ふものゝ之を最も有効に活動せしむべく指導する意味を有せざれば、却て經營の支障を來す虞あるは此事業の性質上特に注意すべき點である。經濟的方面の制限は家賃の決定及び其取立法又は家賃改定等の事を主として、經營上の收支等を言ふのである。家賃の決定は社會的に見て可なり重大な問題であるから、組合の經營者が内密に之を定める譯にはゆかないのは當然であつて英國各都市の市營住宅の如くに凡ての工費の内譯書と經費を明細に公表して、家賃とのバランスを一般に知らしめることは必要である。又一面に於て在來及今後の個人住宅經營者に餘り甚しき迫害を加へない程度に家賃を据置くことも肝要である。近來富豪の二三のものが寄附的に大に安價住宅を提供するなどゝ振れ出して其實容易に其實行が運ばないと言ふが如き事實は個人住宅經營者の努力を鈍らし、却て住宅欠乏を助長しつゝあるの傾向さへ見へる。又各大都市經營者が小住宅を公營せんとして其計畫を高唱しながら容易に其運びに至らぬなどの事實は矢張り住宅欠乏を間接に助成しつゝある一例である。

住宅經營の技術的方面の監督に至つては實に至難の事に屬すると言つてよろしいのである。我國の都市住宅の適當なる設計案は我國今日の過渡時代には容易に得られぬのであるから、永遠的の都市住宅經營はつまり其根底を有せぬと言ふも過言ではない。唯理論としては其技術家の選定の際に一應監督官廳の許可を得るとか、設計案の認可を受けるとか言ふことで十分ならんも、事實は中々そう容易く實効を擧ぐるようには運ばぬものと見ねばならぬ。此問題を解決するには我內務省は英吉利の地方院にて盛んに募集しつゝありしように、住宅設計案の大募集をなし之を社會に向つて講評するを第一歩とする。其他建築學會や大都市當局者に於ても其研究をなすを緊急の方法とせねばならぬ。此點に就ては別に論することゝし、此所論に於ては主もに應急的の田園都市の住宅を考ふるものとして、過渡式の木造長屋を以て滿足するとせば、其監督も比較的大なる困難に出會はずして濟むかも知れぬ。

五　結　論

上述の如く我國現時の都市住宅欠乏は實に其極に達して居るのであつて、物價の騰貴と相待ち市民の生活不安を助長しつゝあるのは事實である、故に其救濟は目下焦眉の急に迫つて居ると言ふも過言ではない。然るに從來我國の行政立法ともに斯る社會政策的施設をなすべき準備は少しもない爲に、現時の窮狀に際して何等徹底的方策を立つる譯にゆかないのも致方ない到着點であらねばならぬ。近來大都市の理事者は頻に其市外に於て住宅經營をなさんとして努力しつゝあれども、恐らく今後益々甚しき都市大發展に伴ふべき都市住宅大欠乏を補ふことは殆んど不可能と見ねはならぬ

今假りに六大都市が毎年十二三萬人の人口を增加するものとすれば、一戸五人平均として正さに貳萬四五千箇の新しき住宅を必要とすべく、其工費と土地の價格一戸當り貳千圓とするも五千萬圓の費用を要するのである。然るに目下傳へらるゝが如く內務省が低利資金一千萬圓足らずのものを六大都市へ貸付け、無事にその經營が進行したとしても、此住宅欠乏を救ふにはまだ距離があるので況して住宅經營上何等特權なき市理事者が什うして其解決をなし得るものぞと思はしめるのである

要するに都市住宅の欠乏を最も適當に救濟して、市民生活を安全なる狀態に導くには、法律及行政命令により十分特權を附與して其經營を公共團体或は建築組合（財團法人又は株式組織）に實行せしめるより外に方法はないのである。其特權の行使及經營の指導監督は可なり難かしき事柄ではあるけれども官民の自覺により最善の努力を費して之に當つたならば兎に角我國現時の都市住宅欠乏の窮狀を救ふには十分であるであろふ。

乍併之を永遠的の畫策から見たならば我國の各都市は未だ其永遠的都市計畫を立案して居ない爲めに將來の住宅地域を確立することは當分不可能の狀態である。此等は都市民の永遠的期望を起させるには最も不利益な狀態と言はねばならぬ。吾人は我都市前途の爲めに一刻も早く其永遠計畫を確立して其不安の狀態より脫し、永遠的住宅地區の設定と恒久性住宅の建設に努力すべきである。而して其等の準備として住宅經營に對する特權の確定と理解ある公益主義の建築組合又は會社の設立を始め、恒久性の住宅設計案の研究を十分になすことを先決問題とする。當事者及世の先覺者果して此等の順序ある徑路を辿りつゝあるや。（完）



社會的感情に就て（上）

京都帝國大學法科大學教授
法學博士 佐々木惣一

本編は、記者の筆記に據りて編を成したるものに係りて、博士の校閲を經ざる儘掲載せるが故に、其文責は勿論記者に在ることを斷り措く。 ——郊 外——

▲先づ根本的に定むべき見地あり
▲社會問題を客觀的に取扱ふは不可

現今、社會問題といふ包括的なる題目の下に種々なる問題を論議されてあるが、斯の問題は勿論各種の方面より研究し解決するの要がある併し乍ら、其解決問題に就て種々な政策を研究するに方り、先づ根本的に定むべき見地がある蓋し、社會問題の解決は夫れ自身が目的であつて、其解決を他の目的の手段に供せらるべきものでないといふ一事である。斯の事は、判り切つた事であるけれども、私の研究の立場よりせば、先づ以て決めて置かなければならぬ事項である。斯の事は、從來、又、今日に至る迄我邦に於て論議されある諸種の意見に徴すれば第一に工場法の問題である。是は大正五年より施行され、明治四十三四年頃に制定されたものであるが、茲に到る迄には、實に三十年餘の歳月を經過してゐる。是は、素より技術の上—諸種の工業的技術の上より研究を要するのである。併し乍ら、是には亦他に一とつの目的がある。即ち、是を實行せば生産の減少を來すといふ事が問題で、資本家は、工場法を施行せば生産問題

よりして之を反對する。是は、素より、資本家の側より考ふれば當然の見解にして自然の勢ならむも、之に對して、政府なり又第三者の意見は、種々の事に見解を有する。即ち、工場法は能率を保護するといふ意見を述べた、茲に於て資本家も之を納得し、兎も角も出來るようになつた。而して、是に對して社會的一般に認められたるは、工場法夫れ自身が勞働者の保護、社會問題の解決として意識されてゐない、他の目的の手段として之に供せられてゐることである。即ち、極めて客觀的の立場より斯の問題を取扱ふとしては、決して贊成出來得ない、之等は夫れ自身が目的でなければならぬ。

▲現今の社會問題に三つの困難あり

▲這は畢意他の目的に供する爲也

又、近來に到りては、社會問題の種々な事項が起つてゐるが、是には三つの困難がある。第一に、社會の秩序を維持するといふ事で、之を成り行きに委したならば階級間の爭ひが激しくなるは云ふ迄もなく、勞働問題——社會問題の解決を目的としてゐる權利保護といふ譯でない私共も是には意見を異にしてゐる、斯の見地は社會問題を解決するといふにあらずして、社會問題が起らないようにするといふ事になるのである。是は、極めて根本的の問題で、理論上は不可能に非るも、種々に論議されてゐる見地よりせば、蓋し不可能である。社會問題は、種々なる見地を執れば、各階級の人々が其利益を主張するといふとは止むを得ない事である。我邦で一般に考られてゐる處の憶斷のように、勞働者其他之に類似した人々は其利益を主張する上に於て手段を擇ばない、之等階級の利益の主張と、社會の人々が自分の屬せる階級の利益を主張することは紊亂であるといふ事は出來ない。例へば、政治家は各自に自己の立場より利益を主張してゐる、又戰爭の起つて以來、實業家の人々は政府に適當の保護を請ふてゐる、斯の事は夫れ自躰に於て何等惡い事ではない。現今社會問題に於ける勞働者の利益を主張するといふ事は、決して紊亂でもなければ又何等惡き事で

もない。唯、問題は、之等の事を論ずる人々が社會の秩序を紊すといふ事であるが、是は、社會問題の當事者が他の理由に基くので、社會問題の一つの方面たる利益の主張は決して紊亂ではない。故に、社會の秩序を保つといふ上より論ずるのは、畢竟、其問題の解決を他の目的に供してゐるのに外ならぬ。

第二の困難は、斯の問題を以て家族制度の危機なりと做せる事である。即ち、我邦に於ける勞働者は皆家族關係の下に在る、是を現今の意味に於ける社會問題として取扱はゞ、竟に家族制度の上に影響するといふ點より之を取扱はむとしてゐる。其他我國體問題を持ち出して、國結主張は我國體を紊すといふ點より社會問題を論じようとしてゐる。維れ亦社會問題夫れ自身を解決せずして之を他の目的に供するのである

斯くの如き見地は社會問題といふものを見るとしても誤つてゐる。社會問題の解決は夫れ自身が目的である、斯の見地よりすれば目今の社會問題に對する見地は誤つてゐるといふて可い

▲更に夫れ目的自体を誤るに到る
▲社會問題を他の目的に供せる害

今姑く之を外にするも、之に藉りて達せむとする目的其ものをも誤るのである。例へば、以上四つの例を擧げたのであるが、生産より見、又は家族より見、或は秩序より見、若くは國體より見るときは、夫れが問題とならない間は何事もないが、之が爲に社會問題の解決要求は止まないのである。此の人々は夫れ自身の解決を要求するのであるから、以上四つの他の目的からして社會問題の解決に對抗し、其要求の熱心が熾なると、其目的は立派なるにも拘はらず、目的夫れ自身を誤ることとなる。隨つて斯る見地は社會問題を見るものとし、又之に對應するものとしても、畢竟自殺的なものである、斯くの如く他の問題解決の手段としても適當でない。

社會問題は夫れ自身が目的である、斯の問題を他の問題の對應策と成し、又、之と重大なる關係を有するように取扱ふとせば、奈何に社會を害したかといふ一例は、實に彼の獨逸である。

獨逸は、戰前の政策に就て其發達の績を繹ぬれば寔に紛糾したものであつた。即ち社會問題其ものゝ解決意見が紛糾してゐたのであつて、斯の問題は、久い間他の問題の解決手段として取扱はれてゐたのである。獨逸は人も識れる通り獨逸帝國を構成せる各邦があつて、立法の制度の上に社會問題を解決するに到つたのは獨逸帝國と成つてからである。又、之を促したのは、獨逸帝國と成る迄である。今より百年許前、プロイセンのライン地方の問題であるが、斯の地方は工業の殷な土地であつて、幼少年なる勞働者を使ふことが頻りに行はれ、其虐使の事實を訴へられた結果官憲は之が事實の調査に着手したのであつたが、其調査報告は、言葉を極めて之等幼少年工の憐むべき狀態に在る事を形容されてゐる。社會問題の事實上に就ては、其事情の報告を爲せる後に、政府の或有力者が次の如くに云ふてゐる、即ち『其儘放任せばライン地方の子弟を採つて軍隊を作ることが出來得ない』と。只、斯の事を云ふのは、子供の勞働者が憐むべき事情に在る事夫れ自身が之を除かなければならぬ印像を與へたのでなく、所詮は、軍政上の問題として、斯の事實の生じたる事を示したのである。約り、社會問題を他の問題解決の手段として取扱はれたといふ事になるのである。其結果として、幼年勞働者保護を講ぜられたのであるが、之に附隨して種々な社會事情が生じて來た。殊に、注意すべきは、社會黨の勢力が旺盛となつた事である。斯の社會問題は、生活の範圍を守つてゐる間別段煩しき問題は起らないが、之に政治的意味が入つて來ると、餘程煩しくなる。プロシヤの憲法が出來た二十世紀は、社會黨が段々勢力を得るようになつた、斯の社會黨に對する問題として社會問題が議せられたのである。ビスマルクの社會問題に對する態度は社會黨に對して初めは好意を有つてゐたのであるが、後には多少惡意を有するようになつた其の理由は種々に說明されてゐるが、ビスマルクの社會問題其ものに對する見解が變つて來たといふよりも、之を以て他の問題を解決せんとする態度が變つたといふことである。即ち、社會黨に對する態度が變り、隨つて、之に關係する處の社會運動に對する反抗的氣分を有つようになつたのである。

（つゞく）



都市研究の必要（下）

都市研究會副會頭　内田嘉吉

‖市民と市に對する利害關係の意識‖

最後に、最も市政を圓滿に且つ完全に執行するに必要なのは、市民が其市の行政に對し、其市の施設に對し、深く利害關係を有つことである。勿論、市の事なるが故に、其市の仕事がうまく行くか否かといふことに就て、市民は非常なる利害關係を有つのは勿論な事であるけれども、我邦の現狀から考へると、市の行政に就いて、市民は餘りに考を有つて居らぬではないかといふことは、吾々の始終目擊してゐる處である。新聞紙に議論が起れば其可否に就て議論をする。新聞紙に記事がなければ何等考へないといふのは事實である。勿論新聞紙の効果は著いもので、市民の腦裡に夫れだけの印象を與へるのは當然であるが、併し乍ら、市民が自覺して今日の行政組織が果して適當であるか、自己の利害の上に適當に行政が行はれてゐるかといふことを考へるのは市民の權利でもあり、又自ら爲すべき責任があり義務があると私は考へるのである。即ち、市長なり市參事會なり市會なりが適當に其職務を執行してゐるか、若し不適當に職務を執行してゐたならば、市民は幾多の租稅を拂つて居り乍ら利益を受けることが出來すして、却つて害を受けるのである。夫れ故に、斯の事は市民自ら之をよく視察しなければなら

ぬので、市民が市の事務に就て利害關係を有つといふことは、要するに、市民諸君が自ら市の行政組織に就てよく了解しなければならぬのである。即ち、前述の諸問題に就て、市民諸君が恒に注意を拂はなければならぬ。市は自治體であるから、自ら治める團體であるから、市民諸君は自己の權利義務として、市の行政組織に就き十分注意を有たなければならぬ。隨て、公職に選ばれた人、即ち市議員や市參事會員の方々も亦其職責に就き十分なる熱心を以て其事務に膺らなければならぬのである。市參事會員に選ばれたのは自己の名譽である、自己が人望を有するから市會議員に選ばれたのである、市參事會員となつたのであると云つて、單純なる名譽の表彰とし考へてゐるのは誤解である。大に市民を代表して事に當り、熱心に市の事務に就て議決しなければならぬ處の責任があるといふ觀念を有たなければならぬ。隨つて、之を選ぶに方りては、最も公平に最も市民の利益を代表する人達を選ばなければならぬのは、云ふ迄もなき事である。

要するに、其人を選ぶには、市民諸君が市の事務に就て十分の智識を有たなければならぬ。選ばれた人も單純な名譽の表彰と考へずして、市民に對し深き責任を以て事務に膺らなければならぬ。亞米利加邊りでも、タマニーホール抔といふ例があつて、其黨派の利害にのみ腐心してゐるといふような事があつて、今日は彼の地でも喧ましく研究してゐる。隨つて、以前程の弊害はないようであるが、我邦に於ても新しく市制を執行してゐる處もあるから、其邊の注意は十分有たなければならぬ。夫れには、市民諸君が自覺し、興味を有つて市の事務を研究しなければならぬのである。

＝市の現狀を識り得る設備＝

近頃、市民の興味を惹き起す爲に、亞米利加邊りでは種々な施設を爲してゐる。殊に、市會の開ける時分、其中でも市の豫算を討議する際に方りては、市は其年度即ち市會に提出してあ

る處の豫算を明細にして大きな文字で書き表はし、之に必要な説明を加へて之を人の多く通る部屋に掲げて置き、而して何人も其部屋へ行つて見れば、其日に討議されてゐる豫算の狀態を一目して識り得るようにしてある。其他、市の衛生設備であるとか、或は學校の問題であるとか、電車であるとか、道路の問題であるとか、各種の問題に就て市の現狀を識り得るような設備を爲してゐる。所謂市の行政に關する博覽會とか展覽會とか博物館とかいふようなものを設けて、市の事務に關する興味を惹き起すようにしてゐる。何人も其展覽會なり博物館なりに行かば直ちに市行政の全部を一目して克く識り得るように施設して置くことは、眞に市の利害を研究する上に缺くべからざる事である。市の事に就て何等智識を有たないといふことは、市の行政に無頓着と謂はなければならぬ。市民が自己に對して不親切極まるものであつて、市民が市政に對する興味を惹き起すといふことは今日の急務である。果して市民諸君が市の行政に就て熱心なる利害關係を有つことになつたならば或問題の提出された場合に、其問題の可否を容易に解決することが出來得て、黨派とか一局部の利害とかいふようなものに迷はされることは決してなからうと思ふ。從つて、良き施設を考へたならば、必ずや市民は租稅を增加することも辭退されないであらうと思ふ。前に述べた電車の敷設とか道路の改良とかいふような事に少からざる全額を必要とするが、果して道路の改良や電車の擴築が完成したならば、市民が之に依つて受くる利益は實に少からざる次第であるから、市民諸君は之が爲に租稅を增加することも敢て辭退致すまいと思ふ。要するに、市民諸君が市の事項に就て十分なる諒解を有つことが必要であると信ずる。

＝都市設備の比較研究＝

尙、もう一步進むで考へて見ると、市といふものは日本にも近頃澤山出來て居るから、市の行政を夫れ〴〵比較することは、寔に興味ある

問題ではなからうかと思ふ。昔からの話に、大阪京都の方を上方と云ひ、東京を江戸と云つた時代に、江戸の者が京都大阪を見物に行き、上方者が江戸見物に出掛けて、お互に國自慢をしたといふ話があるが、要するに、何人と雖も愛鄉心がある、都會でなくとも『住めば都』といふ譬もある通り、自分の居る處が世界中一番良い處であるように考へられる。吾々は、日本を最も良き國なりと確信してゐるが、併し、亞米利加邊りへ行つて見ると、道路の點なり交通の點なり家屋の點なりに就て、寔に住み心地のよいように思ふ。況して、近頃田園都市と云つて樹木の鬱蒼とした生活上愉快を得る處の天然の風景を背景とし、之に施設を加へて立派な住宅を拵へてゐるのであるから、奈何に東京を自慢しようとしても、又大阪を自慢しようとしても現實斯の狀態から較べてみると、吾々は、遺憾ながら一籌を輸せざるを得ない。就中、下水設備の如きに到りては、甚だ其不完全を愬へざるを得ない次第である。斯くの如く兩者を比較して見ると克く判る。前に述べた通り、支那から皈つて見ると、日本の都會が大層良いようであるが、亞米利加から皈つて見ると、日本の都會は甚だ惡い、歐羅巴から皈つて來ても同樣な感がある。私共若干の年月歐米に居て東京の銀座の寫眞を覽たことがあつた、然るに什うも家が低く町が狹い、銀座はもつと大きいような感を有つてゐたから、是は銀座ではあるまいと考へて、銀座であるか否かといふことに迷うたような次第である。是は、恰度田舍の人が都會へ出て來て、田舍の鄉里が立派だと思つてゐたのが後になつて大に自覺するのと同じような次第で矢張自分の都會の狀態を知ると共に、他の都會の狀態をも知ることが必要であると思ふ。一方に於てはお國自慢といふことを申すが、又他面に於て他の都市に學ぶべき點があつたならば、之を採用して一層完全なものにするのは、是亦鄉里を愛する所以であると思ふ。吾々は、或時機に政府にお願するか、又同志の者が寄つてするか未決であるが、都市の種々なる施設の博覽

會樣なものを開いて、全國の都市に施設してある種々の物と比較してみたならば、非常に面白い結果を生ずるだらうと思ふ。殊に家屋の問題電車の問題、若くは死亡率といふような事柄は都市として最も注意すべきものである。東京や大阪は、他の市とは比較にならぬ程大きいが、又、小なる都會は小さいだけ夫れだけ仕事が纏つて行く點もあるから、施設上に於ては大に研究すべき事があらうと思料する。彼樣な方法に藉り、市民をして十分の諒解を得せしめ、智識を有つて頂くといふことは、市の行政の發達する所以であると信ずる。前述べた通り、都市の發達は商工業の發展に伴ふものである、我邦の商工業は今後尚一層發達させなければならぬ。我邦は、平和會議に於て、既に五大國の一つに數へられてゐるが、其他の四大國——伊太利は若干劣るが——英米佛三大國に至ては、我邦と較べて著しき相違があるように思れる。併し、一旦び我邦も五大國の一つとして數へられた以上、他の國に負けないように努力しなければならぬ。農業も素より大切であるが、外國貿易等に於ては、勿論之を商工業に俟たなければならぬ。隨つて、商工業の發達は、我邦の對外的發展を意味するものであるからして、東京の如き又大阪の如き斯の點に於ては一層進んで其發達を圖ることを考へなければならぬと思ふ。故に東京や大阪の如き都市の發展は、將來に於て尚一層著しく進まねばならぬと考へる。されば、將來の國運を增進する上に於ても、都市の計畫に就て十分の施設をすることは極めて必要と思ふ。即ち、吾々は同志と共に都市研究會を起して、之等の事項を研究しつゝある所以である。

天は人に與ふるに
樂しき物を以てせずして
適當の物を以てす。
（ジユベナリス）



都市計畫に關する法制 (二)

内務省都市計畫課長　池田宏

(既出)
(一)都市發達の原因
(二)都市人口集積の弊と都市計畫運動
(三)都市發展の趨勢と其對應策の基礎觀念
(四)都市計畫法と市街地建築物法
(五)都市計畫法の要項 (其一)
—都市計畫區域の決定
(イ)市域の編入
(ロ)組合の強制
五、都市計畫法の要項 (其二)
(2)地域制度(Zoning, Districting Quartier, Zon eneinteilung)

既に都市に付其の將來の發展に應ずべき計畫區域決定したるときは都市が戶口の過密に伴ふ各種弊害の培養地なると、商工業が都市發展の大原動力なるときに顧み、之が對策を講せざるべからず。是區域決定の本領にして亦以て都市計畫の目的たり。而して其の基礎計畫を爲すものは實に所謂地域制度也。斯制度は都市に於ける市民の住居生活を成るべく工業より分離せしむるの主義に基くものにして(Mac Bain, American City Progress & The Law 1918 chap. IV. Charles Henry Cheney, Procedure for Zoning or Districting of Cities 1917, Lawrence Veiller, Proceedings June 1916 p. 147; Adickes-Baumeister, Die unterschiedliche Behandlung der Banordnungen u. s. w. 25, Thissen Trrimborn, Soziale Tätigkeit der Stadtgemeinden 83) 我國法は住居地域、商業地域及工業地域を設くることを得せし

め、住居地域に在りては市民住居の安寧幸福を保障し、商業地域に在りては商業其の他公私百般の業務上の利便を害するとなからしめ、工業地域には工場倉庫等保安上衛生上の見地より特に注意を要すべき用途に供する建築物を集中招致し工業の能率を增進すべき諸般の施設は都市計畫事業の執行に俟つことゝし（市街地建築物法第一條以下）此等の地域の決定は都市計畫法を施行する市に在りては都市計畫の施設として決定せしむ（都市計畫法一）而して各地域の性質に應じ其用途に完全なる保障を與へ土地の利用を助長して都市の發展を促すに必要なる要求は市街地建築物法の支配する所なり。

從來此の種の法制無かりしに依り工場の如き工場主の任意に濫設せられ、市の內外を問はず到る處に散在するを免れず。市民は爲に常に不安に襲はるゝのみならず工業の發展を助成すべき公共の施設を爲すに便ならず。都市が今日の窮狀に陷れる所以のもの亦詮すれば此の取締の十分ならざりしに歸せざるべからず。市街土地の利用、狀況に應じて其の施設を完うし、都市生活に關する公私各種の投資を調節して浪費なからしめ、交通機關の改善、下水設備の完成等と相俟ち、都市をして健全にして秩序ある發展を遂げしめ、經濟上の能力を十分に發揮し社會上の缺陷を匡救し、人心の不安、地價の安定を期するものは此の制度の賜也（E. H. Bennett, Planning for Distribution of Industries in the Annals of the American Acadeny of Politicel & Social science vol. LI No. 140）

此の制度の起源は實に英國に於ける工業都市生活の弊を濟ふが爲に「エーゞチザーハワード」の唱導に依り倫敦を北に距る三十有餘哩程に位する地區に創始せられたる「レッチウオース」田園都市の理想及「フランクフルト、アム、マイン」（一八九一年實施）「ケルン」（一九〇二年實施）等獨逸諸市の實施上の成績に鑑み近時米國諸市の競て實施する所に係る。（米國に於ける此の制度の最初の輸入者は「ローサンゼルス」市にして一九一一年の實施に係る、其の工場にして住居地域に指定せられたる地域內に現存するものは違法なりとして極端に除却を勵行したるに依り當時法曹界の問題となりたるも最高法院は市の保安衛生上の必要に基く法規の執行にして違憲に非ざることを判決せる事あり、Mac Bain 前揭、其後紐育市（一九一六年）セントルイ（一九一八年）等の諸市亦實施し、其の他米國に在りては州法とし

て又市條例として實施する所屈指に過あらず）

（3）**地域利用開發の計畫**　地域制度既に確立するあらば地域の種類目的に應じ都市發展の趨勢に鑑み將來の開發を促さゝるべからず。舊市街地に在りては其の整理計畫と爲りて顯はれ、未開地に在りては開發計畫と爲りて顯はる。此等開發計畫の著しきものは前揭「レッチウォース」等英國に於ける Garden City 又は Garden Suburb と稱するもの及「フランクフルト」等獨逸諸市の事例なり。英の都市計畫法なるものは畢竟此の主義を體現せむとするものなり。（英國都市計畫法の要論に至りては最參考書に富む、Glen & Dean, Town Planning Law & Practice 1913 最簡にして要を得たり、最新版にして詳密を盡すものは前揭の Aldridge, Case for T. P. なり）「フランクフルト」の市長「アヂケス」が同市をして華因上流部に於ける水域を利用する商業都市としての新生面を開拓する爲兩岸に地を相して河港を開設し、廣大なる土地を埋築するの案を立て其の實施に心要なる制度を確立して道路、街割等豫定計畫の下に健全なる新市街を建設し着々として其の成績を收め、同市をして能く今日の繁榮あるを致さしめ永く他の都市の範を垂れたるは人口に膾炙する所なり。

此等の發展開發の計畫と相俟つべきものは、（イ）交通上の施設計畫にして特に開發すべき地區と舊市街との間に於ける適切なる交通機關の計畫及之に伴ひて舊市街地内の交通施設を完ふするに在り。歐米諸國の意を用ふるは實に此の問題にして主要街路の統系を討ねて大規模なる修築を起すと共に國内の鐵道幹線を導き路面電車の外高架式又は地下式の高速鐵道の設備を整へ、苟も水あれば人工を竭して水運の利用を圖る等交通上の施設の完璧ならむことを期し都市發展擴張の計畫に對應せしむるに於て頗る徹底的なるものあり。獨逸の如きは夙に街路及建築の法線に關する法律を發布し（前揭）街路法線を以て同時に建築法線たるを原則とし建築物に此の線以外に突出することを得ざらしめ（第一條第三項）以て交通の安全を圖ると共に此の法線は將來に於て豫見し得べき公共の需要を按して調査計畫せる

大地積の土地に付築造設計圖を作製して之を聽定することを得せしめ、又火災其の他變災に因る大破壞の爲全地域に亘り改造の必要あるときは遲滯なく調査を遂げ必要に應じ新設計を確定するの義務を公共團體に負擔せしめ（第二條）法線の決定に付ては交通上のみならず防水及衛生上の要求を充足するを旨とせしめ、特に街路及廣場に付ては外觀に注意せしむるの外此の目的を達する爲め街路の幅員を十分にし舊道路との交通上の連絡を善くするに力めしめ（第三條）設計の公告ありたるときは、法線以外に建築物の新築改築又は模樣替を爲すことを得さらしむる（第一條）等未開發地に對する道路及建築線の豫定を爲さしめ道路の施設を完成して健全にして秩序ある市街の開發を促せり（Carl Sasz, Strassen-u. Fluchtlinien-Gesetz Paul Alexander-Kat, über prens. Fluchtlin enrecht im Städtebau) Vorträge Bd. I. Heft VII. Motive p. 10 ホッスマンが奈破翁三世の命に依り鉅資を投じて巴里市内の首要街路の修築を企て土地の收用に必要なる法制を設け、永く巴里の街路をして都市道路の模範を垂れたるは既に人の熟知する所なり（交通と都市の外延的發展擴張の關係及其の諸國都市の趨勢に關しては Gemünd 前揭二一七頁以下に詳なり）

以上は僅に一例に過ぎずと雖も其の交通施設に關する制度及其の運用は一々紹介するの煩に堪へず、我國法は此等の施設は所謂都市計畫事業として計畫執行せしむることとし之に必要なる規定を設けたり（一條、三條、五條、六條、一一條、一六條以下）

（ロ）新に開發せられむとする地區の秩序ある開發を促進する土地の區劃整理計畫亦之を講ずるに非ざれば新市街地亦整理改造を要する舊市街地と同一の窮狀に陷るべきは火を睹るより瞭也。是に於てか曩に獨逸に在りては提案者たる「フランクフルト」市長の名に依りて呼ばるる前揭「アヂケス」法の如き立法と爲り、未開地區に於ける宅地の開發を爲し若は土地の形狀を整理する爲强制的建築設計を確定して土地の區劃整理交換分合を爲し得るの途を開き（第一條、第三條、第八條）以て新開地に備ふる所あり（區劃整理に關する立法及其の大勢に付ては「アケヂス」の執筆に成る Zusammenlegung städt. Grundstücke 又は「コンラード」の國家學辭典第八卷に載めたるものあり、要を盡せり、就て參看すべし）英に在りては前揭都市計畫法と爲り

開發中の土地又は建築の目的に使用せらるべき土地に對し其土地及隣接土地の開發幷使用に關し適當なる衛生狀態、快適の氣分及利便を得せしむる一般目的を以て都市計畫の設計を立て之を實行するに必要なる法制の成れるあり（第五四條以下）

我國法亦之に關する規定を設け大體に於て我耕地整理法の主義に則るところあり（一二條以下）其異るは耕地整理法の目的が農地の利用を增進す增進るに在るに反し本然の市街宅地としての利用をせむとするの點に在り（耕一條、都市一二條）而して「アヂケス」法の如く膨脹發展を遂ぐるに依り宅地開發の必要を感ずること頗痛切なる公共團體に認むるに土地區劃整理の强制施行權を以てしたる（第一三條）は都市の必要に應ずる緊切の制度たるべし。

（ハ）都市の要部に散在して恒に衛生及保安上に於て將又社會上の問題に於て都市生活を脅す不良地區の整理計畫亦之を放任するときは都市の發展を遂くるに從ひ益其の弊を逞くするに至るものなるに顧みるときは速に適當の策を講せざるべからず。是英國に在りては前世紀の中葉以來爲政家の主力を傾注する點にして二の項註脚に於て述べたるが如く「シャフツベリー」伯の名に依りて不朽に傳へらるゝ「シャフツベリー法（一八五〇年）」の如き「クロッス」法、「トルレンス」法の如き、一八九〇年の勞働者住宅條例の如き續ては前揭計畫法の如き孰れも此の種の住宅問題を解決するの法制にして衛生上不良地區の改造は實に其の一要項たり（London County Council (Housing of the Working Classes 1855-1912)）、歐洲大陸諸國亦之に備ふる所あり。（Carl Johann Fuchs か Conrad, Wörterbuch（"Wohnung"）、（strage を題し記述せる所簡にして要を得たり參看を要す）、我國法が土地區劃整理爲又は衛生上若は保安上の必要に依る建築物の整理の爲必要あるときに建築物其の他の工作物を收用することを得と規定せるは即之に相當す（第一七條）是我國收用法の一大例外を爲すものにして重要規定たり其の土地區劃整理の爲にも之を認めたるは其の準用する母法たる我耕地整理法は整理地區に家屋の存在するときは强制整理するを認めざれば也（第四三條）而して單獨建築物の衛生上若は保安上害あるに

規ゐ除却處分其の他必要なる措置は建築物法の依定する所なり（第一七條）

若し工作物の收用と區劃整理とを併せ用ひ其の土地の上に建築物に關しては建築物法の支配を受けしむるに於ては我國都市の暗黑面の一新を圖ること決して難からざるべきを信ず。

（4）**衞生上の計畫**　殊に上水、下水の設備汚物の處分、市場、屠場、墓地、火葬場、公園、名勝地等に對する施設計畫亦都市の擴張發展の計畫に照應するを要するや論を俟たず。此等の施設は建築物法の規定と相俟ちて近世都市の要求中の要點たり（衞生が都市計畫中の要素たる點に付ては Bellet et Darville の cité Moderne 前揭第一章に詳なり、而して其の上水、下水以下各要項に對し歐米の新都市が如何に努力しつゝありやの大要は實に此の書の博引旁證する所に係り參稽に値するもの少からず其の他 Smith, Housing the Present opportunity 1918 は小册子なりと雖も市と衞生問題に對しては好箇の資料を與ふ、參照を望む）殊に自由空地（Les espaces libres）の保存は最近歐米都市が田園都市と共に最重きを措く點とす（cité Moderne, chap. XVIII.）我國法は是等の施設亦都市計畫として經營すべき要目と爲し法の運用に俟たしめたるの外尙特に公園及名勝地等自由空地の保存及其の風致の維持に對して都市計畫の一施設として風致地區を設くることを得せしめ（第一條第二項）其の地區內に於ける建築物、土地に關する事又は權利に關する都市計畫上必要なる制度を爲すことを得せしめ（第二條）以て地區設定の目的をして意義あらしむるを期せり。（續く）

宿田舍

秋滿山房旅夢驚
曉星初上雨初晴
隔溪瀧畔牛鳴處
知有農人邇月耕



都市計畫に就て（三）

內務事務官　吉村哲三

□都市計畫に關する費用

第四は、費用に關する規定である。是は、都市計畫法の六條乃至九條の規定であつて、やはり原則として市の負擔である。夫れ故、今後大阪市に於て執行されべき都市計畫事業は、原則として市民が其事業を負擔する覺悟がなければならぬ。併し乍ら、前述の通り斯の市區改正は國の事業である故に、國家としても十分な助成をする必要がある。其爲に特別の稅を起す權能を市に與へてゐるのと、又、市內に在る官有河岸地を無償で市に交付するのと、斯の二つであるが、政府も斯の事業の爲には相當なる國家の補助をすると云ふことも豫想される點であり、又議會に於ても、斯る重大な都市計畫事業を既に政府が國の事業と認めたる以上は、國費を以て相當の補助をするといふことは當然であると屢々要求したことであつて、是亦政府も相當な考を有ち、財政の許す限りに於て補助することにならうと思ふ。又、市區改正事業を執行する場合に、或は道路を擴げる爲に、或は公園を作る爲に國有地と衝突する場合に、是は法律で規定せずとも、命令を以て其國有の土地を公共團體に下附すると云ふ途は當然開かるべきものであらうと思ふ。又、特別稅を其財源とする精神

であるが、其特別稅の中でも、都市計畫事業執行の爲に特に利益を受ける者あらむか、例へば道路を擴げると其地方の地主は餘程利益を享くることとなる場合があらう、又公園を造りても其公園附近の者は之が爲に餘程利益を受くるであらう、其他、都市改良の爲に種々な事業を執行すれば、其土地の價格が一般に騰貴して、例へば、昨年迄地價千圓であつたものが二千圓になる所もあらう、或は今一層騰貴して來ることもあらう。夫れ故、斯る場合に土地の增價稅を設くるは、都市計畫事業の財源として甚だ適當なることであらうと思ふのである。其他、增稅等を爲さずして、例へば、道路を擴張すると、其兩側の地主は非常なる利益を受くる故、其地主に特別の負擔をさせる、即ち道路擴築の爲に要する費用の三分の一とか四分の一とかを地主が負擔せよといふのは、强ち無理ではあるまい故に、法律に於ては、都市計畫事業によつて特別の利益を享くる限度內に於て、事業に要する費用の一部又は全部を負擔することの出來得る途が設けてある。

□地域の指定と區劃整理□

地域の指定に關する規定は頗る重要なる關係に立つものであつて、先づ、都市計畫委員會に於ては第一に之を決定されることと思ふ。多分大阪に於ても、近く大計畫を樹てゝ、斯の方面は將來住宅區域であるとか、又は、商業區域とか或は工業區域であるとかいふ風に決定されるであらうが、斯の決定も、前述の如く、委員會の議決を經、而して內務大臣が決定して內閣の認可を受けるといふような甚だ鄭重な手續を履むで決まるのであつて、之を決定した上、其地域に對する種々な制限は、是亦當然市民の遵奉せねばならぬ處の事項である。其地域によつて建築物の使用目的を制限するといふことは、市街地建築物法と共に、詳しく規定されてある。

次は、土地區劃整理の規定であるが、土地區劃整理は、矢張り都市計畫事業として委員會で

決定し、内務大臣が之を裁決して、然る後、内閣の認可を受けて施行するといふ途もある。即ち、之に依つて決定したならば、都市計畫事業として市長が之を執行することにならう。併し乍ら、是は都市計畫事業とせぬ場合でも、其市の區域内に住してゐる者が、自ら進んで土地區劃整理をする場合には、やはり本法に據つて、或は其土地區劃を定め又は運河を堀り、或は道路を作り、其他種々な事が耕地整理法と同じ精神によつて行はれるのである。又、或場合には都市計畫事業とせず、一定の計畫を樹てゝ一應は其土地の所有者に其地區内の區劃整理を爲さないかと勸め、夫でも土地の所有者が自ら市街地の整理をなさぬときは、公共團體——市長をして強制的にさせるといふ途もある。即ち、其方法は三つある。一は、都市計畫事業として、或は市が郊外の土地を買ふとか所有するとかして、自ら事業を執行する場合と、土地の所有者が自ら進んで耕地整理法の如き精神に依つて土地區劃の整理をする場合と、土地所有者が之を爲さない場合には所有者に代つて公共團體の市長が之を執行する場合と、斯の三つの場合が起つて來ようと思ふ。故に、空地を澤山持つてゐる者が、其土地に相當なる區劃に地割をなして適當なる建築物を拵へたいと云ふ精神ならば、矢張り斯の法律の精神によつて、土地區劃整理を爲すことが最も適當であらうと思ふ。又市に於ても、此の地方は、土地の所有者に是非やらせ度いものであるといふ場合には、市に於て計畫を樹て、所有者に促して土地區劃整理を實行させるといふことも將來起つて來ようと思ふ。大阪には、築港方面に大分な建設の地區があるので、之等は、本法が實施されると同時に、斯の精神によつて耕地整理の如く適當なる地區に地割を爲し、住宅に必要なる地帶なり、又は倉庫を建設する地帶なり、又は種々なる工場敷地としての計畫を決定するといふことは、當然起つて來る問題であつて、又、住宅問題は今後種々な問題を解決するに甚だ重要なる關係を有してゐる規定で、是は、從來市區改正條例になか

つた規定であるが、將來の都市計畫上必要なる規定の一つだらうと思ふ。

□土地收用の例外規定□

土地收用に就ては、前に一應の說明を爲したが、原則として、今回は土地收用法に據るが、何時土地を收用するか又は其收用すべき區域はどれだけであるかといふことは、土地收用審査會の手を經ず、委員會で決定することゝ、今一つ、土地收用法には事業の認定といふことが必要である。即ち、斯の事業の爲には土地を收用して可いか惡いかといふことは、內閣に於て認定することになつてゐるが、都市計畫事業は最初に於て內閣の認可を受けてゐる故に、斯る煩雜な手續を爲さないで、都市計畫の事業が認可されゝば、當然に收用が出來得るといふ例外の規定が設けてある。其外に、尙二つの特例がある。其一とつは地帶收用である。即ち、是から二十間の道路を造るといふ場合には、其爲に二十間の土地を要するが、其際は、二十間道路の兩側へ更に二十間の土地を併せて收用し、其道路の兩側に適當なる宅地を拵へて置くといふことが、今度の都市計畫法により初めて規定された處の地帶收用の規定である。是は、東京の市區改正を爲した際にも、其關係の地主から餘程希望があつたので、例へば、市內の道路を擴げる爲に土地を收用するとせむ歟、然る場合に、今度新しく出來た道路沿ひになつた處の地主は、其爲非常な利益を享けるが、道路敷地になつた土地の所有者は、何處へも行く處がない、甚だ迷惑であるといふ苦情があるので、今度其際には道路敷地以外の土地をも收用する、是は從來の經驗によつて要求された點である。最も其地方の財政が許すならば、道路を擴築する際、道路の敷地以外に兩側の土地をも收用して、從來道路沿ひであつた土地所有者の利益を保護する途を開くといふことは必要な事であつて、斯る事は、從來の市區改正條例では實行出來得なかつた點であるが、今回の都市計畫法によつて土

地所有者の利益をも保護し、事業執行の爲にも大分都合がよく、且つ、都市が將來其土地を處分する際に、其買上當時よりは餘程有利なる條件の下に處分することが出來得るのであつて、或意味に於ては、市區改正事業の財源を産み出すことも出來得るのである。市區改正事業の財源は餘程困難な問題であるが、此の地帶收用の規定は、其意味に於ても確に有益便宜なる規定であらうと思ふのである。

□之を要するに□

大体、都市計畫法は斯ういふ仕組になつて居り、其他、罰則の規定であるとか、又、行政救濟の途であるとか、種々な事項あるも、大体の骨子は以上の點である。大阪市に於ても、今度の都市計畫法等に據つて都市計畫の大方針を確立されると想ふが、此の大阪の道路は、奈何なる系統に依り、奈何なる道幅を備へて道路を造るべきであるか、又、市内の運河とか河川は奈何に改修して行くか、新なる河川を什ういふ方面に造るか、或は、前に述べた地域の決定抔といふような事は皆委員會の議に上り、内務大臣の決定、内閣の認可を經て、遠からず一般市民の面前に現はれて來ることゝ思ふ。今は、其計畫の基本となる法令の精神を能く考へて、今後直ちに起る問題に對する十分な諒解を有つて貰ふことが此の都市計畫事業完成の爲に必要と思ふ故に、大体の事を述べた次第である。（畢）

建築の見方

建築に於て最も重要な觀方は何であるか。余は之を「審美的の觀方」と云ふに躊躇しない。それは建築美術の一種類に屬する事を許せば自ら明であらう。そこで問題は建築が美術の一種であるか否といふ事に轉じて來たが、余は十分美術を以て許す者である。この問題の疑問點は建築が審美的性質を十分有つてゐる事は認め乍ら、他に、住むといふ實用的の性質、又は方面が可なり重要であるといふ所にある。隨つて建築は十分美術であり、建築の最も重要な認方は審美的の觀方だと思ふのである



住宅問題と田園都市 (C)

都市事情研究會員 三宅勘一

△田園都市

□都市の膨脹には一定の系統あり
□都市は動脈以外に膨脹せず
□所謂田園都市の意義
□現世の極樂郷ともいふべき田園都市

田園都市（其二）

田園都市の建設條件

當局に於ても、夙に茲に意を潜め、木下中部管理局長の如きは田園都市に關し、左の如き意見を洩してゐるが蓋し最も其の當を得たものといふべきである。

『東京市民を此の混亂不衛生の狀態より救ふの

（既出）

△住宅問題

□東京の人口増加の趨勢
□斯の過住な人口密度に觀よ
□住宅面積及棟數と人口の比例
□過群生活に起る不德と犯罪
□過住生活の及ぼす衛生上の影響
□より以上の悲慘と殘酷
□人口增加に反比例する棟數の減少
□寧ろ洋服細民が問題
□先づ小學校教員の生活に觀よ
□慘めなる薄給者の群れ

途は、適當の地に田園都市を設け、交通の便を計り賃銀を廉くして、溢れつゝある都市の住民を此處に移すの外はない。而も田園都市の經營は啻に興味あり最も有意義な社會的事業たるに止らず、經濟の方面からいつて、隨分利益のある事なのであるから、心ある富豪資本家は、競つてかゝる事業に參畫されたいものである。而して田園都市の理想をいふならば、

一、土地高燥にして空氣も清鮮、且樹木多き處

二、水質の良好なる處

三、面積十萬坪以上を有し一萬人內外の人口を收容し得る處

四、乘替なくして一時間以內に都會の中心地に到達し得べき高速度の交通機關を有する處

五、電信電話上下水道、交通機關等文明的設備ある事

六、休養時を利用し運動をなし得べき場處と機關とを備ふべき事

七、病院、浴場、圖書館、學校、公會堂、禮拜堂等公共的設備をなすべき事

八、劇場、俱樂部、奏樂堂等の如き娛樂機關を設くべき事

九、消費組合、兒童保育所、授產所、其の他社會的施設をもなすべき事

十、模範的自治制を布く事

等で、以上の設備ある田園都市に對しては、上下水道は勿論其他の諸設備に對しては國庫の補助あるべく、鐵道院も勿論、出來得るだけの便宜を圖る積である』云々

田園都市の中心たるべき公共的施設——言ふ迄もなく、東京の近郊に設けらるべき田園都市も、叙上の資格を有する土地でなければならぬ。從つて土地の撰擇は可なり困難であろうが兎も角、適當の地に十萬坪以上の土地を購買する事が、先づ第一に必要である。若し此の十萬坪の土地を得たならば、是れを如何に利用し如何に設計するかゞ第二の問題であるが、余は大阪及び東京近郊に於けるあらゆる土地住宅の視

察を遂げ、また一昨年青島、大連方面の住宅地を視察した結果をも參酌し、其短を捨てゝ長を採り、茲に大體の案を樹てゝ見た、これによれば大體ハワードの設計に則つて、土地の中央に三千六百坪の大運動場を設け、其の周圍に、

一、夜學校　夜間、英漢數を敎授する簡易なる補習敎育機關で、晝間は事情さへ許すならば、是れを自働車運轉手の養成所に充て且つ中央の大運動場を運轉試驗地に利用したい。元來東京市の運轉手は、完全なる養成機關がないが爲めに、速成のものゝみで自働車の持主は常に不滿に思つてゐるのみならず、故障なども極めて多いから、夜學校を利用して、運轉手の養成を計るは、最も、當を得たものであらうと思ふ。

二、小學校及び幼稚園　十敎室內外の敎室及び講堂事務室を有し、完全にして同時に模範的な設備をなし、運動場としては、中央の大運動場を利用する。

三、大　學、出來得るならば大學を此處に移轉したいものである、而も是れは空想に非ずして、現に移轉計畫のものすらあるから恐らく成功は容易であらうと思ふ。

四、圖書館　有益にして必要なる圖書を網羅し、學生は勿論、居住者一般に修養の機會と刺擊とを與ふ。

五、公會堂　居住者の集會所にして、別室にて碁、將棋、玉突等の室內娛樂機關をも設け、また時々講師を招きて通信講演會をもこゝに開く。

六、禮拜堂　京都の一燈園に於けるが如く、各宗各派とも此處に集つて禮拜し得る制度にして置くのが便宜であらうと思ふ。

等の敎育及び修養機關を設け、別に、

七、遊園地　なるべく天然の地勢を利用し、別に花壇池塘、噴水、芝生等の設け、散策に便にし慰安の途を計る。

八、奏樂堂　簡易なるものを設け、時々樂師を招きて奏樂せしむ。

九、動物園及び水族館　殆どあらゆる動物と

魚介とを集め、實物敎育の資とすると同時に兒童の好伴侶たらしむ。

一〇 柔劍道々場 スケーチング、テニスコート等の運動娯樂機關をも完備する外、更に

一一、授産所 職業の紹介をなし、また副業等に就いては材料の仲介、賣却等あらゆる便宜を計ると同時に、法律顧問所を附設し日常起り來る法律問題の顧問機關とする。

一二、兒童保育場 晝間、就業者の兒童を預り、保護及び敎導をなす。

一三、浴場 衛生的なる設備をなし、極めて廉價に入浴せしめ、別に代筆所、新聞縱覽所、散髮所、洗濯場等を附設する。

一四、病院 完全なる設備をなし、無料にて診察し實費施療をなす。

一五、金融機關及び質屋 信用組合、質屋等により低利にて金融の途を計る。

而して其等の社會的施設をも備ふると同時に

一六、分賃園 一區劃を約四坪とし、希望者には廉價に貸付け、野菜、花卉等の栽培をなさしめ、自家用の剩餘は共同販賣をなし以て田園趣味を鼓吹すると同時に、副業として收益を得るの一手段たらしむ。

一七、園藝場 花卉、野菜、果樹等を栽培し別に養鷄、養蜂等をもなし得るの設備をなす。

如此にして、土に親み得べく、而して身心の健全を保ち、又以て幾分其利益は家計の足らざるを補ひ得るであらう。而して右の設備は、田園都市の中心となるべきものであるから、何をおいても、先づ眞先に完備しなければならない。

一家賃の廉い住宅と便利なる寄宿舍

一度、以上の如き公共的設備が整つたならば、茲に愈薄給者階級當面の問題たる住宅の建設に着手するのであるが、十萬坪の豫想地に於ては、大體左の如き設計が適當であらうと思ふ。

一、長屋 主として月收三四十圓前後の者の住宅で、家屋は三室を有し、建坪七坪五合是に表及び裏に五坪半の庭を設け、外に

花壇一戸當り三坪合計十六坪前後で、中央の花園の周圍にかゝる家屋を約千五百戸内外建築すれば、大約六千人内外の人を收容する事が出來る。而して此の長屋は在來の棟割長屋の如く、不衛生的なものでなく、飽く迄も合理的にまた理想的に拵へる必要のある事はいふ迄もない。

二、獨立住宅　是は中流以上の生活を爲しつゝある者の爲に提供する家屋で、七室を有する二階建で、地積は八十坪乃至百坪の豫定である。而して東京市ならば當然三十圓乃至三十五圓の家賃を支拂はなければならない程な住宅であるが、此の設計では、十箇年賦拂ひの形式により、普通家賃よりは寧ろ低廉なる三十圓内外を毎月家賃として支拂へば、十箇年後には三千圓の土地と二千圓の家屋とが自分のものとなることになる、則ち貯金以上の貯金であり、保險以上に割の好い保險となる譯である。なほ別に官吏の爲めに、是れとほゞ同規模の官舍を設けるのも面白いであらう。

三、獨身者の寄宿舍　近時東京市は下宿屋拂底し、從つて下宿料の暴騰甚しく、學生及び獨身者の不便は全く想像以上のものがある。獨身者寄宿舍は、つまり是れを救ふために設けるのであるから、彼等の慰安を計り、不便を除くあらゆる設備を完備しておく必要のあるのは、いふまでもない事である。

四、會社銀行寄宿舍　山口、浪華兩銀行抔では、大阪市外豊中に於いて各約百人を收容し得る直營の寄宿舍を設けて、これに獨身の青年銀行員を收容してゐるが、銀行側の語る處によれば、(イ)都會の惡弊に感化せず、(ロ)知らず識らずの間に、家風及び行風を敎へ、(ハ)團體的共同的の訓練を得、(ニ)事務の聯絡及び習熟の便を得るのみならず、(ホ)健康を增進し、能率を高め、(ヘ)下宿屋の約半額の費用を以て生活し得る上に、(ト)銀行側から言つても彼等を都

會地に住居させておくよりも市外地に收容して置けば、經濟上の利益があるといふ事であるが、これは極めて面白い計畫で、今後銀行會社大商店等は恐らく續々として此の制度を模するであらうが、かゝる寄宿舍を建設するに方つては、不便な土地や文明的設備の整つてゐない處では駄目で、到底所期の目的を果す事は出來ないから、田園都市の一劃にこれを建設し、既設の敎育修養娛樂等の機關を利用するのが、銀行側にとつても、收容店員にとつても非常に得策である。

田園都市の物質上に現はれたる利益——以上の如き設備が整ひ、市街地が出來上ると同時に、上下水道を起し、衛生の途を講じ、電燈、郵便、電信等の設備をなすは勿論、銀行、商店劇場、寄席、活動寫眞、役場、警察等も出來やうし、茲に到らざるなく盡さゞるなき完全な田園都市が出來るのである。而して今參考の爲めに、以上述べた諸設備の割當を豫定して見ると

長屋	三萬二千坪
大運動場、遊園地、公園、其他の敎育運動及び娛樂機關	一萬坪
獨身者寄宿舍（一舍千坪宛五箇所）	五千坪
會社銀行直營寄宿舍	一萬坪
官舍及び住宅	五千坪
分貸園（一家三坪當り）	一萬坪
牧場果樹園菜園等	五千坪
道路、會社、銀行、役場、警察、郵便局其他	二萬坪
空地	三千坪

といふ程度が、最も適當なものであらうと思ふ勿論、田園都市の理想からいへば、右の如き設計には多少の缺點もあり、殊に、住宅地以外の地の面積がもつと廣い方がよいのであるが、實際上、左樣ばかりもゆかないので、先づ以上の設計で滿足しなければなるまい。而して、斯る新市街の建設と同時に、忘れてならないのは、完全なる消費組合の設立である。是れによつて米麥薪炭味噌醬油牛豚肉を始め、總ての日用品

は、一切原産地より直接購買して頒布すれば、約三割内外廉價なるのみならず、野菜類は全部其の菜園に出來る勘定であるから、田園都市の居住者は、極めて安價に生活を營む事が出來る殊に家賃の如きも東京市の半に過ぎないし、浴場にしろ病院にしろ、實費であるから非常に廉く、其他圖書館、園藝場、公會堂、授産所、奏樂堂、其他の利用によりて生ずる有形無形の利益は全く想像外のものがあらうと思ふ。今、夫婦及び小供三人を有する月收五十圓内外（内職より得る收益をも含む）の一家族に就いて、余の計算した處によれば、以上の設備を有する田園都市の居住者と東京市内の居住者との生活費の比較は、大體左の如くである。

費目	東京市に於ける價格	田園都市に於ける價格	差
	円	円	円
米四斗六升（一升四十錢として）	一八・四〇〇	一六・五〇〇	一・九〇〇
家賃	一二・〇〇〇	五・〇〇〇	六・〇〇〇
醬油味噌	二・〇〇〇	一・四〇〇	六〇〇
生魚及び肉	三・〇〇〇	二・一〇〇	九〇〇
青物豆腐類	四・五〇〇	一・八〇〇	二・七〇〇
薪炭	三・〇〇〇	二・一〇〇	八〇〇
電燈水道費割當	一・七〇〇	一・三〇〇	四〇〇
新聞雜誌	九〇〇	九〇〇	—
湯錢	一・二〇〇	一・〇〇〇	二〇〇
下駄靴修繕費足袋（一年の平均）	一・五〇〇	一・四〇〇	一〇〇
學費	八〇〇	五〇〇	三〇〇
酒及び煙草	二・五〇〇	二・四〇〇	一〇〇
小兒小使	一・五〇〇	一・二〇〇	三〇〇
被服（一年の平均一切綿類）	三・〇〇〇	二・五〇〇	五〇〇
電車賃	三・七〇〇	四・七〇〇	增一・〇〇〇
雜費	二・〇〇〇	二・〇〇〇	—
合計	六〇・七〇〇	四四・四〇〇	一六・三〇〇

（註）右の内田園都市に於ける家賃は、地租一圓、保險金四十錢、地代四十錢、建築費利子一圓、原價消却費一圓修繕費五十錢、家屋稅管理費其他七十錢の總和より雜尿料五十錢を除いたものである。

則ち東京市の居住者は、毎月十圓七十錢宛不足を生ずるにも係らず、田園都市の居住者は月々五圓十錢宛剩餘を生ずる譯で、約り田園都市に居住するとせざるとにより、兩者の懷には月々十六圓三十錢の差違が出來るのである。殊に右に擧げた利益は、唯單に數字の上に現るゝ物質上の利益に過ぎないが、田園都市が居住者の上に及ぼす健康上精神上の利益は既述の如く非常なものがあるので、是れが若し算盤の上に加算し得るならば世人の必ず田園都市の利益の想像外に大なるに吃驚するであらう。（續く）



我邦現代住宅改良の施工法 (三)

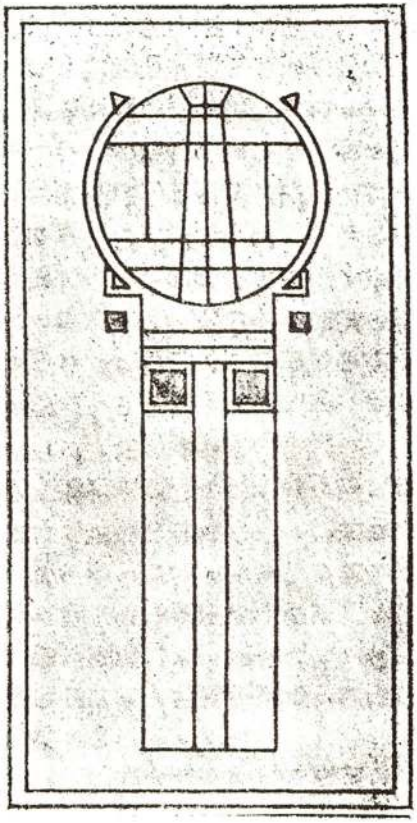
會員 小笠原鈞

☒建具の改良

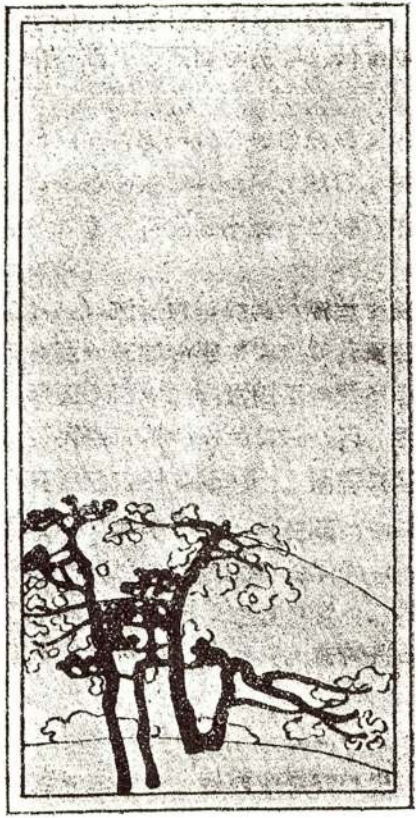
(A) 雨戸は椽側並に窓共總て建家の外面に在る分を撤廢し、之を締りの板戸と致しまして内側に建込み、外側へは全部硝子障子を嵌合せ、之を在來の雨戸に代へるのであります。而して其硝子障子は、夏季は勿論、通風又は掃除の場合之が開設を要するときにのみ在來の雨戸の如く一方の戸袋へ繰込むものと致しまして平素は晝夜共硝子障子を閉め合せ置くを以て本位と致します。此硝子建の外形に於て、所謂エレヴエーションを整定するに致したいと思ひます。

硝子障子を一本溝にして雨戸のように建込むことは、晝間庭先等へ出入するに一々戸袋内へ繰込むを要しまして、幾分か不便のようでありますけれども、夏季に於ては重もに戸袋内へ仕舞込んで置き、冬期は餘り庭先へ出入する度數も少う厶いますから、戸締りの完全を期する爲成る可く一本溝とするを可いと思ひます。併し乍ら、特に不便を忍び能はない場合は硝子障子を在來通り柱の内法へ抽達に建合せ、締りの板戸は柱の内側に溝を設けて之に仕合せ、戸袋柱の内法を少しく大きくすることに致しましたならば差支あるまいと思ひます。

要するに在來の通り防寒障子を内に致して雨戸を外にしますときは、冬季に於て折角室内に



木象嵌板戸



ペンキ畫板戸

温みのあるにも拘はらず、朝夕雨戸を開閉する爲に硝子障子を抽き明けて、温氣を放散するが如き缺點は前記の方法に依りて全く改良されます。

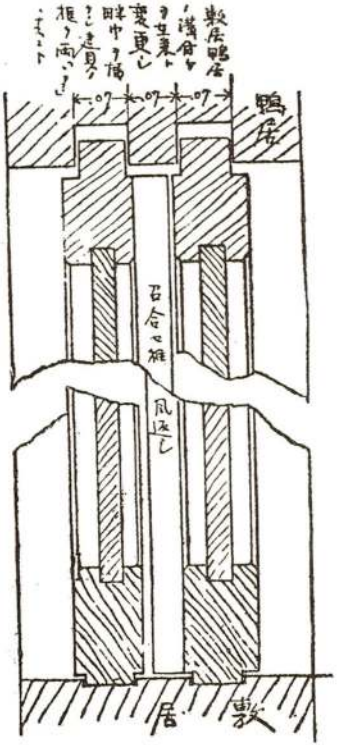
右の如く外締りに爲す硝子障子は、相當丈夫に圖面の如く厚一寸二分以上のものと致し、敷居鴨居共柱の外側に取付け、敷居は水吐をよくならしむる爲にレール仕込と致して水通しを決り出し、嵌外しは鴨居に上げ溝とし、竪框は印籠捧と致します。彼樣に致しましたならば、此硝子障子を以て風雨を防ぎ、晝間室内を暗くせずして（從來は晝間も雨戸を締めなければ風雨を防ぎ得ないのです）居常に非常なる便利を與ふることゝ存じます。

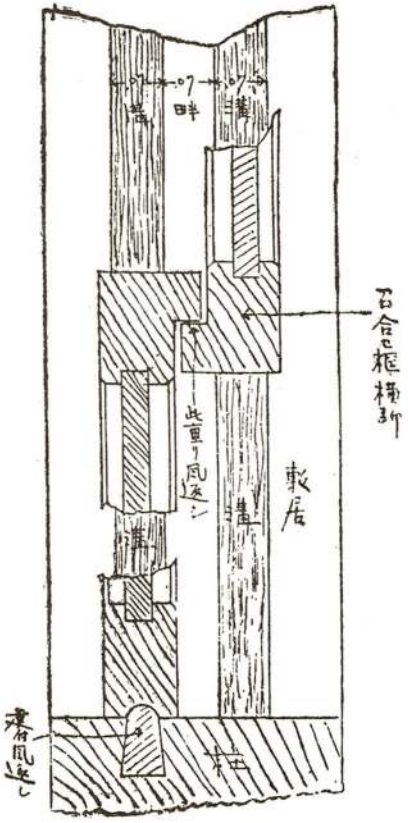
而して、夜間の戸締りは此硝子障子の裏に在來の雨戸のようなものを用ひまして、更に一重の戸締りを設くるように致したいものであります。

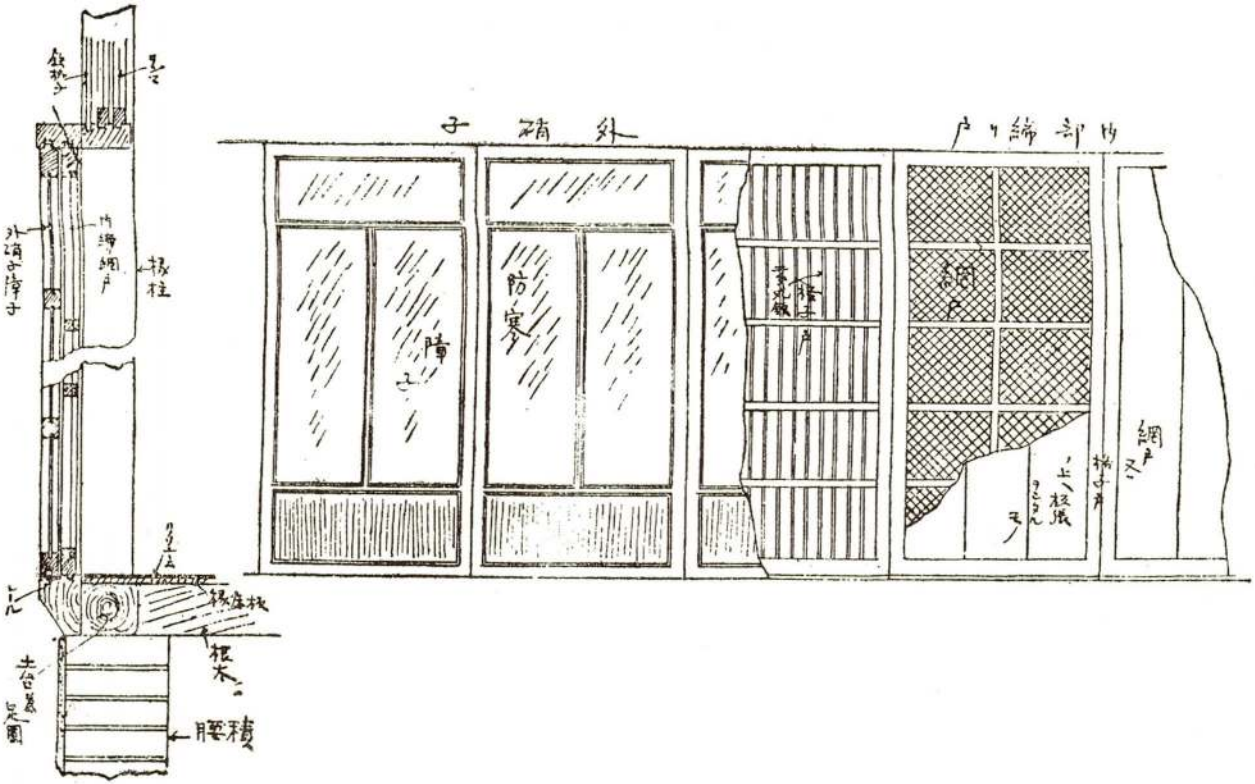
其締り戸は、在來通りの板戸を用ひ、之を戸袋（外硝子戸の戸袋を二倍大の深さに捧ゆる）に繰込むか、窓の如きは成るべく之を出窓に致しまして、其抱き面らへ二枚折位にして釣込む方法を採るのであります。

在來の雨戸は、其構造極めて貧弱でありますから、得て盜難に罹り易う厶います。斯の点に於て、外側に硝子障子を一重用ひますれば大に安全を來すことになります、けれども、此内部の締戸には在來の雨戸のような板戸を用ひませず更に一層改良致しましたならば、尙安全を進め得ることゝ存じます。

其方法は、周圍框を見付二寸、見込一寸二分位のものとし、之に木又は鐵の中桟を適當に仕込みたる枠に捧へ、之に十八番位の亞鉛引鐵線又は銅線製の六分目位の龜甲網を全部張付けたる金網戸に致しますか、又は前記の枠へ徑二三分位の丸鐵棒を二寸間位に指通したる鐵格子に成しまして、之等に適當な締鐵物を取付けますれば、大小安全なる戸締りになります。但、此場合には、夜間の光線を防ぎますに、柱の内側に適當なる引幕類を用ひますか、又は、其網戸


敷居鴨居
鴨居
召合せ框
風返し
敷居


召合框横断
敷居
此一重り風返し
建具風返し


外硝子
内部締り戸
障子
防寒
網戸
網戸
板柱
積腰

格子戸等に四分板の上張を施すことが必要であります。

(B) 各室の仕切に用ひます處の襖又は障子の如き建具は、矢張り抽違ひの構造が可しうムいます。是は、結局、日本の間取は西洋館に較べまして小うムいますから、建具の開閉に餘分なスペースを要しませぬ點より抽違を以て優れりと致します所以でムいます。

併し乍ら、抽違ひの建具には間隙が多うムいますから、暖房的には不結果であります。斯の点は、圖の如く召合せ框に風通しを付けまして其切込みを内外同形即ち雨クグミにする様に、敷居や鴨居共溝の突き方を改良したら什うかと思ひます。而して、尚一層暖房的に致しますならば、柱の建付へ建具框を決り込むか又は圖の如く柱面へ付物を爲し、之を建具框へ印籠嵌にすることに致したらと思ひます。

鐵障子は火災の点から成るべく全廢を要します。椅子式の室は勿論、其他の室も成るべく硝子障子と成し、其重きものは底車に致しませば差支ありませず、特に暖房的の場合は全然紙張を廢することでムいます。

襖は、普通の押入や其他嚴重なる締りを要しませぬ部分は、當分在來通りの方法で宜しうムいますけれども、椅子式の室や寢室、其他失火に際しまして幾分にても燃燒を遲緩ならしむる考案から推奨しまするならば、襖の代りに帶戸又は無良戸の如き板戸を用ひまして、幾分パネルド・ドーアに近きものに改良致し、柱建付の框には鎌錠を仕込み、召合框には捻締り又は差込錠を施しますれば、在來の構造よりも非常に優良なものとなります。

而して、此の板戸は、又場合に依りまして圖面の如く適當に木象眼の模様を施しますか、或は杉戸の如く繪畫（ペンキ畫にて差支ありませぬ）を以て仕上げましたならば非常に高尚な建具となるのであります。

（續く）



女流の住宅觀

□新しく住宅を建てる人に

醫學博士男爵
加藤照麿氏夫人
加藤常子女史談

相當な暮し向きをして居られる人の間に、近頃新しい住居をお造りになる方が多いのは、寔に結構なことゝ思ひます。中には、今の時代は物價も非常に騰貴をして居るし、まだ人心も險惡であつて、新しい家屋を建築でもすると、何か特別な暴利でも貪つて成金になつた結果贅澤な家を建てたりなどする樣に誤解されるから、當分必要でもない家屋の新築などは見合せたらよからうとおつしやる方もあります、これも一應は御尤もで、今はそんな贅澤や道樂に浮身を窶して、要りもしない家屋を建てる時代ではないかも知れません。けれども、從來お住みになつた家屋について、不自由でもあり不滿足であつた方が、家屋を新築をしてもよいだけの御身分にもなつたし、又其不自由に我慢も出來なくなつたといふ樣な事情から、結構な新宅をお建てにならうとならば、それは甚だよろしいことゝ存じます。

何しろ斯う時代が變つてまゐりますと、單に昔風の家造りや、室内の構造では滿足し切れない種々な不便や不利もありませう。例へば商家に致しましても、是迄は町並にある住宅の前側だけを店としまして、一部には商品を陳列し、一部には家族が住むとか、或は廊下續きに本宅

と店とが聯絡して居るといふ風なのが多かつたのです、けれども是からは、店は店、住宅は住宅と全然別々にして、店の方は事務所風にするとか、或は百貨商店風にするとかして、一家は全然それと離れて、郊外なりに住居する様な式になるのでありませう。現に東京や大阪の大商店は次第にそうなつてゐます。その他普通の家屋でも、一部を西洋風の應接間にするとか、お臺所の様子を變へるとか、或は子供達の爲めに一室を宛てがふとかするので、古い家に其儘で住まつては居られなくなつたのは事實であります。

殊に是迄は、衞生思想の幼稚であつた爲に、光線の採り工合が悪いとか、家の中が濕るとか其の他種々の缺點があつたものです。故に今の新しい建築法なり衞生法なりに依つて、文明的な家屋に建て直すのは、極めて必要なことゝ存じます。その他經濟上からも、便利上からも、舊式な家屋にては間に合はない點が非常に多いことですから、新しい立派な、そして衞生上便利上等の條件に協つた理想的の住居をどし〳〵お建てになることは、双手を上げて賛成する次第であります。勿論、無理な工面をしてまでお建てになるのも考物でせうが、餘分の財産があるとか、貯蓄が出來たとかして、それを何に使はうかとお考へになる様な方ならば、第一に先づ家屋をお建てなさいとお勸め申します。衣服を造り、道具を買ひ、或は娯樂の爲めにお使ひになるのも、全然悪いとは申しませんが、一家族の常に住居すべき家を、完全なものにすることは何よりも急を要することでありませう。

只その場合、私から申しますと、虚榮の爲めに家屋を建てないで實用の爲めに家屋をお造りになることを忘れてはいけません。これは何も家屋だけに限つたことではありません。衣服にしろ食物にしろ、實用本位が第一番で、人に見せびらかす爲めや、女優のやうな眞似をする爲めに着物を欲しがるやうな間違つた考を出してはいけないのですが、近頃お建てになる立派な家屋の中には、動もすると實用よりも虚榮に基

づいて住宅をお造りになる方もないではありますまい。これには御主人の趣味とか虚榮心とかも手傳つて居ませうが、大部分家庭の主婦たる人の責任であらうと思ひます。美くしい大きい家に住んで見たい、間取りや構造は何うでもよいから、只華美な、外見の立派な、他人の羨まむ様な家を造りたいといふ淺はかな主婦の頭から建てられる家も多いだらうと思ひます。私共が時々人様を訪問しても、左様としか思はれない様な家屋をよく見かけるから左う感じるのであります。

これは畢竟、着物の場合に實用と虚榮とを取り違へ易いと同じやうに、家屋も亦、自分達の住む所といふ意味と、他人に見せるものといふ考とを穿き違へた結果であつて、斯ういふ頭で家屋を造る人は、澤山の金を掛け、人々の手數を勞して、虚榮の偶像を製造するやうなものであります。そして自分達の健康や幸福や愉快や或は家庭の圓滿やを犧牲にして、斯んな不用な贅澤物を仕上げるのは、以ての外と言はなければなりません。そんな家屋なら全く、今の様な差し迫つた時代に造る必要は決してありません。吾々は心地よく住んで、それに依つて、一家族の樂しい美はしい家庭生活を營み、且つそこを活動の源泉とするのでこそ、新しい家屋を建築する意義もあるのです。虚榮を滿足させる目的ならば、それは住宅といふものではないのであります。

斯うした考から申しますと、家屋は實質主義實用本位となりまして、室の數とか配置とか廣さとか、或は構造とかも、或は世間普通の物と餘程變らなくてはならぬかも知れません。例へば大きい客間を取らないで、比較的小さい室の數を多くすること、客室と居室と臺所との建築費の差別を餘り設けないこと、從來は餘り重く見られてゐなかつた室を新しく造るとか、或は注意をして造作をするとか、色々な條件が出てまゐりませう。そして極端に申しますと、天井を最上等の板で張る代りに、幾分その質を落しても床下に注意を拂ふ様にしなくてはならぬと

言ふ様なことで、專門の技師の方から見ると、全く矛盾した點も生じませうが、先づ實用本位が最もよいと存じます。

それは無論、吾々は牛や馬ではありませんから、美的感情を滿足させる程度に裝飾や美觀を凝らす必要もありませう。燐寸箱を積み重ねた様な恰好の家で、壁にも柱にも床にも何等の美術の應用がないと言ふ様な殺風景な家に住むがよいと申すのではありませんが、併しそれ等は第二です。先づ便利で實用になる家屋を目的として、それから次に及ばなくてはなりません。所が前にも申す通り、近頃見る家屋は正反對に先づ外部の見ゑる所を美くし、室も目につき易い部分だけは丁寧にしてあるけれど、奥の方の小兒や老人の居る所、或は主婦の居る室などは驚く程劣つて造つてあるのが多いのです。是等は古い家なら止むを得ないとしても、新しく造る際には餘程氣をつけて建てなくてはなりますまい。

殊に最も御注意申したいのは、室の〆切りのよくないことであります。これは西洋室ならば文句なしに理想的にまゐりますし、日本建築でも上等の建築ならそんな心配はありますまいが普通の家だと、柱と障子、或は障子と障子との合ひ際のきちんと締つて居ない様なのは、衛生上甚だよくありません。寒中はあれから風が侵入しまして、呼吸器を惡くするやうなことがよくあります。現に此の前の世界感冒の大流行の時でも、別に病室の設備のない普通の家では、室内を密閉して肺炎患者などの療養をするのに非常な缺點があつたさうです。理想的に申しますと、例令日本家屋でも、必要な室はきちんと締まる様にして、他室と空氣の直接に流通することを少くし、欄間に依つて廊下又は緣側の上部を通じて泉外へ汚れた空氣を送り出し、また天井の四隅に適當な空氣抜きを設けて置くといふ風にしたらよろしいでせう。これは或る事情の爲めにつく〳〵感じたことですから申し添へた次第です。

要するに、家を建てると申しても、主婦が常

識に富んでさへ居たら何でもありません。衛生とか何とかやかましく申しても、皆常識的のことばかりですから、それから割出して、必要なもの、實用なものを建てる考で居ましたなら、間違ひはありますまい。只、家屋は着物などゝ違つて、さう度々建てられるものではありませんから、建てるに方つては餘程愼重な態度を取りまして、技術上のことなどは、すつかり主人なり建築して下さる方なりにお任せ致まして、餘り口を出さないのに限ります。丁度病氣に對して、素人が心配の餘り、分りもせぬ癖に醫師の意志に反した手當などを加へますと、よくなる處を却つて惡くする場合があるのと同じことで、折角うまく造られる家を、さし出口をした爲めに取りかへしのつかないことにする樣では困ります。先づ私は、常識的な實用主義の家屋を忘れなかつたらそれで澤山と思ひます。何だか内容のない、理窟ぽいお話になりましたが、其の中又、面白いお話を致す機會もありませうから是で御免蒙ります。

□西洋かぶれの珍し物喰いは考へもの

前特許局長
夫人　中松繁子談

私共の樣な舊式な頭を持つてゐる者には、別に意見といふ樣な人樣に申し上げることも御座いませんが、只主人が住宅などの事について色々考へて居ますので、それを聞き噛つてゐる位なものでございます。ですから茲に申すのも、主人の意見で、私の意見ではありません。

主人は何時も斯んなことを申します。日本人の生活は餘りに簡單で、お粗末千萬で、西洋人に見られるのが恥かしいと思ふこともありますけれど、成る程それに違ひはないとしまして、

さればとて今俄に吾々が、石や煉瓦で造つた家屋に住んで、牛肉とバンとだけを食べて、そして洋服を着て靴を穿いてゐるものとして御覧なさい。果してそれで我々は滿足に生活して行けるでせうか。否きつと我々は直に健康を害してこんなにぴん〳〵してゐることが出來なくなつて了ひます。これは實に吾々の習慣から來ることでありまして、近頃の新しい人は何でも西洋風がよいとか、或は新しい方法に限るとか思ひますけれど、必ずしもさうではないと思ひます故に住宅でも、すつかり西洋式にして住まうなどゝ考へると、飛んだことになると、主人は申してゐます。

現に赤坂の方の或る富豪は、米國歸りとか申すので、何から何まで一切西洋風にして、疊と言ふものは一枚も敷かない家をお造りになつた所、奥樣もハイカラがお好きのことゝて、當分はそれで珍らしくもあつたし、又大さう愉快さうでありましたが、だん〳〵住まつて見ると、窮窟なことだらけで、とても堪へ切れなくなつた爲に、最初は奥樣の居間だけを疊敷にして、それから次第に、あの間も此の間もと、カーペットを剝がして疊を敷いたものですから、今では殆ど各室とも日本風に變つて了つて居るさうであります。それから、嘗て櫻井ちか子さんかの仰やいましたには、外國からお歸りになつた當座、西洋風の暮しを急に癈められないので、お休みになるにも寢臺を用ひて居られましたが何時の間にかそれが窮窟で、不便で仕方がないやうになつた爲め、遂に日本風の布團の中に寢るやうになつたと言ふお話を聞いたことがあります。

主人なども、丸の中に事務所を設けてから、毎日石造家屋の中で仕事をしてゐますが、事務を執るには此の方が大へん便利だけれど、どうも窮窟で仕方がない、夕方宅へ歸つて疊の上に坐ると、何とも云へぬ愉快な心持になれると申します。殊に梅雨の頃などには、石造の家屋はじめ〳〵として、陰氣で不快でやり切れないとこぼします。西洋には梅雨がないのですからあ

れでもよいのでせうが、日本の様な空氣の濕つた土地では、矢張り野天同様な、紙の障子と薄い壁とで遮つて、風も通せば日光も通す家の方が、我々の住居としては健康上によろしいに違ひありません。食物でも同様と見ねて、日本人が西洋へ行つて洋食ばかり食べて居ますと、何んな人でも直ぐに飽きが來ますので、たまにお米の御飯の御馳走になると非常に嬉しいのださうです。殊に西洋で病氣になつた時、洋食でソップや卵を盛り立てゝ、如何に滋養分を取りましても、元氣が恢復しませんが、お米の粥を啜るとずん〳〵よくなつて行きますと、これも主人が洋行中の經驗でよくお話をすることであります。これは實に妙なもので、何千年來の習慣は容易に變へることが出來ないのでございませう。

さればとて、何もかも昔通りに舊弊を守つてゐるわけにもまゐりません。例へば家屋にしましても、右の次第で全然西洋風にはならないにしましても、洋服を着たお客様を日本室へ通すのは、お客様のお窮窟を思ふとお氣の毒なものですから、せめて、一間は西洋室でなくともテーブルと椅子とのある室を設けて置く必要もありませう、又一寸した訪問客などは、さうした應接室ですと長い時間を費さないで、面會をして用談を濟ますことも出來ますから、私共でも簡單ながら、椅子を置いた一室も造つて置きます。私共の家屋は斯うした場所の郊外にありますので、いろんなことをやつて、日本風とも西洋風ともつかない生活振りでありますが、兎に角、樂に暮らされるといふことを第一に心掛けてゐる次第であります。

これは住宅だけのお話ではありませんが、住む場所は矢張り郊外が一番よろしい様です。それも生ぬ抜きの江戸兒といふ様な、都會の中央で生活の習慣のついた方には、却つて郊外生活は不適當かも知れませんが、私共のやうな田舍者には、何うも都會は健康上にも、習慣上にも宜しくないやうです。一時市内に住まつたことも御座いますが、家と家との間の狹い區域内に

ろくに庭もなしに生活してゐると、息が詰つて始終肺病にでも罹つてゐる樣で困りました。それがこんな廣々とした郊外では、まるで畠の中に家を建てゝ、家の内よりも、ぐるりの田園の中が自分達の生活する場所になりますので、氣持がすつかり變りました。主人はよくさう申します。日本人は自然の子であつて、昔から自然の中で育つて來たのだから、成る可く自然に觸れるがよい。不快になれば周圍の青葉を見て活す、熱が出れば太陽の光に觸れて熱を取る、お腹を惡くすれば、其の邊の野菜を食べて治すといふ風にすれば、それが本當の自然療法であると申すのですが、或はさうかも知れません。郊外で生活するやうになつてからは、私共も子供達も、滅多に病氣をしなくなりました。時偶病氣をしても、お醫者が遠いものですから、ろくに診察も乞はないで放つて置きますと自然に病氣が逃げて了ひます。

それに郊外ですと、いつも自分の手で作つた新鮮な野菜だの卵だのが取れまして、經濟ではあるし衛生上にはよろし、誠に結構でございます。私共では家の周圍に廣い空地がありますので其處へ絕えず野菜を作つて居ます上、主人が凝り性ですから、温室を設けたり、珍らしい果樹を植ゑたりして、殆どそんなものを買ひ入れることもない位に出來ます。先年から養鷄を始めまして、一時は三百羽以上も飼つたことがあります。何も內職といふ樣なわけでありませんが、家庭で養鷄や農業の眞似をしますと、子供達の敎育の爲めにも非常によろしからうと思ひます。

つまり我々として、住居の改良などを考へますには、從來日本でやり來つたことは何もかも惡いものとして、西洋人のやつてゐる通りにするのがよいといふ風に考へるのがよくないと思ふのであります。尤も西洋人は家を建てるにしても、長い間頭を働かせて來たのですから、西洋人其物から見ては寔に結構な家屋でありませうが、それと同じやうに吾々も、我々自身で最も適當した生活を始めなくてはなりません。そ

れには西洋を土臺とせずに、矢張り日本を土臺として行かなくてはなりますまい。紙の家の中で、蓙の疊に坐つて、二本の箸でご飯を食べて緒のすがつた下駄を穿いて出て行くといふのは一方から見ると甚だ滑稽でもありませうが、神武天皇以來長い〳〵間、我々の祖先はさうして生活する必要があつてさうして來たのだし、それでこそ健全に發達して、今日の立派な日本國をなした次第であると、斯う主人は申すのであります。

それ故、私共の意見と申しますと、住宅は先づ郊外に選ぶこと、そして家屋の內よりも外を自分達の住居と心得て、邸の周圍にいろんな道樂をやるがよろしいと思ひます。殊に養鷄の如き、色々の有益なものを我々に與へて呉れることは、どなたにもお勸め致す次第であります。元來日本人は、家の中よりも自然の中で生活したのですから、それが本當でありませう。殊に日本の婦人は內氣で仕樣がないのですから、斯ういふ考で生活をする樣になりますれば、餘程よろしいことであらうと存じます。

人生は戰場

人生は戰場である、競爭場である。從つて、困難が多い、苦痛が絶へない。人生何故に困難があるか、苦痛があるか、暫し古來の大問題である。が、是だけは分明である、此の困難と戰ひ此の苦痛を凌いで行くので、人格が向上して行くのである、從つて社會が進歩して行くのである。



街道樹論(三)

特別賛助員 農學士 大屋靈城

一、總　論
二、樹種の選擇
三、並木の管理
四、並木の保護
五、大阪市の並木

(二)並木の管理

茲に並木の管理と云ふのは總て植付けてから其の木が並木として役に立つて居る間の一切の手入を謂ふので時に刈込んでやるとか肥料を與ゆるとか灌水するとか病虫害の驅除をしてやるとか云ふ仕事は其主なるものである。從て此等の仕事は皆專門的の智識と技能とを具へたものでないと能くする事が出來ない。如何に立派な理想に近い樹種を選んで植付けても其の管理よろしきを得ない時に於ては到底立派な街道樹を完成する事は出來ない。街道樹の出來不出來は一つに之れを管理する人の手腕と熱心の有無如何に依て定まる事が多い。從て所謂街道樹係なるものゝ選擇は樹種の選擇に劣らず肝要の事である。

(A)管理者の選擇

私は今日各都市が此の點に於てどこ迄注意を拂つて居るかを悉知しないが全く風致とか觀賞植物の培養とか云ふ方面に門外漢である人々の手によつてこの方面の仕事が行はれて居ないか

と心配する。否寧ろ並木等の仕事は左程當局の目にもつかぬ位の雜務として放棄されて居るではないかとも考へる。尤も何れの都市にも並木係と云ふ係のある事はよく聞いて居るが大低他の係りが之れを兼務してゐると云ふ有樣である都市の並木を管理するには四季を通じて少なからぬ仕事がある。樹種の選擇、並木の補植、剪定整姿、病虫害驅除豫防風防支柱取換培養土入換並施肥、苗床の管理、等と云ふ如き確かに一人前以上の仕事である。總て兼務となると其の仕事は徹底的に行はれぬのが普通である。成るべくは並木係なる者は專任して居くがよい。而も並木は道路上に植栽するものであるから建築より寧ろ土木に大なる關係を有するものである從て土木課の一分課又は係りとして土木課長監視の下に置き必要に應じ專門家の意見を徵すると云ふ風にするが最も適當であろう。

東京市では土木課の道路係と云ふ内で並木の事を處理して居るようである。又公園課とか公園係とか云ふ一分課が設けられてあるところでは仕事の性質上其の中に含めるのが當然であろう。何れの場合でも土木の手を離れ又はこれと反目して行はるべき性質のものではない。

都市計畫の聲八釜しい今日であるから特に述べて置くが將來の都市を田園よりも却て衛生的に棲み心持よくするには上水道や下水道の完備が急務であると共にどうしてもこの街道樹に力を入れなければならぬと思ふ。

以上は管理者に就ての論であるが實際の管理法の上に於ても述ぶべき事が多々ある。然しこれを一ち〳〵論じて行けば勢ひ專門的の講義をする樣な風に成るから茲では單に二三の注意事項に就てのみ述べる事にする。

(B) 苗木の選擇

苗木は將來の並木の良し悪しを運命づける源であるから、あちらから三本こちらから五本と云ふ風に諸所方々から寄せ集めたものでは到底役に立たぬ殊に從來の植木屋の苗圃に育つて居る如き放任主義のヒョロ〳〵苗木では駄目であ

る。庭木としての松は小供の時から枝を曲げられ葉をむしられて林木とは大變にちがつた家庭教育をうけて初めて雄々しい姿を成すものである樣に並木には並木特有の姿勢があるから幼少の時から其姿を見越して育てゝ者の手にかゝらなくては一人前に成れない。又同じ並木の形にも、ピラミッド形とかブッシュ形とかコルドン形と云ふ樣に樣々の形があり樹種や植付ける場所の如何によつて仕立法を變へるのであるから初めから其の苗木の將來到達する形が何であるかを決定して育成せねばならぬ。これが爲には少くとも二年生の幼少な苗木時代から管理者の手に依つて育てらるゝか又は並木の仕立方を心得た種苗商（植木屋）の下に哺育せられねばならぬ。今日並木專用の苗木を仕立つる植木屋のある事はあまり聞かぬ位であるからどうしても各都市は市として自己の市内に植込むべき並木の苗を準備しなければならぬ。よし將來此の種の種苗商が出來るとしても都市自身が苗を仕立つる方が經濟上其他總ての點に於て有利であるこれが爲には郊外の地味の肥沃な交通の便ある地を選んで苗圃を設くる事が必要である。

現今我國の都市に於てこの種の設備を有つて居るのは先づ東京位であろう。（大阪にも僅か計りは持つて居る）東京市では青山の郊外羽根澤と云ふところ、護國寺の近くにある雜司ケ谷其他大久保邊に合計貳萬坪餘りの苗圃を持つて居る、こゝで市内の街道樹と公園内の補植用苗木を育成して居る。然しまだ〳〵十分とは云へないが他の都市に比すると一段の進歩を示して居ると云はなくてはならぬ。

尙茲に注意すべき事は並木は少くとも中木を植込まなければならぬと云ふ點である。未だ形を成さない若苗を街道樹として植込む事は風致上は勿論管理上も甚だよろしくない。交通が頻繁であり風土が悪い爲に大低は折られ傷けられ滿足の成長を見る事は出來ない大阪市の並木が多く欠損して空所を生じて居るのも一つは茲に起因して居る。然らば何年生位の苗木を用ゆるが適當であるかと云ふに勿論樹種により異なる

が挿木繁殖のものは四年實生仕立のものは五年以下は絶對に用ゐぬと云ふ方針でやつたらば間違ない。從て一つの並木を植ゆる爲には少くとも五年前から計劃せねばならない事に成る。此點は今日各都市の當局者に注意を拂つて貰ひたい事で、さあ都市改良が出來た主要道路も出來上つた、今直ぐ並木を植ねてくれと迫られても御望み通りの並木は植へ得るものでない。大体路線の計劃のついた頃から並木の設計も立てゝ準備おさ〳〵怠りないと云ふ位にやつてやつと道路の出來上る頃に間に逢うと云ふ事に成る。凡て御役所の仕事は泥繩的に成り易いからこれだけは餘計な心配のようだが附け加へて置く。

（C）植木屋の選擇

並木を完備するには培養土の選擇、肥料の選擇、風除支柱、病虫害の驅除劑等の選擇は勿論必要であるが、之等を使つて實地に施工する植木屋（新しい言葉で云へば園丁）の選擇も亦十分嚴にせなければならぬ。並木等と云ふもの流行し初めたのはごく最近の事であるから從來の植木屋の中には其の手入を心得ぬものが多い。從て其の仕事が萬事につけ管理者の考へと齟齬する、これでは管理者の折角の苦心も作品の上に表はれぬと云ふ事に成る。

從て此後は植木屋の內から多少學問のある理解力のある若い者を選んで豫備的の智識を授けてやるか、既にこの方面の智識と技術とを多少吹き込まれて居る甲種又は乙種農學校の卒業生を園丁として使用すると云ふ方針を採らねばならぬと思ふ。現に京都府の植物園では乙種農學校の卒業生を見習生として採用し晝間は植木屋の仕事を仕込み夜間には多少づゝ其の方面の敎育を施して居るが將來時代に遲れない植木屋を作り出す事が出來るだろうと期待されて居る。其の勞働能力等に就ても私の見たところでは歲こそ若けれ大人の六分位の事は出來るように思ふ。

又最近見聞した一例は先月東京市で並木の剪定に農業大學の學生を使つた事である。

勞働者拂底の際とて休暇中の學生に日給一圓二十錢かいくらかの報酬を約して志望者に並木の夏の手入を行はせた。其の結果は大變良かつたと云ふ事を聞いて居るが並木も私が二三ケ所フイルムの中に收める氣に成つた位何時もになく立派な姿に立ち並んで居た。こうした植物に趣味を持ち理解力を持つた若い人たちに其の業を仕込んで植木屋の代りに使つて見るのも確かに一策である。

又並木等は數の多い事で小人數で長期間に手入すると云ふ譯には行かぬ短期間に一齊に終らねばならぬ仕事が多いから勢ひ大人數を要するこの點に於て各都市が其の附近の農學校、園藝學校等と連絡を取つて生徒の實習にこの並木の手入を委囑する抔と云ふ事も或は上策であろう要するに此の植木屋の選擇は管理人や苗木の選擇に次で等閑視すべからざる問題である。

（續く）

何が富であるかといふことに就て最も普通の目的へ向つてさへ、十分に正しき見解を有してゐる者は、萬人に一人も無い。況んや之が永遠に亘る其意義を解する者に至つては、更に寥々たるものである。茲に一定量の物質の獲得されたるものありとせんに、其物が之に依りて圍繞されつゝある國民にとつて、果して財物なるや將た害物なるやは、只物質の存在てふ事實によりてのみ決定し得べからざるものである。其眞實の價値は之に附せらるゝ道德上の符號に依り富て左右せらるゝこと、恰も數學上或分量の價値が之に附せらるゝ代數上の符號に依りて左右せらるゝと、全然同じである。―最も富める國とは、高尙にして幸福なる人間を最大多數に養ふの國である。最も富める人とは、自ら人生の本務を極度迄實行し、更に其德其財を以て最も廣く恩澤を衆に及ぼすの人である。

＝ラスキン＝



朝鮮營林廠所管の森林一班(二)

會員　谷　民　藏

△營林廠沿革概要
△所管の面積
△管內主要樹種
△伐木及造材
△運材及流筏
△貯木
△造材規定

伐木及造材

伐木事業は當管內に於ては普通直營伐木と個人伐木とに別ち、直營伐木は營林廠直接の事業(一部の請負を含む)として伐木するものにして個人伐木は出願に應じて伐木並に搬出の許可を得べし。尙ほ適宜の箇所に於て或は伐木搬出の經費を賠償して之れを引取り、又は立木伐を徵收して私有に歸せしむる方法を講ふ、造材は數年前迄は主として角材と爲し或は其長さも支那式の一連(八尺)を單位として採伐せしも近來は運材編筏の方法に熟練せるのみならず脊板も又擔應に利用し得るを以て直營伐木は主として丸材を伐出することゝせり

伐木及造材事業は主として九月より十一月の間に之れを行ふものなるも場合に依つては若干部を臨時に又其他の時期に於ても實施せる事ありと云ふ、今各年度に於ける伐木材積を擧ぐれば左の如し。

伐木造材比較表（造材々積）

年度別	鴨綠江流域			豆滿江流域			計		
	直營	其の他	計	直營	其の他	計	直營	其の他	計
明治四十年乃至大正二年度平均	八一四、七五一、尺ノ	四三四、三六八、尺ノ	一、二四九、〇八六、尺ノ	二五一、三八五、尺ノ	二一、三三二、尺ノ	一七二、七八、尺ノ	九六六、一〇二、尺ノ	四五五、七〇一、尺ノ	一、四二一、八〇四、尺ノ
	六七、	三三、	一〇〇、	八九、	二、	一〇〇、	六九、	三一、	一〇〇、
大正三年度	二〇四、八四〇、	九七、四九五、	三〇二、三三五、	四一、〇六二、	四、八五四、	四五、九一九、	二四五、九〇三、	一〇二、三四九、	三四八、二五一、
大正四年度	一三六、六三二、	五三、三五七、	一九〇、〇二〇、	四一、八五五、	三、七七八、	四五、六三三、	一七八、五一八、	五七、一三五、	二三五、六五三、
計	一、一五六、三一一、	五八五、二一〇、	一、七四一、四三八、	三三四、三〇二、	二九、九六五、	二六四、二七〇、	一、二九〇、五二三、	六五、一八五、	一、九〇五、七〇八、
平均	一三八、四六九、	六五、〇一四	一九三、四九三、	二六、〇三四、	三、三九、	二九、三六三、	一五四、五〇三、	六八、三五四、	二三三、八五六、
歩合	六七、	三三、	一〇〇、	八九、	二、	一〇〇、	六九、	三一、	一〇〇、

即ち鴨綠江流域に於て、大正元年度には一時縮小主義を採り、爾來林野調査の進捗に伴ひ年次增加し、大正三年度には三十萬尺締を超ゆるに至るも四年度には歐洲戰亂の影響を受け運轉資金缺乏等に依り已を得ず直營伐木を縮少せるのみならず、民間伐木業者も一般に伐木を手扣へせし爲め竟に十五萬尺〆を減少するに至る、又豆滿江流域に於ては會寧兵舍建築の爲め明治四十年度より四十二年度に至る三ケ年間に於て約十六萬尺締を伐採せし以來直營伐木は漸次停止の狀態に在りしも大正三年春季に於て山林大火ありて燒損木不尠之が爲め主として咸鏡南北道方面の需要に充つる爲め再び本表の如き直營伐木を開始するに云れりと云ふ。次に鴨綠、豆滿兩江流域に於ける各年度の計葉樹種別伐木數量を記載する事左の如し

鴨綠江針葉樹伐木比較表（造材々積）

年度別	紅松	杉松	落葉松	計
明治四十年度	一一一、尺〆	一一一、尺〆	二〇二、六一〇、尺〆	二〇二、六二〇、尺〆
仝 四十一年度	五〇、八七、	一一一、	八九、四六〇、	一四〇、三四七
仝 四十二年度	六一、八五、	五、一八八、	六四、一七一、	一三一、二四四
仝 四十三年度	二五、七二、	九、八〇九、	四〇、七二一、	一七六、二四一

仝	四十四年度	一二八、二六九、	三三、一五八、	三、四六七、	一九一、八九四、
大正元年度		七五、六二四、	三二、七八六、	三、四三一、	一九三、四四一、
仝	二年度	七六、四九八、	五四、四〇〇、	四一、七三一、	一七二、五八九、
仝	三年度	八六、八一七、	一三五、一一三、	六〇、九五〇、	二八二、八八〇、
大正四年度		五三、八四九、	六六、八五七、	四五、八四一、	一六八、五四七、
計		六五九、五一〇、	三六、三一一、	六〇一、九六三、	二、五九七、七八四、
平	均	七三、二七九、	三七、三六八	六六、八八五、	一七七、五三二、
歩	合	四一、	二一、	三八、	一〇〇、

即ち本表に依り綜察するも室内美術的檜材に類似する雑作用材は百分中四十一を占め建築骨格用とする内地松材に似たる落葉松は其三十八パーセントを有し、縦材に等しき杉松樹は二十一の割合となる更に豆満江流域に採出する彼の針葉樹を見れば左の如し、

豆満江針葉樹伐木比較表（造材々積）

年度別	紅松	杉松	落葉松	計
	尺ヴ	尺ヴ	尺ヴ	尺ヴ
明治四十年度			三〇、〇〇〇、	三〇、〇〇〇、
仝 四十一年度		四、八〇〇、	一二五、七三六、	一三〇、五三六、
仝 四十二年度			三、三五二、	三、三五二、
仝 四十三年度			三、六六五、	三、六六五、

仝	四十四年度		五一、	五一、	
大正元年度			二、	二、三三三、	二、三三五、
仝	二年度	一八六、	九七八	五、〇三七、	六、二〇一、
仝	三年度	一、〇九八、	一〇、四一九、	三、九五二、	四四、四六九、
仝	四年度		六、八三六	三七、七三一、	四四、五六七、
計		一、二八四、	一三、〇四五、	三三〇、八五七、	二五五、一八六、
平	均	一四三、	二、五六一、	二五、六五一、	二八、三五四、
歩	合	五、	九、	九五、	一〇〇、

即ち豆満江の流域には落葉松を主材とし其の採伐量は更に九十パーセント以上とし其他は採伐地の關係ありと雖も紅松材は鴨綠江流域に比して遜色なかるべし

右兩流域の針葉樹合計を見ること左の如し

針葉樹伐木合計比較表（造材々積）

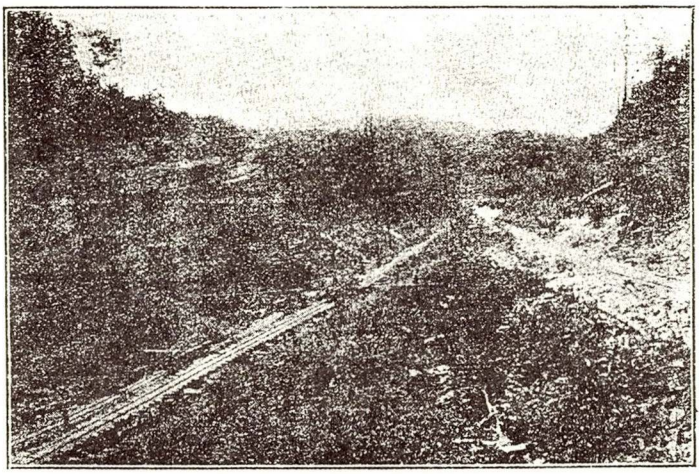
年度別	紅松	杉松	落葉松	計
	尺ヴ	尺ヴ	尺ヴ	尺ヴ
明治四十年度			三三、六〇一、	三三、六〇一、
仝 四十一年度	五〇、八八七、	四、八〇〇、	三〇五、一九六、	三五〇、八八三、
仝 四十二年度	六一、八五五、	五、一八八、	六七、五三三、	一三四、五九六、
仝 四十三年度	一三五、七二一、	九、八〇九、	四四、三七六、	一七九、九〇六、
仝 四十四年度	二八、二六九、	三、一五八、	一九、一八九四、	一九一、九四五、

大正元年度	七五、六二四、	三三、七九八、	二七、三六四、	一三五、七六六、		
仝　二年度	七六、六四四、	五五、三七八、	四六、七六八、	一七八、七二〇、		
仝　三年度	八七、九二五、	一四五、五三一、	九三、九〇二、	三二七、三四九、		
仝　四年度	五三、八四九、	七三、六九三、	八三、五七二、	二二一、二一四、		
計	六六〇、七九四	三五九、三六八、	八三二、八二〇、	一、八五二、九七〇、		
平　均	七三、四二二	三九、九二八、	九二、五六八、	二〇五、八八五、		
歩　合	三六、	一九、	四五、	一〇〇、		

即ち鴨綠豆滿兩江流域に於ける從來の針葉樹伐採材積を比較するときは落葉松最多量にして四割五分を占め之れに次ぐものは紅松材にて三割六分とす。杉松材は最も少量にして一割九分に相當するなり。然れども杉松樹の伐採量は近年大に激增し、將來の産出量は杉松をして落葉松に凌駕すべく紅松材は二割以內に減少すべき見込なりと云ふ。

═運材及流筏═

鴨綠江は云ふ迄でもなく滿鮮國境の一大河江なるが、該地方は元より運輸の機關が不備なるのみならず寒帶地方なるが故に每年十月に結氷を初め翌年四月に解氷するに至る。之れが爲め、運材の開始は大低十二月頃よりして積雪及結氷を利用し牛曳、木馬、修羅の方法に依り又は輕鐵に倚りて土場運材を爲し（場所の關係に依りては鐵砲出し、又五月頃は管流に依りて編筏土場に木材を集め）



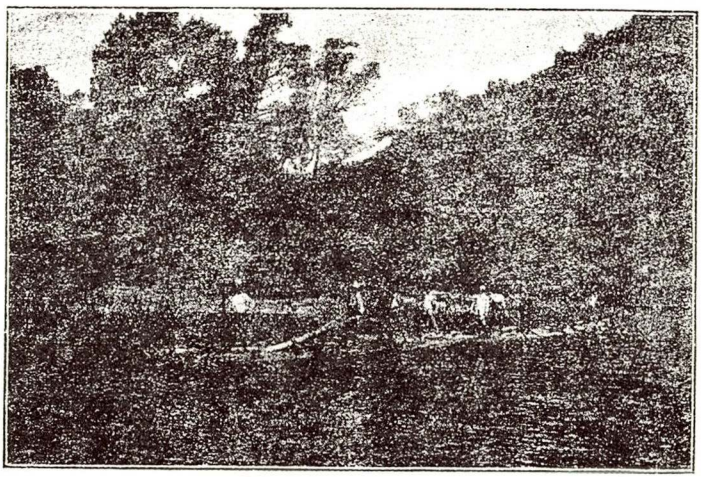
山地に於ける輕鐵運材の光景

全き解氷の時期に至れば編材を行ふて流筏に移る、即ち流材の開始は通常五月にして其最盛期は六月乃至九月の四月間の箇月間なり。流筏距離は鴨綠江に在りては百里乃至百五十里、豆滿江に於ては約百十里なり、而して流筏の閉止期は十月を以て最終となす。



山地に於ける牛曳運材の光景

河川の運材は斯の如き狀態なるが爲め交通停止期間は雪氷を利用して木材を沿岸に搬出し氷上に大筏を編立し、解氷せば自然の筏となるものなり。今此處に挿入する寫眞の如く其長きは二三町を有す之れを二重乃至は三重に組立て、其上に小屋を建設し風



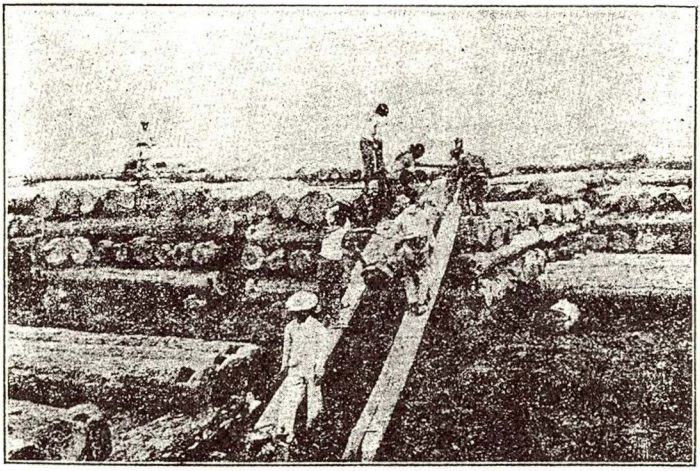
筏流下の光景

雪を避け暖を採る此内稍完全なる家屋には四疊或は六疊等の數室を有し、妻子一族をして一家團欒にて或は屋外には豚羊抔を飼養せるものあり。斯くして解氷と同時に百數十里を四五ヶ月の日子を費して、新義洲或は安東縣に到達するものなり。斯の如くにして土場に到着したるものを今各年度に施工せしもの即ち明治四十年度乃至大正四年度の九ヶ年間に於ける箇人經營並に支那伐材等總著材積は百五十七萬五千餘尺締の鴨綠江材あり尙ほ豆滿江材は十萬七千餘尺締即ち二者合計は百六十八萬二千六百餘尺締を有す。

更に當廠直營流筏著材を見るに明治四十年乃至大正四年の九ヶ年間に鴨綠江材は百二十四萬餘尺締豆滿江材は七萬五千尺締にて合計百三十一萬八千尺締なり、即ち平均年筏材は十三萬八千尺締にして大正二年乃至三年度に於ては大旱魃あり後年は大洪水等の爲め管流に著しき支障を生じ大正四年度に於て顯著なる出材を觀たりと云ふ。

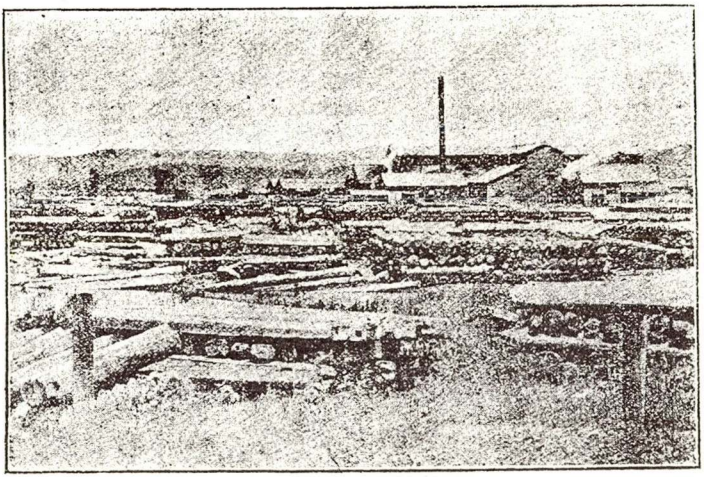
貯木

本廠内の貯木池は土地或は氣候等の關係上我内地貯木池と其趣を異にせるは既に寫眞にて見るべし、大積二三尺の大材と雖も陸上に大棧積となし風雨に曝露せる事は保管上大なる缺陷と云ふ



貯木所木材集積の光景

べきなり。



製材所の光景

鴨綠江の貯木池は新義州の北方約一里の北下洞中の島に在り尙ほ新義洲製材所構内には十萬坪餘の貯木所を有し、流下せる原木を貯藏す、又豆滿江に在りては大正三年度より下流土里に派出所を置き同所に著筏せしめ夫より輕鐵軌條に依り西水羅に運搬し同地に貯藏し居るなり。

今貯木材積を見るに次表の如き數字を示す。

	鴨綠江材	豆滿江材	計
大正四年度	三三三、三七尺ノ	二、六〇六、尺ノ	三四四、九三三、尺ノ
明治四十年乃至大正四年、九年ケ平均	二三四、四三四、	二、一〇三、	二四五、五三六、
歩合	九五、	五、	一〇〇、

即ち著筏の材積中には鴨綠江に九五、豆滿江に五、なるは直營流筏の著筏數、下流木材賠收數下流木材の買收數並に廠材漂流木尙ほ廠材以外の漂流木にして整理規則に依り營林廠の所有に歸したるもの等の數量を包含し在るなり。

樹木の買收

營林廠に於て特殊注文品の不足を補ふ爲め且つ木材市場價格の暴落を調節する爲め從來支那材の流下せるものを買收しつゝあるが如し。

今明治四十年度に鴨綠江流域に於て九百六十尺締の買入を手初めとして大正四年度迄に四十二萬八千六百七十四尺締最近一ケ年に四萬五千尺締にして九ケ年平均せる數量は四萬九千餘尺〆なるを見れば買收數量は今俄に變動あるものとも思はれざるべし。（續く）



都市と社會施設

□米國に於ける住居經營 (二)

(アーキテクチユラルレコード所載
シルベスター・バクスター氏述)
=コンネクチカット州ブリッヂポート市=

會員 M T 生 譯

(上)

米國が今次の大戰に參加する以前に聯合國の注文に係る軍需品は莫大なものであつて各種の地方工業の統一のために需用供給の關係は到底住宅の供給の急要と一致する能はざることを發見した。若し高級職工の要求に應ずる丈の住宅を設備しなければ其能率は信賴出來ぬ事となる上、職工は元來萍草の樣なもので「今日は彼所の岸に着く」とやら多くの工業中心地の引力に引張られて自分等の最も都合のよい所で一生懸

合衆國住居財團法人の經營に係るコ州ブリッヂポート市に於ける實例は大產業都市の一般要求の好例である。戰時命令に依つて勃興せる各種工場の要求に應じて來襲せる職工の住宅は明かに缺乏を告げたのである。ブ市は戰時工業によりて勃興せる一大都市で旣に戰前十萬の人口を有して居た。從つて戰時中に增大せる現時の市の境域は一寸測定の出來ぬ位に擴大されて居るのである。

命に働くものである、だから問題は明瞭である即ち、良い職工を得て其處でウンと働く樣に仕向けるのである。

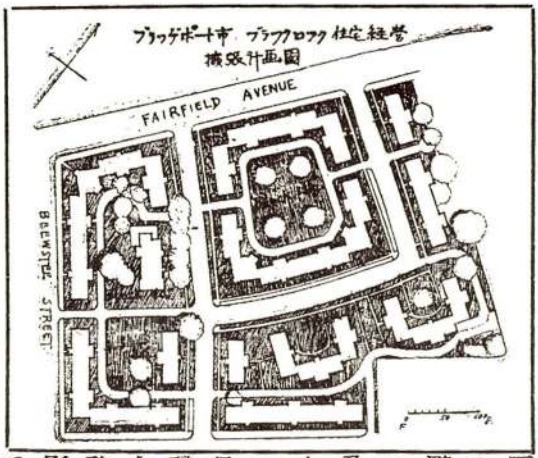
幸にして敷地は此等の要求に合致する仕事を運ぶに都合がよいが個人經營の工場の手に合はぬ仕事は何うしても聯合國政府の要求に應ずる爲めに大規模の仕事を斷行しなければならぬ。そこで製造主は此等職工の來集を促す爲めに住居經營に着手しなければ絶望であると氣が付いた。則ボストン市のジョンノーレン氏は有名な都市計畫者であるが此問題の調査を依托された彼の報告書「ブリヂ市の要求する住居」はブ市の商業會議所の特別委員會で大に注意せられた。其結果ブ市住居財團は組織せられ資本金壹百萬弗を以て迅速に大規模の計畫に着手した。市の內外に於て各部に數箇の敷地を選み將來の發展に應ずる樣充分に注意を加へて急速に共同長屋（アパートメント）及棟割長屋（グループ）を建設する事となり、約二百軒の家族に對して準備を斷行したのである。又レミントン市の勞働會社では更らに大規模の財團を造つて七百軒の家族を收容する住居を計畫してゐる。合衆國政府の計畫しつゝある住居經營を合算して見るとブ市の新工業地住居に戰後投下したる資金總額は勿驚八百萬弗に達してゐる。しかも此等の住居は數箇を除いて他は殆んどスレート葺或はアスベスト葺の煉瓦造である。

合衆國政府は個人經營の住居計畫では充分なる效果を明かに認められないといふ結果參戰後間もなく大規模の計畫に着手し既に完成せる各地の小規模の住居經營に大なる援助を成就した譯であつて殆んど完全なる組織を完成したのである。

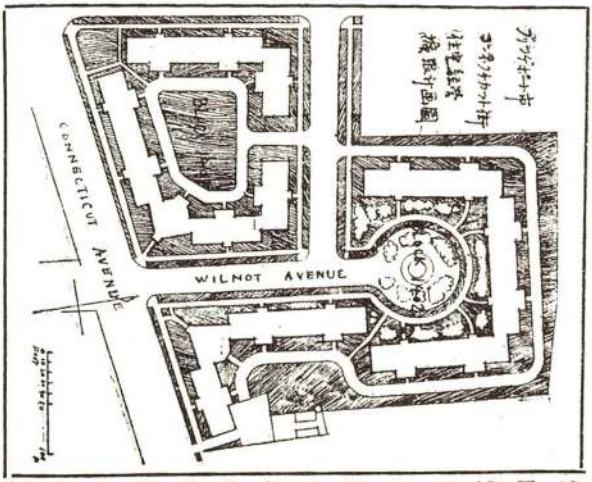
ボストン市のクリプストン・スタアヂス氏は記念的建築物の泰斗とされてゐる。則ち大ボストン市記念碑ウオーター町のバアキン盲學院等の設計者で又住宅建築に特種の手腕家であるがブ市住居會社の創立以來關係しよくブ市の地況に精通して居るから將來の經營に對しては主要は人物である。

ブ市の各工場は市中到る處に散在してゐる。

從つて、合衆國に於ては、居住財團法人として他にも相當な施設を有してゐるものもあるが、併し此處に掲ぐるものは、夫れ等の多くのものと行き方を異にして五つの區域に分劃して一地區に集中するの方針を避けたのである。彼樣に分劃し統一したる組織を採りし結果は、忽ち職工の交通上と將來の發展の上に影響を與へて、各工場は其周圍に充分な發展の餘地を有し又多くの職工は各五分と歩く必要がない事となつたし又特に交通機關の設備に依るの必要がない。其効果



は單り之に止まらずして、其他の諸種な方面に好影響を來す結果となつたのである。即ち、他の特長としては公共の爲めの一般設備として學校、遊園公園、店舗及娯樂地は市内に自由に設けられた。彼樣な次第であるから其仕事の上にまでも更に尠なからぬ種々効果を與へて、住居法人の仕事は主として簡潔に住居經營にのみ集中されたのである。



ブ市の此大計畫の事業に參與した建築家では

議長としてスタアヂス氏の外に都市計畫者としてのアーサー・シャトレフ氏（在ボストン市）技師としてブ市のアルフレッド・テリー氏等が居る。シャトレフ氏は米國都市計畫家として重望ある經驗家であつて大ボストン市の發展に對する市の規本計畫に參與し彼の有名なる一九〇九年の都市改良委員會の報告書は主として氏の努力によつて完成したものである。

ブリッヂポート市は五つの地區に分たれてゐる。各地區は「都市」としての一部を形成してゐる。從つて各部とも廣大な地域を有し夫々住居地を供有してゐる。就中二つは比較的小さくて且偏僻であるが、特に周圍に適應せしめて小締に經營され、各家族の大勢を雜居せしめぬ樣な共同長屋の好例を建設してゐる。此等の地區は其一を除いて多くは氣持のよい林樹の繁茂と自然の形勢を占め、安靜の上から見ても經濟の上より云ふも數多の特長を有つてゐる。

彼の有名なるナポレオン皇帝は軍事的施設のぬかりなき劃策中にも道路に樹木を植ゑしむるを忘れなかつたそうである。斯種の考案は政府の計畫中にも特に注意を拂はれ、道路の線を劃するにも住宅群を配置するにも雅致ある效果を得せしめ尙又保健、經濟を忘れないといふやり方である。樹木の配置、林樹の背景、又美觀上の要求及原則によつて恐るべき單調に陷らぬ樣に工夫された。單調に陷るのは要するに無風流の骨頂であつて從來成なり苦い經驗を嘗めて居るのである。

雅致ある經營を實現した二つの地區といふはブラックロック（第一號地）とコレチクチカツト通（第二號地）の両擴張地區である。此等には煉瓦造に人造石をあしらつた三階建の共同長屋を建て連ねた。夫々一群を單位として連結しながらも變化を付け構造上の經濟と外觀上の風致とを保たしめたのである。中庭を挾めるものも學校の樣な單調に陷らぬ樣にしてゐる。此等の各戶は二つの階級を設けて各階に二家族を住ましめる間取である。大程四室を具備してゐる則ち臺所、居間、二つの寢室夫れに浴室を設け

てある。他のものは三室のもの五室のもの夫々一群をなしてゐる。從つて各家族によつて適當なものを選む事が出來るのみならず其居間は亦寢室として利用し得られる。此場合には折疊寢臺か運搬し易い寢臺かを用ふることによつて簡單に居間にも寢室にも兼用する事が出來る。

便利といふ點については經濟的見地から構造上には特に注意が拂はれてゐる。一定の配線工事を各軒に應用して經費を省いて居る。共同長屋も獨立住宅も或は半獨立家屋でも或特例を除いては夫々最も入念の仕事をしてゐる。殊に器械的設備はよく整つて居る、そして家賃は月額二十弗から三十五弗に過ぎない、しかもいづれも見苦しからぬ外觀を有し且つ家庭的安慰を與へんとするのである。從つて此等の要件を具備せしむる爲めに大なる注意を拂つて此等の擴張計畫が完成したのである。そしてニウイングラント地方の工業地に於て最も勝れたる摸範的住宅を建設し得たのである。のみならず、都市の美觀を增大せしめ趣味ある慰安的態裁を備へて勞働者階級の要求に合致し且將來益要求せられる彼等の「宜しいな」といふ滿足を文字通りに實行し得たのである。今此の成効せる煉瓦家屋を安普請の木造と較べて見たら御話にならぬ事と思ふ。二重にも三重にも体裁を飾つても夫れ丈職人は內容に手を拔いて居る木造家と此等實質に於て堅實であり品位ある長屋及住宅が小ぢんまりと美しく庭園に圍まれて建てられたのとは比較にならぬ譯である。

此等の成効を齎らしたには主として美的見地と同時に經濟的處理を忘れなかつたに歸着する此種の改良設計は其周圍にも價値ある影響を與へ且つ都市の財源をして自から增大せしむる丈の歡迎を齎らしてゐる。之に反してニウイングラント地方の工業都市の一に於て市外地經營に際し「改良」といふ名目で木造の天麩羅建を盛んに建築し、其結果其周圍の狀況をして改造以前に比して著しく低下した實例もあるといふ事である。

更らに一考の價値あるべきは斯種擴張工事に

美觀的考慮を加へたる點に在る。ブラツク・ロツクの經營地には美しい樹木の排列してゐる事である。其結果建築の外觀に一層の美觀を加へてゐる。コンチクチカット通の擴張工事には斯種の自然的風致がない。從つて其計畫を完成するには充分斯の點に注意を拂はねばならぬ。

總じて都市改良計畫が市の內外に經營せらるゝに方つては什うしても趣味の點より打算し且經濟的地步を確定して自然的風致を最も有効に利導すべきである。

（未完）

都市建築家

西洋殊に獨逸には、都市全部又は一部の設計を爲すことを職業とする專門家がある。彼等は國內各地に在る都市に出掛け、其處の當局者に會つて、市區改築の必要なる所以を說明したり、市の側から提出する設計事業に就て意見を吐くこともある。又郊外隣接地都市中樞地新市街等に就いて具體的の設計案を作製する。勿論衛生土木建築美術經濟等の多方面に亘る大問題であるから、一口に都市設計家と云ふても、其內には亦色々の專門家が居る譯で、凡て一つの設計が出來上る迄には各方面の設計家が協力して其事に當ることとなつてゐる。其設計意見書が各專門家から集まると通常之を一册のパンフレットにし、市民に配布して其輿論を採るのである。

□大阪市營『職業紹介所』及び『勞働取引所』

江村郊邨

（卷頭の寫眞參照）

我日本建築協會は、都市及都市社會研究を其主要事業の一部となせる當然の事項として、わたくしは、先づ、大阪市なる公共團體が施設せる都市社會事業の研究及紹介より始めて他に及ぼすべく、轉に、大大阪市の一部と觀るべき北長柄の細民部落に稿を起し、爾來、大阪市營住宅及共同宿泊所、市營簡易食堂、並に、市立兒童相談所等に就て、其實相とわたくしの卑見を掲げしが、今、亦此處に題目の二事業に關して、更に稿を重ぬるをとした。願て、或は屢る、剖抉甚だ粗笨に、行文晦澁、却つて讀者を誤らしむるとを。されど、若し、纖にも採つて、都市研究の左券ともならば、幸は倖である。只、折角の好箇なる之等の資料を俎上の銳刀に俟つ能はざるを自ら憾むのみ、讀者に對して切に諒恕を乞ふ處である。

▲メーヨー・スミスといふ人は、其著『總計及經濟』に於て、『產業上に於ける最も重要な問題は、實に、勞働者の性質と其應用とに在りて決して勞働者の數量其ものにあらず。從來、經濟學上に於ける人口問題は最も誇大に取扱はれ勞働者の性能と幷が應用其ものに就ては未だ充分なる研究を遂げられざるなり。惟ふに、將來の社會問題は、勞働力の淵源たる處の人其ものに對して、第一に熟練と活力と智識と而して道義的性格を附與し、第二には、是と同時に、其勞働力が最も適當に分配し應用さるゝとを攻究するに在り。舊經濟學派は、斯る問題を解決するに方り、實業海の船長として餘りに企業家を崇拜し、之に反して、社會論者は只分配の均衡を得せしめむとする一事に偏倚し、竟に其救濟は普遍ならず、惟れ、將來の社會に於ては須ら

く意を此處に致さゝる可からず』と曰へり。

▲蓋し、スミス氏の意は、單に勞働者の胃の腑を滿たさしむることが必ずしも社會問題の解決にあらずして、其道義的性格を淘汰する事も其最要事たるを曰ふに在るも、一面に於ては、氏が唱導する如く、社會問題は、人口と其の生活資料の關係に發程すると同時に、幵が救濟問題は、必ずしも、人口殊に勞働力の過多に在らずして、之に對し最も適切なる分配と應用の奈何に存すると謂ふ可である。惟れ、實に、『勞働仲介』若しくば『職業紹介』制度が社會的施設殊に都市社會の夫れとして重要なる所以である

▲而して、又、勞力の配置と應用は、單に勞働者就中失業者の救濟制度としてのみ其意義を畢るにあらずして、他面に於ては、無用の勞力を有要に產業化して、調節滑轉、竟に一國の產業と勞働力の平衡或は能率を得せしむるに甚て亦重要なる意義を成すものと謂ふて可い。されば、『職業紹介』或は『勞働仲介』の如き制度は、甚て一國產業組織の圓滑なる運用機關と謂ふべきである。

▲我邦に於ける斯の種の制度としては、私人の營利事業として、纔に、彼の不完全なる『桂庵』又は『親方』なる一種の制度を具へ來れるは古き歷史を有せるも、所謂公共觀念に基く處の斯る組織殊に防貧行政の一作用として公法人の施設に係るものは、我邦として、大阪市が這回設置せる職業紹介所又たは勞働取引所等を以て嚆矢とし、又た、世界に於ける斯制度に觀るも、最も其作用の充實し來りたるは比較的新しき年所に屬し、其濫觴と觀るべきものも、未だ前世紀の末葉に屬せるに過ぎない。而して、其最も古きものは佛蘭西にして、而も斯制度の完備に最も力を致せるものも亦同國である。けれども、是とて、僅かに、今より七十四年前にマールメーヌなる者やドモリナリといふ經濟學者等に仍りて主唱され、而して、今より約三十四年前に、初めて、巴里市が中央勞働紹介所なる一大組織を爲したるが、先づ公共團體の施設としては嚆矢である。殊に、面白き事は、同國の

斯制度が、勞働――職業――の紹介即ち恒久的勞働契約の仲介を爲す外、一時的勞働の配給を仲介し、即ち、公共團體の或設備を供して、雇主及勞働者直接に日々の勞働需給を爲さしむるものにして、一種の勞働取引制度である。是は大阪市が從來施設し來りたる處の職業紹介所の外、今次、今宮及京橋一丁目に設置せる勞働仲介所が實に夫れである。

▲獨逸に於ては、今より約二十三四年前に初めて、エスリンゲンとエルフルトに市營の勞働紹介所が組織され、爾來今日に至るまで、全國の斯る公共團體によりて施設されたる斯制度は殆んど幾百を以て算じ、被紹介者一箇年數十萬人の多きに上るといふ事である。更に亞米利加の如きは、千八百九十年に、オハイヨ州に於て州立勞働紹介所の設置を見たのが初めであつて爾來、現に多くの州に於て之に倣ふてゐるが、而も、オハイヨ州は、彼の千八百九十年に於ける巴里博覽會の節、件の紹介制度を視察したる一新聞記者によりて傳へられたのであつた。殊に、イリノイス州にては、强制的に斯制度の組織を命じ、人口五萬以上の都市には、少くとも一箇所の勞働紹介場を設け、人口百萬以上の都市には三箇所以上を設置することを命じたのである。而して、更に面白き事は、前の獨逸と云ひ、又亞米利加と云ひ、孰も坊間の營利的な之等紹介所の弊に耐へざりしことも、其公營動機の一つたりしことである。次で、英吉利の如きは、主として、大工業都市、例へば、グラスゴーやシエフイールドや、又は、リーヴプール抔の如き都市の商業會議所に仍りて之等の組織を施されたのであつたが、どちらかと云へば、公營としては餘り振はないとのことである、蓋し其國風の然らしむる處であらう。併し乍ら、今より約十五年前に、一つの法令を發布して、人口五萬以上の都市には必ず勞働紹介所を公設することを命じ、殊に、倫敦の夫れは、中央勞働紹介所の總括的組織の下に數多な紹介所を有してゐるのは、其規模の奈何は別として、大阪市の中央紹介所が先づ之に似通ふてゐる。

▲我大阪市に於ける勞働紹介又は勞働取引の現狀は、大阪市が一大工業地たる割りに未だ斯る機關の頻繁なる作用を要求すべき實狀に達せざるは幸ひか不幸ひか今遽に之を斷ずべからざるも、所詮は、我邦の社會問題が昨今幾多の方面に擡頭せりとは云へ、失職又は生計の壓迫に由る轉業等の問題は未だ激しからざる一般の狀況に基らむ歟。歐米に於ける勞働紹介制度の如きは、驚て悲慘なる失業又は酸鼻すべき生活の壓迫が主として其背景たるの感莫きを得ない。今、其奈何に悽愴の實狀に在るかを示さんが爲左に、生江孝之氏の視察記の一節を揭げて參照に供することゝしよう。

『初め著者は（生江氏）、グラスゴー市長の紹介狀を得て同市內の紹介所を訪問したが、所長は慇懃に余を導き、事務の整理方法を初め、其他一般の事項に對し精細の說明をして呉れた、——此の紹介所は男女に對し各々時間を異にして取扱ふてゐるが、余が訪問の際は男子勞働者の取扱ひ時間であつて、門前には幾百の失業者が群集して居つた。開所の時刻が來ると共に驀然として突擊的に受付口に侵入して來た、其雜沓の狀態は恰も大河長江の堤防が潰壞して怒濤の一時に氾濫するが如き有樣であつた。余は其の際事務室に居つたが、斯の狀態を目擊して實に一種悽愴の感に打たれたのである。惟ふに、彼等勞働者中には職を求め麵麭を獲んとて得ること能はざる既に幾日かに及び、兩親妻子の饑餓に泣く者も亦あるであらう。彼等は勿論職を得んと欲して紹介所に群集するのではあるが、同所に於ては唯だ自己の氏名及び職業を登錄するのみにて、之れを以て直ちに適應の職を得るといふのではない。然るにも拘はらず、他を排除し各自先きを爭ふて登錄し居る狀は、彼等が奈何に一日の麵麭を獲んとて熱中して居るかを察するに餘りある。元來英人は——長幼男女の別なく奈何に雜沓する場合に於ても、實に能く秩序を守り義務を重んずる國民にて他を排除して自ら之れに先んぜんとするが如

きは決してない。――然るに其特色を有する英人にして尙且つ斯の亂雜を極むるを見て、奈何に彼等が麵麭を獲るに汲々たるかを知ることが出來たのである。――此外著者は他の都市に於ても業務紹介所を視察した事あるが何處も署々同樣にて到る處繁昌してゐる』

大阪市が這回新に施設せる勞働取引所、即ち、主として、彼の所謂鮫鰐連紹介の如きすら、我邦としては到底想像も及ないであらう。我が斯る實狀は、他面に於て、畢竟、產業組織のまだ尙低度に在るを物語れるものとも觀得られる。されば、我邦も、殊に我工業大都市たる大阪も巓ては斯る悽愴事を有する處の社會的過程に逢着するとは、經濟發展の當然な成り行きとして必ずしも否み得ない事實である。所謂社會問題を未萠に防ぎ、我邦獨り黃金鄕を實現せしめんとする意味に於いて諸多の社會的施設を解する者、畢竟ユートピアーたらずんば倖である。唯、今より斯の種施設に藉りて奈何に件の如き慘事を少からしむるかが實際の問題であらう。

▲相渝らず蛇足を添へたようであるが、是より市營職業紹介所及勞働取引所の實際に就て誌すことゝしよう。

設立の概歷　件の二事業は、既に我誌に於いて紹介を爲したる處の市營住宅、共同宿泊所、簡易食堂等の施設と共に、大阪市として社會的事業の第一期計畫に屬するものにして、其動機は前號にも紹介したる如く、客年の米價暴動によりて表現されたる人心の險潮に在つたこと、及び、大阪救濟事業後援發起人なる篤志者の奮起に在つたとは今此處に再び贅するまでもないことである。而して、本年二月七日を以て、西區九條南通一丁目に在る九條食堂の一部に職業紹介所を開設したのが、其計畫實現の嚆矢であつた。次いで、七月一日に、築港及び西野田兩共同宿泊所內へ、爾來七月五日に、今宮共同宿泊所內へ、七月二十一日に西區京町堀へ、翌二十二日に西區堀江へ、八月一日に西區阿波座へ中央職業紹介所を、九月一日に、北區天神橋筋六丁目及老松町の兩所へ、而して、九月一日に

?今宮へ勞働仲介所（勞働取引所）を各開設し今一箇所東區京橋一丁目へ勞働仲介所及職業紹介所を開設すべく目下工事中である。

位置 便宜の爲、夫れ等の所在位置を左に表示することゝしよう。

中央職業紹介所　西區阿波堀一丁目信濃橋西詰南入

九條職業紹介所　西區九條南通一丁目市營電鐵發電所前

築　港　西區鶴町一丁目木津川運河西五丁

今　宮　南區宮津町今宮中學校南橫手

西　野　田　北區西野田江成町茶園橋南詰

堀　江　西區北堀江四丁目阪榮橋北詰東入

京　町　堀　西區京町堀上通四丁目順正寺前

天神橋六丁目　北區天神橋筋六丁目市電交叉點東入

老　松　町　北區老松町二丁目老松座一丁東南

京　橋　東區京橋南詰砲兵工廠門前

今宮勞働仲介所　前記今宮紹介所と同所

京橋勞働仲介所　前記京橋紹介所と同所

而して、右の內京橋のみ未開設にして、他は既に夫れ々々相當な成績を擧げてゐること前記の通りである。

組織 其の需給の圓滑を得せしめ、わたくしの前に所謂配置適應に向つて充分なる作用を爲す爲、中央紹介所に前記の紹介所及勞働仲介所を總括せしめ、兼ねて、數箇の私設紹介所と幹線的聯絡を有せしめてゐる。而して、勞働仲介即ち市が今宮及び京橋に於けるが如き設備を供し、勞働者と雇主たるべき者とを出合はしめて當事者直接の取引を爲す施設に藉る以外の紹介は、申込に對しては『求人票』に雇入れの申込、氏名、住所、職業、其の使用の目的、使用の員數、希望の年齡、勤務時間、夜業、賃金、月給

日給別、歩增、屋號、電話、途筋、資格、技能保證の要否、通勤、住込、食費、公休日、其他等、一見して殆んど凡ゆる雇傭條件を知り得るようになつてゐる。而して、求職者に關しては『求職票』なるものへ、其氏名、年齡、原籍、現住所、保證人の住所及職業、保證人との關係戶主の關係、最近の履歷、最近雇主の住所及職業、希望の給料、敎育の程度、容貌特徵等を記入し、斯くの兩票共每日取り纏めて中央紹介所へ廻附し、中央紹介所は、之を複製して、各紹介所に配付し、以て需給の均衡又は適應を圖るとゝなつてゐる。從事人員は現在屬托一名、事務員三十六名、雜役夫二十一名を以てし、午前七時より午後七時迄を取扱ひ時間として、年中無休に執務することゝなつてゐるが、實際は職員の居る限り時間外にても取扱ふて、成るべく便宜を圖りつゝある。而して。元來は、無料紹介の筈であつたが、手數料として雇傭者よりは金十錢を徵し、被紹介者よりは規程上金五錢を徵することゝなつてゐる、併し實際は被紹介者より徵收せない今其利用の奈何を觀む歟、先づ。

【利用の實際】 ▲**實績の大勢** 即ち、求職者數と紹介とを觀るに、勞働仲介即ち勞働取引を除く外、職業紹介に屬する部分で、現在九箇所の紹介所が前記の如く各其開設時期を異にせるも本年二月七日九條紹介所の開始を初めとし、天神橋六丁目及老松町紹介所の各九月一日を以て開始せるを最近として、九月十日迄の求職者八千八百七十人にして、紹介を爲したる件數（一人一件と看做し）六千五百八件、即ち、求職申込數に對する%とせば、七十三%となる。而して、紹介に對する就職者四千五百九十四人、即ち、紹介數に對して七十%となる。今、其大勢を推算する爲完全なる等しき經過日數を有せる處の各紹介所に於ける實績表を左に揭げて參考に供しよう。而して、初めて紹介を開始して以來の實績は、各紹介所共其日數を異にせるを以て、如かず其紹介所の多くが等しく完全に有せる八月中の日數を推算の基礎としたのである。

◆ 大正八年八月中各紹介所事業取扱表 註（右は男 左は女

區別 / 紹介所名	求人申込員數	求職者受付數	紹介件數	紹介の結果 就職	紹介の結果 不就職	紹介の結果 不參	再紹介	摘要
中央	二八五 六七	三五三 一一	二九八 一一	二〇〇 八	八九 三	九	二六 二	六九 四四
九條	六七〇 七〇	七八〇 三八	六三四 三四	四五七 三〇	九〇 三	八七 一	四四 六	
今宮	五一四 三七	五三二 五七	三三三 三三	二五九 二〇	四一 九	三三 四	七 二	
築港	六〇 三	六一 八	四三 七	二六 五	二 九	八	三六 一	
西野田	八三 五	二六七 六	二三七 六	一五二 三	七〇 一	一五 二	一九	
堀江	一一五 四一	一二一 六	八二 六	四一 三	二四 三	一七	二五	
京町堀	一一四 三八	九八 六	八〇 三	三三 三	二九	一八	二一六 一六	
合計	一、八四一 二六一	二、二一二 一三二	一、七〇七 一〇〇	一、一六八 七二	三五二 二一	一八七 一		
受付に對する紹介及紹介に對する其他の歩合		七	七	、六九	、二一	、一二		

▲府縣別　更に求職者の府縣別を觀れば、人口の都市集中は、遖に、大阪を中心とする比較的近距離に始まり漸次濃淡の順序を逐ふてゐる。而も、關西に於ける首都としての位地上、其集中者の地方別が何んといふても西に濃く、東に淡き傾向を示してゐる。即ち、求職者數の順位よりせば、大阪が首位を占むるは當然な成り行として、其他は

一、京都府　二、兵庫縣
三、香川縣　四、德島縣

五、奈良縣　六、滋賀縣
七、和歌山縣　八、廣島縣
九、岡山縣　十、三重縣
十一、福井縣　十二、愛媛縣
十三、高知縣　十四、福岡縣
十五、石川縣　十六、愛知縣
十七、山口縣　十八、鹿兒島縣
十九、岐阜縣　二十、島根縣
鳥取縣
廿一、佐賀縣　廿二、宮崎縣
廿三、大分縣　廿四、其他

（以上八月末現在即ち完全なる部分の日數を有せる各紹介所の實績也）

右の外、東京と朝鮮の比較的多數なるは特殊の事情に由ることを推定し得る。而して、以上の内容を細詳に識る爲、試みに、左記『求職者附錄別表』を掲ぐることとしよう。

府縣	人員 男	人員 女	府縣	人員 男	人員 女	府縣	人員 男	人員 女	府縣	人員 男	人員 女
大阪	四二八	三四	宮城	七四	一	福島	一二一	一	巖手	一二	
東京	一一一		福島	一六五		巖手	一二		青森	一六	
都	一二		巖手	一二		青森	一六		山形	一五	
神奈川	一六		青森	一五		山形	一五		秋田	一八	
兵庫	一五		山形	一五		秋田	一八		福井	一六三	
長崎	一〇		秋田	一八		福井	一六三		石川	四七	
新潟	一二		福井	一六三		石川	四七		富山	一五	
埼玉	四		石川	四七		富山	一五		鳥取	二六	
群馬	五		富山	一五		鳥取	二六		島根	二六	
山梨	二		鳥取	二六		島根	二六		岡山	七五	
靜岡	一		島根	二六		岡山	七五		廣島	七一	
愛知	一二		岡山	七五		廣島	七一		山口	四九	
三重	一二		廣島	七一		山口	四九		和歌山	七六	
奈良	五一		山口	四九		和歌山	七六		德島	一〇〇	
滋賀	七一		和歌山	七六		德島	一〇〇		香川	一〇八	
岐阜	一〇六		德島	一〇〇		香川	一〇八		愛媛	五七	
愛知	八一		香川	一〇八		愛媛	五七		高知	五六	
三重	二		愛媛	五七		高知	五六		福岡	五五	
奈良	一		高知	五六		福岡	五五		佐賀	四	
滋賀	二		福岡	五五		佐賀	四		長崎	一	
岐阜	二七		佐賀	四		長崎	一		熊本	一	
阜	一		長崎	一		熊本	一		宮崎	一	
長野	二		熊本	一		宮崎	一		鹿兒島	三	
千葉	一三		宮崎	一		鹿兒島	三		北海道	一八	
茨城	一		鹿兒島	三		北海道	一八		沖繩	一	
栃木	四四		北海道	一八		沖繩	一		樺太		
群馬	五五		沖繩	一		樺太			臺灣		
埼玉	五		樺太			臺灣			朝鮮	五六	
千葉	五		臺灣			朝鮮	五六		關東州	二六	
東京	一一三		朝鮮	五六		關東州	二六		支那	三一	
神奈川	一二		關東州	二六		支那	三一				
新潟	一		支那	三一							
富山	一										
石川	一										
福井	四										
山梨	一										
長野	一										
岐阜	一										
靜岡	一										
愛知	一										
三重	一										
滋賀	二										
京都	一										
大阪	一										
兵庫	六										
奈良	一										
和歌山	一										
岡山	一										
廣島	一										
山口	二										
德島	一										
香川	一										
愛媛	一										
高知	一										
福岡	四										
佐賀	一										
長崎	一										
熊本	一										
宮崎	一										
鹿兒島	一										
北海道	一										
沖繩	一										
樺太											
臺灣											
朝鮮	一										
關東州	一										
支那	一										
計	三一二	一三二									

▲被紹介者の年齢別　八月中に於ける被紹介者の年齢別は、曩て需用者の希望年齢の概狀を識ることが出來得よう、即ち左表を觀よ。

◆被紹介者年齢表

人員 / 年齢	十五歳以下	二十歳以下	二十五歳以下	三十歳以下	三十五歳以下	四十歳以下	四十五歳以下	五十歳以下	五十五歳以下	六十歳以下	六十歳以上	計
男	二二五	四八三三	七一二三五	四五五二八	二〇六一〇	一一三六	八九四	五五七	五〇二	二三一	四一	二二一二一三三
女												

是に據りて見れば、被紹介者全員二千三百四十四人に對しパーセントにすると、(餘數切捨)

廿歳以上廿五歳以下	三一・八%
十六歳以上廿歳以下	二二・〇
廿六歳以上卅歳以下	二〇・〇
卅一歳以上卅五歳以下	九・二
卅六歳以上四十歳以下	五・〇
四十一歳以上四十五歳以下	三・九
四十六歳以上五十歳以下	二・六
五十一歳以上五十五歳以下	二・二
五十六歳以上六十歳以下	一・〇
六十歳以上	〇・二

▲紹介せる職業別　前項の年齢別に於て遖に三十歳以下が其七十三パーセント餘を占むる事實と、此處に掲ぐる職業別に於て、工場勞働及戸外勞働が最も其大部分を占むる事實とは兩者當然なる關係とは云へ、蓋し面白き現象なりと謂ふべきである。而して、之を、近來流行語の所謂筋肉勞働者と智能的勞働者に區別すれば、其各內容に於て多少の相異あらむも、紹介全數に對して、先づ大体左の大勢を觀得べきである。

筋肉勞働者に屬する者	七八・%二一
智能的勞働者に屬する者	二一・八

而して、其紹介職業別の內容を觀む歟、一層斯の趨勢の觀念を強め得るのである。而も、希望せる職業と實際就職せる夫れとの關係は今此處に表出するの煩を避くるが、大体に於て殆むど希望通り行かないようである。

紹介業	紹介人員 男	紹介人員 女	紹介職業	男	女
事務員	一五九		電鐵員		八
外交員	四	一	驛員		一五
販賣員	一五		海員		六
集金員	一		丁稚		一〇
店員		一九六	徒弟		
教員			媒婦		
調劑生			交換手		
小使下男		一	女中	五三	五〇二
炊事		三	乳母	三	五
料理方			兒守		
出前持		一	雜役		
書生給仕人		二四		八一	六
看護		五三			
熟練工					
見習工		九二			
工場勞働		二八七			
戸外勞働		三一			
運搬		二一三			
荷造		一三			
配達		五六			
技術手		一七			
計		二七〇		一〇〇	七

希望職業別說明

熟練工 見習工 工場勞働 戸外勞働 技術手

鐵工 木工 其他一定ノ工藝ニ熟達セルモノ 機械工 業家内工業 其他諸般ノ工藝ヲ見習フ徒弟（十七才以下ヲ徒弟ト云フ）以外ノ男女 諸般ノ工場ニテ力役ニ從事スルモノ 手傳 日雇人夫ノ如ク戸外ニテ勞働ニ從事スルモノ 自動車運轉手 電信電話手 測量製圖手 機關士 火夫等ノ技術者ヲ云フ

▲敎育程度

更に面白き現象は、被紹介者の敎育程度にして、左表に觀れば、無敎育者よりも義務敎育終了者よりも最高順位を占むるは高等小學校卒業以上の者である。即ち全數の五十五%を占め、義務敎育終了者は廿二・五%、而して無學者に至りては全數の僅に二・五%に過ぎない。斯の事實は、今日の學校敎育に於ける最低標準が單に義務敎育終了にあらずして、遙に上つてゐることを識るべきである。所謂勞働者の自覺なるものは、其可能性が漸次向上せることを惟はざるを得ない。

人員種別	人員 男	人員 女
中等學校以上	四	
中學卒業	八四	
中學中途退學	一五九	
高等小學卒業	四二一	
同上中途退學	四九三	
尋常小學卒業	六四八一四	
同上中途退學	一六三八	
無學者	三七四三三	
計	一五三二三	
	三一七	
	一七〇〇七一〇〇	

▲報　酬　即ち給料の關係に就ては、其從事する仕事の種類と、又は同一種類の仕事に屬するとも從事者の年齡若くは技能其他の條件關係、或は雇主又は事業自躰の消長等に由りて、勿論一定の標準を看出し能はざるも、左表を大觀せば、殆むど凡ゆる職業を網羅してゐる筈の左表職業中、奈何なる仕事なりと雖も、僅な例外を除く外最高五十圓以下なることを識り得る。其內、最も多數を占むる者は二十圓以下にして全數の五十五%を占めてゐる。這は、前記の職業別と年齡別の關係、即ち被紹介者中青年者が多く、而して、主もに筋肉勞働殊に下級勞働の多きことより觀て、或は當然の現象ならむかと想はる。今、左表を揭げて參照に供せむ。

使用目的 / 給料（月給）	事務員	店員	丁稚	官廳雇人	商店雜役	女事務員	女中	會社職工	見習職	勞働者	飮食店	炊事婦	其他勞働者	小使	雜役	計
五圓以下	一	一〇七二				四	一三	一三〇						一		一八一一四
十圓以下	二	七〇六〇			五	二	一五一	三	二五	五	九二五		二六	六	二	二五二一八
十五圓以下	八	六三二〇			一八	二	一五	一	二五	二一二五	二〇	六	四六	五	二	二一八二四一
二十圓以下	三	二三			二〇	二	四	三〇六	六	三三	一	三	一四		一	四四一一
二十五圓以下	三	三			二			一二一	二	三			二	一六四		六一二
三十圓以下	五	四	一三〇		四			一八		一九			八七	五	三	二九三
三十五圓以下		八	六〇					一〇一					二			一七二

計	六十圓以上	六十圓以下	五十五圓以下	五十圓以下	四十五圓以下	四十圓以下
住	住	住	住	住	住	住
通	通	通	通	通	通	通
二二						五
三〇				八	一	
一六						
八一				二		
四						
一三						
三						
二〇					一二	
二						
四五						一
一二						
八						
二						
一八						
三						
四						
一一						一二
六	四				五	
一八						
六						
四						
二一					一二	
二	二	八				
一六						
四					二	三
五						
二三				二		
〇						
二四						
五						
三						
八八		五			八九	四一
四				二		
一三						
六						
二二						
五						六
一三					一	
五						
八						
三						
二〇						
三						
一〇					一二	六七
二	六	一三		一三	一	一

わたくしは、尙ほ誌さば誌すべき事の少からざるを想ふ、けれども、此處まで誌し來つて顧れば、亦も豫定以上の頁を費した、今は是にて擱くことするが、要するに、我大阪市法人の從來に於ける都市社會的施設中比較的規模の大なることと、大工業都市としての刻下及ひ將來の勞働問題に接觸して、之が緩和機關としても重要な意義あることを想像し得るのである。

（職業裁判所と勞働交換局）

職業裁判所と勞働交換局　デユ市には商事裁判の外に職業裁判所があつて、凡べて傭主と勞働者との間に起る爭議を至極手輕に裁決し仲裁する。世間の受けは非常によい。市は又職業紹介所を開いてゐる。紹介所は傭主並に勞働者の爲に勞働交換局の働をする外、冬季には失職者の爲市から仕事を與へる此の制度も獨逸各市に行はれてゐる。



京都古建築觀【十三】

特別賛助員　伊藤清造

十九、教王護國寺（其二）

五重塔

寛永十八年の再建であつて、我邦の塔婆中最高なものである。其全高八拾三尺七寸である。古法の和樣によつて再建されたものであるが、其格好に至つては拙いものである。

醍醐寺五重塔の高さは比較的低いけれども、九輪は全高百に對して三四・三の高さを有してゐる爲、非常に安定であるに對して、東寺の塔は、全高百に對して九輪は二八・九である。けれども、餘り安定に見ることの出來ないのは、其軒の出の不調和に起因してゐることは最も明な事である。藥師寺三重塔の下層の大いさが、全高百に對して二三・三であり、法隆、法起、法輪を始め、當麻、興福諸寺の塔が皆二〇以上の比例を以てゐるに對して、東寺の塔は、一七・〇より有つてゐないことも不安定な一因であらう。

八坂の塔の如きは、九輪が二六・一、下層が一七・三である。極めて似た比例を有つてゐるけれ共、尚東寺の塔よりは優れて見へるのは種々なる他の理由が存在してゐるにせよ、客觀標準のみが爾く美を決定することの出來得ない一方の証據ではなからうか。塔婆建築に關する詳細なる研究は、伊藤博士の論文日本佛塔建築の沿革が建築雜誌第百六十六號に載せられてゐる。

二十、廣隆寺

概說

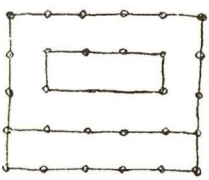
山城國葛野郡太秦村に在る。宗派は、眞言三論兩宗兼學である。初めは峰岡寺と稱してゐたを推古天王十二年に聖德太子が秦川勝に命じて造營せしめられたのに始つてゐる。

建築

現今は樓門の中に講堂太子堂が一直線上に在る他大したものはないけれども、其初めを想像してみると、必ずや彼の堂々たる百濟樣七堂伽藍が完備してゐたものと思はれる。廣漠な彼の太秦の野遙に堂々七堂伽藍の在つたことを思ひ思ひしてみると、吾人が無意識に拾ひ得た古瓦の一片にも興味ある史趣が語られるのである。

講堂

五間四面單層本瓦葺丹塗りの堂であつて、石壇上に立つてゐる。建築時代に就ては、寺傳は永萬元年（西紀千百六十五年）といひ、京都府誌には保元年間再建としてある。我武田先生は藤原期の建築も其一部は古材を用ひ、鎌倉期に於ては規模を小にして改築したのであると說かれてゐる。吾人は斯の說を信ずる者の一人である。



弘隆寺講堂平面見取圖

堂は極めて簡單なもので、圓柱の上には和樣の出三斗を載せて、二た軒の繁割棰を支へてゐる。正面三間を開け放して、左右の端の一間づつには火燈窓を配してゐる。

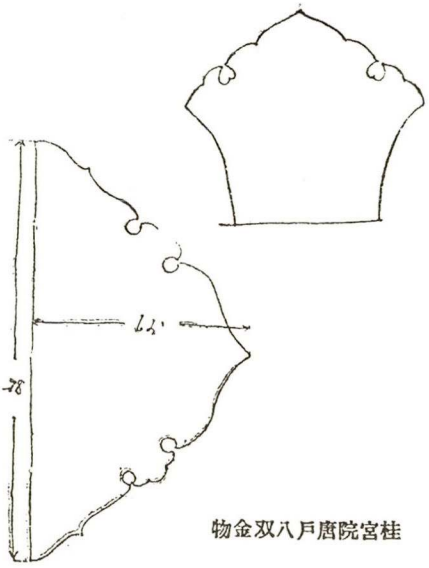
內部は化粧屋根裏を表し、東寺の蓮花門や鳳凰堂翼廊切妻の妻飾りのものと同一の手法によつて立つの板蟇股によつて棟を支承してゐる。

木割は、堂の割に非常に大きく、柱等は甚だ太いものである。又肛梁には中に古法を存したものがあり、其切斷面は東大寺法華堂內の肛梁の切斷面と似た形狀を有つてゐる。肘木や斗にも古法のものがあり、武田先生の說は、此等の問題に合理的解決を與へてゐる。明治三十四年に特別保護建造物に編入され、明治三十七年九

月修繕の工を竣つてゐる。

單層四柱の丹塗りに前面の暗い深い蔭のある處、恰度奈良の唐招提寺の金堂と同じ形式を有してゐる。此の講堂を被の金堂に較べて評價することは到底不可能であるが、此の講堂を辿つて昔時の堂々たる講堂を追想するときは、唐招提寺の金堂の美くしい姿態が浮び來るのである

桂宮院



桂宮院唐戸八双金物

八角圓堂柿葺鎌倉期の建築である。和樣の出三斗を以て二軒を支承してゐるが、屋蓋の勾配が非常に緩くて、飛檐垂は殆むど水平を成してゐる。唐戸と櫺子窓とを交互に用ひて、唐戸には八双金物が打つてある。廻椽の出方と軒の輕快な突出とが調和し特に安定洒脫の感がある。京都附近に於ける鎌倉期建築物中の白眉たるを失はない。

內部は、鏡天井になつてゐるが、特に裝飾といつて施されてゐない。環境が狹くて退いて眺めることが出來ない爲に、此の堂の美を充分に味ふことの出來得ないのは惜いものである。若し廣い美しい自然の環境を與へ彼の堂の美を擅にせしむるならば、吾人はより偉大な崇高に接することが出來得るかも知れない。

明治三十三年に特別保護建造物に指定されてゐる。

二十一、大德寺

概說

京都府愛宕郡紫野大宮村に在る禪宗臨濟派の寺院で、龍寶山と號してゐる。正中元年（西紀

千三百二十四年）後醍醐天皇の大願に依つて創建され、大燈國師を開基としてゐる。

建　築

建初當時は立派に禪家の悉堂伽藍が完備してをつたのであらう。現今でも可成り揃つて諸堂が殘つてゐる。三門の前には大なる唐門があり三門から一直線に佛殿法堂があり、東方には鐘樓存在して居り、北方には方丈がある。

賑々として連つた北山の綠を負ひ、洒々として流れる鴨流の清を望み名もゆかりの紫野に七堂伽藍堂々として聳へてゐたことを思ふと、今の大德寺は却々に淋敷いものであるけれども、吾には齋整のみに美を感するものではない。建仁寺や天龍寺妙心寺等と異つて、此寺へ入ると直ぐ古い時代の凡帳面な禪味に接するの懷いがある。

勅　使　門

三門の南方に在る唐門であつて、桃山期の遺物であり、寛永十七年明治天皇が皇居の門を賜ふたものである。明治三十三年に特別保護建造物と成り、明治四十二年四月に修繕が竣工したのである。

斯の唐門は、其唐破風の曲線といひ蟇肢といひ繪樣繰形といひ、一とつとして桃山式の豪壯でない所はなく、全体の規模も極めて大きく開き二拾尺餘ある。唐破風の曲線は非常に美しいといふのではないが、よく桃山式を發揮したもので、重味のある力の強いものである。

建築界學の歸納法的研究の結果、唐破風の曲線は Ellipse or Baracebola の曲線を有つた時が一番美しいと敎へてゐる。斯の事實は、主觀的方法論上の見地からも、客觀的方法論上の見地からも一致してゐる。斯ういふ風の問題は、吾人は時々種々の建築によつて經驗してゐる。

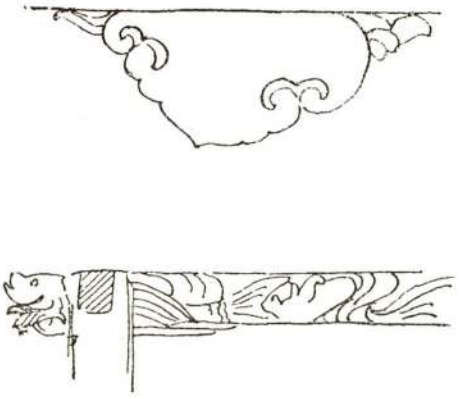
構造は大膽であつて、一般に非常に雄大である。青々とした芝生に座して斯の眞箇の藝術に接したとき吾人は偉大な豊太公の人格者に親しく面語するの懷ひがある。

唐　門

秀吉の聚樂第から移したものであつて、明治

三十年に特別保護建造物と成り、明治三十二年五月修繕を竣つたのである。

隨所に桃山式の彫刻と金物を用ひてゐる。唐戸の框は金椽黒塗であつて、其込板は素地の儘で彫刻も何もない。扉の上の楣には非常に美しい葡萄唐草がある貫に表はされた鯉の彫刻は其



大德寺唐門脇懸魚及頭貫

正に靜動好一對の彫刻である。

吾人は、幾度も此の唐門を見て來てゐるが、或夏の晴日西南方の古堂檐下に佇むで凉を取りつゝ眺め入つたときの印象は、到底忘れることが出來ない。又吾人は不幸にして夫れ以後かゝる深激な感興に動かされた事はなかつた。滴るような綠といつたような因襲的常套語や、碧玉の樣に澄むだ空といふような美文的誇大語を以てしては、到底吾人の感じの百分の一も表白することが出來得ないと同樣に、吾人は時代精神を遺憾なく表はした建築とか、たまらんような美しい建築とかいつたような漠然とした無實見な云葉を以てしては、吾人は斯の門の美を表白することは出來得ないのである。謂はゞ只なんとなしに胸を躍らすのであつて、主觀論的審美性の權威はそこに在るのだらうと思ふ。

孤蓬庵

大德寺塔中であつて、小堀遠州侯の作つたものと傳へられてゐる。庭園に望むだ書院方丈忘筌等の一棟は德川初期のものであつて、明治三

靜な波と共に靜的動の極致を表現してゐる。植田文學士の言を藉れば、豊國神社唐門の健鯉と

十六年特建に指定されてゐる。

主なるものは、忘筌、山雲床、直入軒瓢の間佛間等である其各間に從つて裝飾其他に行草の輕重を取つてゐるのは注意すべき



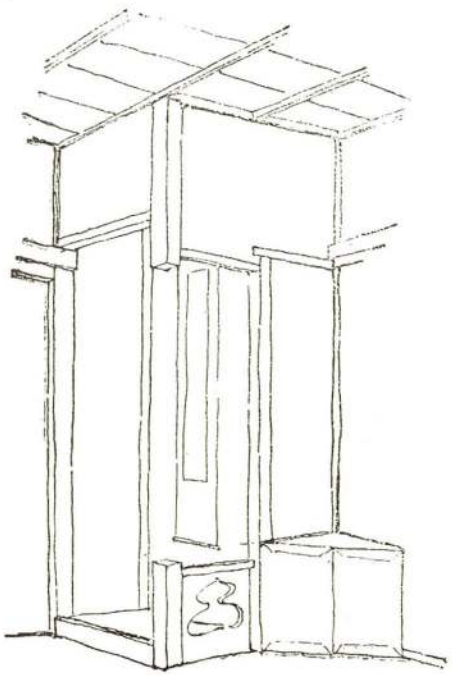
孤蓬庵佛間一部見取圖

であらうと思ふ。彼の裏千家茶室三行の間が一間で眞行草三体を備へてゐるのと其趣きを異にしてゐる。

即ち最も主たる間は忘筌であつて、謂はゞ眞体の装飾を施してゐるとも云へよう。釘隱し一つにしても七寶を應用した精巧なものである。前庭に面して舟入の間を有し、露結の手水鉢を置いてゐる。坊間に行はれる露結は是が嚆矢であると傳へられてゐる。天井は竿縁であるが胡粉塗りとしてある。吾人は斯の胡粉塗りの天井を大して立派なものであるとは思はないもつと仕様はあると思ふ。

瓢の間は前の見取圖にあるように床の脇の様に瓢の透しがあるに因むだので、此處には一瓢と書した扁額を掲げてゐる細い棹縁天井であつて、あたりの按へも瀟洒である。

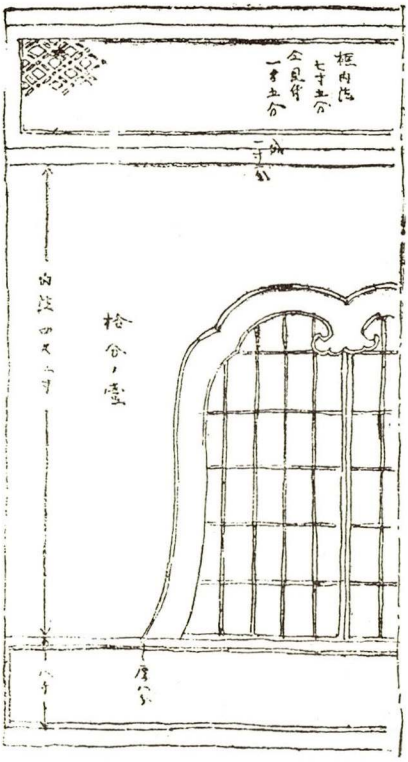
佛間には、附書院、床、違棚がある。附書院は、上に吹き寄せの菱紅子の欄間



孤筌庵瓢の間一部見取圖

内法七十五分を有し、下に大きな火燈窓を開けてゐる。違棚の筆返しは、未だ德川式の所謂木割には一致してゐないけれ共、三寶院書院のものに較べると著しく見劣がする。古いものは必ずよいといふような史的謬想を排斥しようとしても、一方には亦止むを得ない理由の多々が存在してあることは、吾人の常に奇異に禁へない

處である。文様集成に載せられてゐる桂離宮の筆返しと克く似た形式を有つてゐる。床の脇の八角の窓と下の長方形の窓と、上の欄間と其間に非常な面白い連鎖があるように思はれる。

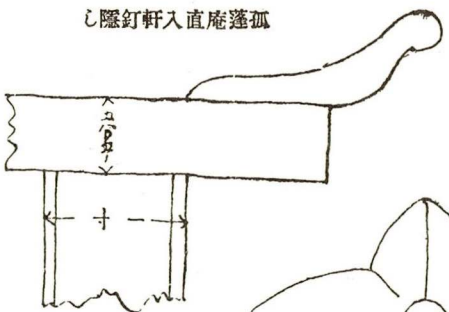


孤蓬庵附書院

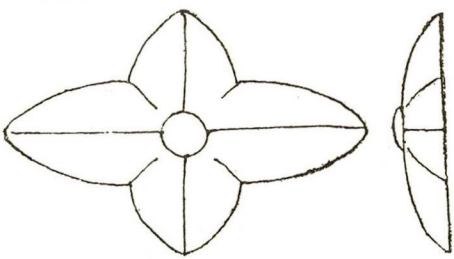
織豊時代を經て德川期に入つた最初の遺物は斯の弧蓬庵の書院であつて、同様のものは同じく塔中の眞珠庵にも遺つてゐるけれ共、此の眞珠庵は、寧ろ茶屋の方が面白いものである。

直入軒の長押に在る釘隱しは、忘筌のものに較べると著しく略式となつたもので、謂はゞ草體となすべきであらう。木割其他も一般に弄ういふ傾きがあるようである。

足利時代から初りかけた書院造りの形式が、



孤蓬庵直入軒釘隱し



孤蓬庵書院違棚筆返し



調査

□横濱市大火罹災家屋に關する調査(C)

＝前號迄既出＝

（甲）報告

壹　火災の原因

貳　當日の風速と延燒の狀況

參　消防設備

四　殘留家屋燒失家屋調査表

五　前表說明と結論

罹災地附近平面及寫眞六葉

（乙）構造と火災防禦　（其一）

六　一時耐火構造

（乙）構造と火災防禦　（其二）

□七□　耐火構造　（2）

（八）石　造

花崗石相州堅石は外觀美なりと雖火焰に對しては醜惡なる房州元名石に如かず今回の火災に於ても石造倉庫の猛火に耐へ巍然として殘留せし例多きは別表に明かなり然れども石材の積み方と屋根、窓、入口等の構造に注意せざれば思はざるの失敗を招く事あり

（ニ）コンクリート造及鐵筋コンクリート造

表說明第四に於て述べし如く此種の建築は只

僅に一小例を得たるに過ぎず然れどもコンクリートの耐火の能率は之の一小例と雖も容易に看過し能はざる處にしてミユーニヒ工學校バウシンゲル敎授のコンクリート柱試驗報告に據るも諸種の材料の內セメントコンクリートは耐火力最良なりとあり又ウールソン敎授はコンクリートは華氏千度より千五百度に熱せられたる時は其強力と彈力を失ふも熱の傳導力至つて少なきを以て耐火力は大なり故に二吋乃至二吋半厚にコンクリートを以て鐵材を保護する時は通常の火災に際しては充分安全なりと云へり要は最も適當なる設計と最善の施工を要求するものとす

(ホ) 防火壁

大なる建造物を區劃し若くは隣接家屋との間に防火壁を設け火災を局部に制限し且つ消防夫の作業を容易ならしむる爲め之が設置に最も必要なりとす

(一)床面積一萬平方呎以下とすること

(紐育建築條例)

(二)床面積三百坪とし其距離は廿間を超ゆ可らず

之が壁厚に就ては相當の厚さを有せざれば一方建物の燒落たる際防火壁を破壞し隣接建物に導火したる例多し

(東京市建築條例案)

(三)煉瓦及石造通劃壁の厚さは屋上突出部に於て一尺と爲す可し又屋根面より直角に一尺二寸以上突出せしむ可し

(東京市建築條例案)

實際二尺以上突出せば頗る有効なる可し寫眞第廿九號住宅及倉庫の防火壁が軒より高き事約二尺にして共に安全なりしは其好適例に非ずや

(丙)罹災地給水狀態

去る四月二十八日本市稀有の大火に於ける水道給水家屋燒失戶數三千八十二戶の內

放任專用栓　八六六戶

計量栓　一一三戸（内三戸量水器取外し停水中）
認定計量栓　九四戸
放任共用栓　二〇〇九戸
公設共用栓　三二基
私設同　五三基

にして罹災地區の一帶に於ける給水狀態を述ぶれば同所は現下野毛山淨水場より出づる低區北部配水幹管（徑十八吋）により專ら配水さるゝ部分にして配水管の布設は徑八吋及四吋管にして其內主なる道路別による配水支管の大さは左の如し

港橋通り	八吋及四吋	二條
翁町通り	八吋及四吋	二條
花園橋通	一部八吋他は四吋	一條
壽町通	四吋	一條
山吹橋通	四吋	一條
鶴ノ橋通	四吋	一條
權三橋通	四吋	一條
千秋橋通	四吋	一條
龜ノ橋通	一部八吋他は四吋	一條

而して常時に於ける水壓は一平方吋に付五〇乃至六〇封度を上下し何れの部分も潤澤なる給水を受けつゝあるの狀態なり

火災當日に於ける公設消火栓の使用箇數は其數單式消火栓百一箇複式消火栓九箇にして其使用數より云へば頗る大なりしを以て其水壓は約一平方吋に付二十封度內外迄下降せしめられたりしが故に場所によりては消火の効力大に減殺せられたるも今日の配水狀態より云へば決して水量に不足を來たせるが如きことは全然なかりしものにして要するに水壓の不足に起因し之れに加ふるに消火栓より蒸汽唧筒への汲水及各使用せる布管よりの漏水並に各戸給水裝置の溶去破損より生ずる自然漏水等に由り壓力の減耗を重加せるは頗る遺憾の事なりとす

然り而して火災前日四月二十七日の給水量は三十五萬千七百石にして當日四月二十八日の四十四萬四千六百石に比すれば其差九萬二千九百石は當日火災により特に配水されたる量と推定

し得べく同二十九日同三十日五月一日に於ても其計量高二十九日に於ては四十二萬千四百石三十日に於ては三十九萬千百石、一日に於ては三十七萬二千五百石にして二十七日に比し二十九日六萬九千七百石三十日三萬九千四百石、一日二萬八百石の增加せるは夫々漏水並に燒跡整理等の爲め配水されたるものと見得べきなり

當日野毛山淨水場に於ては西谷より來る補給管(徑十五吋半)及高區配水幹管(徑二十四吋)より一部の補給を爲し配水池の調整を行ひたり此補給量は常時より增すこと左の如し

二十八日　一九、二六〇石
二十九日　八三、八六〇石
三十日　三九、四六〇石
一日　一三、一四〇石

今回の火災に鑑み將來目下進行中なる罹災區域市區改正に伴ひ花園橋通りに於て西谷より來る低區配水幹管及高區配水幹管野毛山より來る低區北部及南部配水幹管等との連絡を行ひ置かば非常の際に於て何れよりも水壓を高め得て頗る有效なるべきを認め調査中なり

尙五月十五日現在に於ける

給水裝置撤去請求數二百三十七戶の內

放任及計量栓　二二六戶
私設共用栓　二一基(燒失五二基)

にして水栓の燒落ちたるもの、修繕請求數百六戶

量水器設置箇數百十五箇の內

撤去數八十箇

なりとす

給水行政としては公設共用栓三十二基に對しては當分の內無料給水を爲し放任專用栓に於ては給水條例による甲、乙、丙の三種を一括して最下級丙種と見做し使用料を徵收することゝし給水裝置撤去費は之れを徵收せざることゝし目下實施中に屬せり

水道が直接受けたる損害としては量水器の破損にして前記箇數の內表面「ガラス」及び文字板の破損其大部を占め價格に見積り約四百五拾圓なりとす

尙同日本町通りに飛火し拾四戸を燒失せり同所に於て使用せる消火栓の數單式拾貳箇復式壹箇にして此地は西谷淨水場より發する低區配水幹管（徑三十六吋）により配水さるゝが故に水壓前者に比し幾分高く本町通りを走れる配水支管八吋及四吋管の二本により配水さるゝが故に消火の能力は前記のものに比し遙かに有効なりしを認めたり（畢）

□大阪市接續町村下水道調査綱要（三）

大阪府發表

＝前號迄既出＝

▲總說

▲各說

（イ）豐崎町

（ロ）中津町

（ハ）鷺洲町

各說（3）

＝鶴橋町＝

東成郡鶴橋町は城東線線路を界して市の東邊に接續す南北二十四町東西十八町現在人口一萬七千戸數五千八十五東小橋、木野、猪飼野、岡、天王寺の五大字を包含し北は中本神路東は小路巽、南は生野の五町村に圍まる大正元年十月一日より町制を布き近時長足の進歩をなしたる土地にして猪飼野を除くの外人家櫛比し其の間耕地田園を交へず何等市と選ぶ所なし土地平坦にして卑濕、猫間平野の兩川は相並びて南北に之を縱貫せり猫間川は（幅六尺）南百濟村の高井より平野川は（幅四間）南河內郡柏原村より共に大和川の分流したるもの也、岡、木野の境界をなす菰田川と稱する田用水路は上流天王寺に於て猫間川より分岐し東北に迂曲し更に木野の中央

に於て西折し再び猫間川に入る以上の諸川は水流緩漫にして河底泥濘河岸に設備なき爲め所々崩壊せり僅に橋梁の箇所と其他の幾部に薄き板被覆を施せるものありと雖これ亦既に腐朽破損せるもの多し下水路は別紙略圖の如く大小數多ありと雖勾配少く且浚渫宜しきを得ざるため常に汚水停滯せり要するに同町は近年急速の發展をなし低濕の田園に殆んど地上げをなさずして家屋を建造せるものにして一度降雨期に入り大雨沛然として來るときは河川と云はず下水路と云はず忽ち氾濫して東小橋木野の約三千尺は一面の汚水の海と化し浸水家屋は床上に及び不潔慘狀を極む而かのみならず市の東邊天王寺上本町玉造方面よりの排水は盡く猫間川に注入するが爲に出水當時の鶴橋町は眞に廣大なる汚水溜の如き狀態を呈するの止むなきに至るなり

以上の害を防ぎ疎通を良好ならしむる爲に五年前東小橋に中徑一尺延長二百間の土管二條を敷設したるも其工事粗略の爲に土管は破壞し其中徑狹少の爲に浚渫は不能となり折角の計畫も現今水泡に歸せるの有樣なり如此當町の下水路の狀態は最も不良にして根本的に之が改良をなさゞれば到底其全きを期し難かるべく姑息なる手段の毫も許さゞる所なり

大字猪飼野は農家比較的多くして其北端に平野川に流出する中井路と稱する水路あり其上流は田用水路の通稱入樋なる處より分岐したるものにして勾配あり疏水佳良なり猪飼野の中小字東の町南の町に幅一尺五寸延長三十五間の下水道之に注ぐこの下水道は浚渫を怠るため疏通不良となれるも其害はさまで大なるものなし

大字岡なる寺田硝子製造工場北側空地に東西約十間南北約四間の水路あり惡水汚水集中し他に連絡疏通の路なき爲め特に不潔なり

要は當町の一部を除く外水路の構造疏通最も不良なるものに屬し速かに之が改善を要するものと認む

鶴橋町既往五ヶ年間人口及死亡率調査表

町村名	人口	明治四十四年	大正元年	大正二年	大正三年	大正四年	計	人口千人ニ對スル死亡率
鶴橋町	人口	七、四四〇	八、八九六	一五、〇〇〇	一五、二六七	一七、四三九	六四、〇九六	三七・九四
	死亡	四二〇	四一三	四九八	五三一	五六〇	二二一、四三	

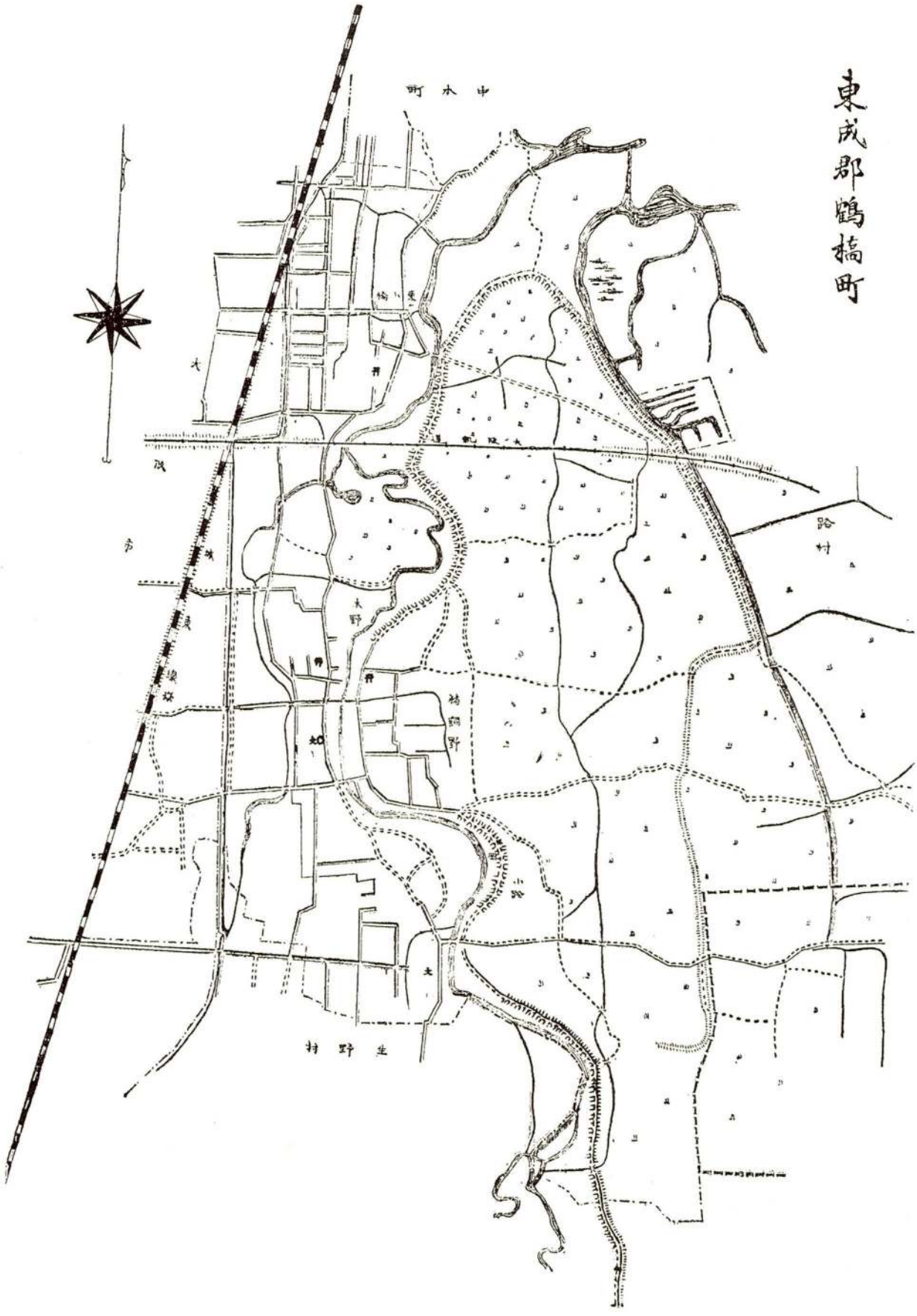
鶴橋町既往五ヶ年間人口及傳染病患者表

町村名	人口患者別	明治四十四年	大正元年	大正二年	大正三年	大正四年	計	人口千人ニ對スル患者率
鶴橋町	人口	七、四四〇	八、八九六	一五、〇〇〇	一五、二六七	一七、四三九	六四、〇九六	二・四〇
	患者	八	八	三四	二七	七七	一五四	

鶴橋町既往五ヶ年間傳染病患者死亡及人口調査表

年次		赤痢 コレラ	腸チフス	パラチフス	ジフテリア	患者數	死亡數	人口	前年ニ對スル人口増加率	人口千人ニ對スル患者率	人口千人ニ對スル死亡率	患者百人ニ對スル死亡率
明治四十四年	患者	一	六	一	一	八	四	七、四四〇		一・〇七	〇・五三	五〇・〇〇
	死亡	一	一			四						
大正元年	患者		二	二	一	五	四	八、八九六	一・九五	〇・八八	〇・四四	五〇・〇〇
	死亡											
全二年	患者	一	一七	九	六	三四	一三	一五、〇〇〇	六・八六	二・二六	〇・八〇	三五・二〇
	死亡											
全三年	患者		一七	五	二	二七	八	一五、二六七	一・七八	一・七六	〇・五三	二九・六三
	死亡											
全四年	患者	二	一三	三	一	一七	五	一七、四三九	一・四五	四・四〇	一・〇八	二四・六三
	死亡											
計		一七	八四	二八	一四	七七	二四	六四、〇九六	—	二・四〇	〇・七三	三〇・五一

東成郡鶴橋町

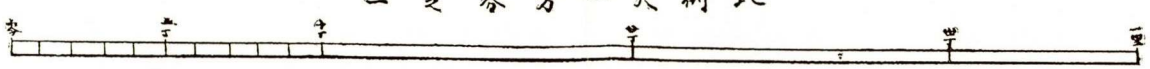


大阪市接續町村下水道略圖

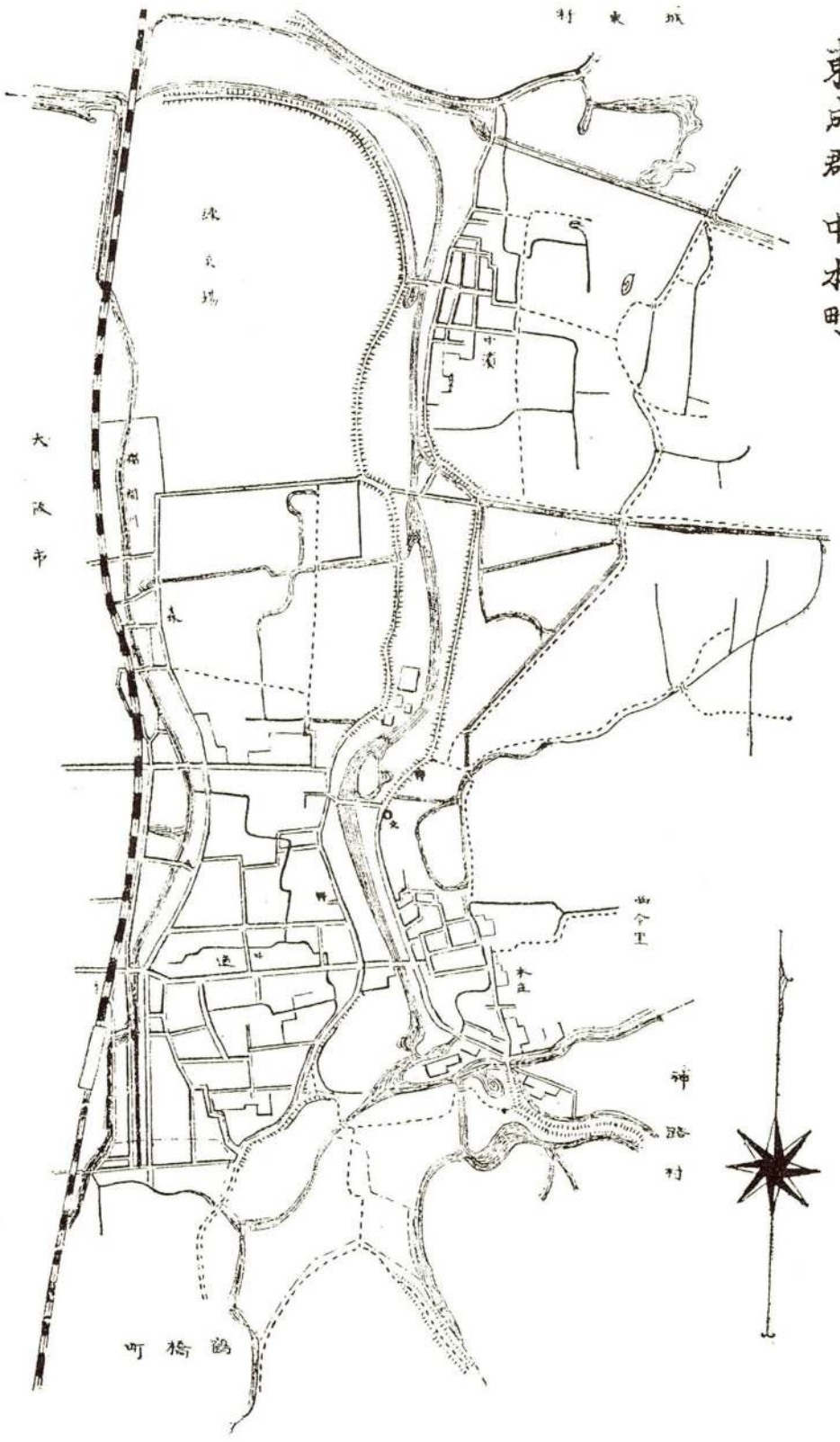
凡例

○	町村役場		河川及池沼		國縣道	道路
X	警察署		下水道		里道	
文	學校		鐵橋		小路	
☼	工場		橋		鐵道	
卄	神祠		田		軌道	
卍	寺院		荒地		接續	境界
	堤防及岸		濕潤地		郡	
	墓地		草地		町村	

比例尺一万分之一



東成郡中本町



═中本町═

東成郡中本町は鶴橋の北に在りて等しく市の東邊に接す東西約十四町南北二十町餘現在戸數五千二百人口二萬二千先づ當郡第一の數を示して宛然たる市街の觀あり本庄中道、中濱、森、西今里の五大字より成る土地高く猫間平野の兩川は中道本庄、中濱を縱斷し合して寢屋川に入る猫間川は河幅上流二間中流以下四間平野川は上流六間中流以下八間兩岸に石材を以て護岸工事を施せる部分あり人家の櫛比せる所に於て然りとす尙中濱に於て平野川より分岐し東北に向ひ數箇の田用水路を集めて終に寢屋川に落つる幅二間の千間川と稱するものあり各箇の河川の流通は比較的良好なりと雖も猫間川には汚芥停溜の箇所多く不潔を極む蓋し市郡の境界にめるが爲に當町よりする排水の外大阪市内より多量の汚水を注入し之に伴ふて塵芥の停滯するによるものなるべし

大字西今里本庄中濱の下水道は田用水路と相連絡し終に盡く平野川に入るも疏通宜しからず中道及森の下水は之に比し更に疏通惡しく殊に森の幾部城東練兵場に接近したる約五十戸は降雨連續するとき下水道溢れて一時浸水床下に及ぶことありと云ふ唯是にこの部分の土地低きのみならず水路狹隘にして浚渫宜しきを得ざるが爲なるべし

上述の一部を除くの外如此際雨期氾濫の憂なきは土地高きが爲のみならず人家稠密の箇所に於て猫間平野の護岸工事を完備し之が防止を計りたるが爲なるべく鶴橋町に比し之が成績良好なる所以なるべし

中本町既往五ヶ年間人口及死亡率調査表

町村名	人口死亡別	明治四十四年	大正元年	同二年	同三年	同四年	計	人口千ニ對スル死亡率
中本町	人口	二一、〇七六	二一、七二七	二九、七三三	二一、二八七	二〇、九七二	八九、九七三	二七・六八
	死亡	三七一	三八九	四八五	五六〇	六八六	二、四九一	

中本町既往五ケ年間人口及患者率調査表

町村名	人口患者別	明治四十四年	大正元年	同二年	同三年	同四年	計	人口千ニ對スル患者率
中本町	人口	二、〇七六	一、九七二	二、〇七三	二、二八七	二、〇九二	八、九七三	
	患者	一六	一二	三〇	三六	六二	一六六	一・八四

中本町既往五ケ年間傳染病患者死亡及人口調査表

年次		赤痢	コレラ	腸チフス	パラチフス	實布垤利亞	患者數	死亡數	人口	前年ニ對スル人口増加率	人口千人ニ對スル患者率	人口千人ニ對スル患者率	患者百人ニ對スル死亡率
明治四十四年	患者	五	—	三	一	七	一六	四	二、〇七六				
	死亡	二	—	一	—	二							
大正元年	患者	五	五	一四	一	二	三三	八	一、九七二	三八・六〇	一・三三	〇・三三	二五・〇〇〇
	死亡	一	五	二	—	二							
同二年	患者	一	—	八	—	二	三〇	一七	二、〇七三	五・三五	一・四〇	〇・五一	三六・二六四
	死亡	—	四	六	—	二							
同三年	患者	一	—	二六	二	七	三六	一三	二、二八七	一五・七〇	一・五三	〇・八六	五六・六六七
	死亡	—	—	七	—	七							
同四年	患者	一五	一四	二九	二	一五	六二	一五	二、〇九二	三一・六〇	二・九二	〇・七一	二四・五九〇
	死亡	四	—	六	—	四							
計	患者	二七	一九	八四	四	三三	一六五	五七	八九九三	二一、八一	一、八四	〇、六三	三二、二二
	死亡	六	五	二一	一	一五							

時報



▲道路法施行細則　曩に發布されたる『道路法』の施行細則は頃來道路會議に於て審議中なりしが概略左の通り決定せりと

一、國道の路線の認定又は重要なる其變更若くは廢止は道路會議に之を諮問し府縣道以下の道路の路線の認定又は重要なる其變更若くは廢止は關係地方會議に之を諮問す

一、道路の路線の認定又は其變更若くは廢止は之を告示す

一、府縣廳所在地等を道路の路線の基點又は終點と爲す場合においては道路原標の制定を認め東京市に在りては其位置を日本橋の中央とす

一、道路及び沿道の區域は之を告示す

一、道路の公用開始又は廢止は之を告示す

一、貸取橋及び貸取渡船の無貸通行者の種類は之を告示す

一、道路臺帳の調製は之を告示し利害關係人には之を閲覽せしむ

一、道路管理者沿道土地に立入り又は之を使用する場合における手續を定む

一、道路の監督官廳を定む

一、附則として道路法施行の際における路線認定の諮問告示等に關する便法を認む

▲建築法施行案成る　曩に内務省に於て調査立案中なりし市街地建築物法施行令は既に編案を了へ目下法制局にて審査中なりとのことなるが其内容は大体左の通りなりと

一、市街地建物は高各百尺を限度とす但市街の美觀又は特に許可を得たる場合は此限にあらず

一、石造煉瓦造にありては高六十五尺木造五十尺を原則とする事

一、住宅の新築面積は其敷地面積の十分の六店舗は十分の八其他は十分の七以内とす

一、住宅區域にありては當時十五人以上を使用し且動力二馬力以上を使用する建築物及演劇場活動寫眞等の建造物を禁ずる事

一、商業區地域のに常時五十人動力十五馬力以上を使用する建物並に傳染病隔離舍其の他肺結核及び癩療養所の設置並に汲止場、屑物、塵埃燒却場の建設を禁ず

一、常時百人以上、動力三十馬力以上を使用する建築物及び火藥並に劇藥物取扱及び製造工場は工業地域以內に建設することを得ず

一、同法の施行に依り市街地住民の損害補償に就ては補償審議會の決議に依りて之を定む

一、補償審議會は各都市に於ける都市計畫委員中より十名を互選して之を組織す

▲道路改良根本計畫

內務省に於ける道路改良根本計畫に就ては曩に床次內相より道路會議に諮問したるが何れも道路法並に施行令に基く大改良を行ふべき方針なるが之に要する經費等に就ては既に水野錬太郎氏を會長とせる道路改良會に於て調査する處ありたるを以て內務省は右調査を參考資料として計畫を立て人口十萬以上を有する大都市を起點として道路の認定及び府縣道の改良に着手する筈にて之に要する經費は概算約二億圓內外の見込なり而して東京、京都、大阪、橫濱、神戶、長崎、名古屋、仙臺、金澤、鹿兒島、廣島、福岡等は何れも國道認定の起點地となるべく現に京濱及び阪神間の國道につき調査の歩を進めつゝありと

▲土地增價稅制立案

內務省において都市計畫法實施に伴ふ事業實行に要する費用として土地增價稅の制定につき過般地方局田中事務官の手にて立案中なりしが此程脫稿し法律案として來議會に提出の筈なるが其內容左の如し

一、土地增價稅は人爲に依らずして地方公共團體の施設に依り土地の自然騰貴に依る所得に關するものとす

一、土地增價稅は既往に遡らず施行當時の評價を基準とす

一、一定期間同一所有者の所有に係る時は土地の自然增加價格に賦課す

一、所有權移轉の場合は土地收得價格と讓渡價格上に準據賦課す

一、土地增價稅の適用地及び其範圍は勅令を以て定む

▲大阪市公設市場

大阪市は都市社會事業として既に幾多の施設をなしつゝあることは人も知る通りにして就中公設市場は既設のもの外新に東區空堀北區本庄中野町同西野田十六町西區築港四箇所に增設し既に九月四五日頃より販賣を開始せるが更に本年十一月迄には南區西濱木津大黑町の二箇所に增設する筈なりと而して之等公設市場の機能を充分に發揮せしむるには中央市場の設置を必要とし是に就きても大阪市は來年中に決定さるべき市區改正案中に其設置場所を決定する計畫なりと

▲建築會社の成立

佐藤名古屋市長が過般來より同市の富豪連を說き住宅難の緩和策として建築會社設立の計畫中なりしが先頃愈々二百萬圓の資金を以て成立し共濟建築株式會社なる名稱にて住宅建築の經營を爲すべしと

▲塵芥有利處理法

都市に於る塵芥の處置は都市衞生上比較的輕易ならざる問題なるが是を單に燒却し又は海洋等へ放棄するが如き處置方法にては甚だ可ならず斯の多量なる容積中より化學的方法によりて經濟的に何ものかを得ることは近代の進步せる處理法なりとす現に米國オハイオ州のエリー湖岸に在るクイープラント市の如きは市中より七哩を距つる田舍の工場に其都市の塵芥を送りこれを高壓釜に入れ蒸氣にて蒸し出し後乾燥粉碎して其中に混じ在る鑵類及布類等を選り分け更に抽出釜に入れガソリンにて脂肪分を抽出しガソリン液を蒸溜してグリー

ズを採取し其淺澤は立派な肥料と爲しつゝありと

▲社會勞働兩局設置　政府は社會問題の解決に就て種々調査研究中なりしが斯の問題を取扱ふべき機關として内務省に社會局を内閣に勞働局を設置することに決せりとのことなるが今其任務を聞くに凡て左の通りに決せりといふ

勞働局（内閣に設置内定）（一）工場法（二）勞働保險（三）最低賃金制（四）利益金分配制（五）職業紹介事業（六）仲裁々判制

社會局（内務省に設置内定）（一）生活改善事業（住宅問題、食料問題、衣服問題（二）生活維持事業（簡易食堂、低廉宿泊所、無料宿泊所、公設市場、公設質屋）（三）救貧事業（四）軍事救護事業（五）部落の改善（六）社會改善事業の指導改善

▲住宅政策實行委員　都市研究會にては過般來都市住宅政策に就て調査研究中なりしが客月三十日付を以て左の通り實行委員を指定されたりと

第一部　建築敷地の構造に關する件
區劃整理の奬勵▲間地の利用▲宅地面積最大限度制度
委員　井上東京府知事、原忠三郎、柿沼谷雄、赤星陸治、佐藤功一、木下謙次郎

第二部　交通機關の設備電氣瓦斯の供給及上下水道の完成に關する件
道路の修築▲電車の敷地と割引制度▲市外通信機關を市内と同一ならしむる事▲水道敷設費に對する低利資金の供給▲下水幹線築造費二分一以上の國庫補助
委員　木田周一、若林成昭、矢野亮一、松田源治、桐島像一

第三部　住宅の建築に關する件
建築會社設立の奬勵▲建築組合の奬勵▲使用人に對する住宅供給▲小住宅に對する租稅の輕減其他
委員　渡邊鐵藏、内田祥三、矢野貢一、櫻井小太郎、佐野利器、桐島像一

第四部　居住行政に關する件
住居法▲住宅の監督▲都市住宅局の新設
委員　岡田信一郎、竹村長貞、藤原俊雄、佐野利器、齋藤知一

▲勞働法規改正討定　現内閣は近來勞働運動の愈々熾烈となるの形勢に鑑み其れに對する統一的施設の一端として別記社會局及勞働局設置の外『勞働保險法』を制定し現行工場法の改正をも企圖しつゝあるが多分次期の議會に提案するに到るべしといふ

▲矯正院設置計畫　司法省にては愈々第四十二議會へ少年裁判法案を提出するに決定したるが該法案の實施に關しては先づ少年裁判所を設置すると同時に更に犯罪行爲ある十四歳以上の少年少女を行刑する代りに矯正院に收容し其不良性を精神的に矯正する計畫にて山岡司法省參事官主として之が計畫方法につき調査研究中なりしが略大體の立案成りたる由而して從來内務省所管たりし少年感化院の事業を司法省に移すべきや否やに就ては未だ確定せざるも國家として不良少年及び不良少女の矯正を行ひ犯罪の卵を未然に防止するは戰後の刑事政策上最も急務なれば内務省と司法省と協議の上兩者を統一するを以て得策とすべく尚矯正院の事業は少年監獄と感化院と學校とを混一せるが如き組織の下に成るべく自由主義を取る事とし而して矯正院設置費豫算は約二百萬圓として大正九年度豫算に計上せしが第一期工事としては控訴院所在地の七大都市に設置する計畫なりと



會報

會誌

一、會誌の原稿に就ては幸に同人の努力と各方の共鳴に仍りて續々玉稿を寄せらるゝも、成るべく會員諸氏の高見が毎号に本誌に光彩を放ちたいように致し度いものであります。斯の點に於て各位が御謙退なく充分に本誌を利用して頂き度いものであります。

一、本誌の發行に就ては、必ず期日通りに致し度いと希ふてゐるのですが、何分印刷所等の關係上今迄は什うも理想通りに行き兼れるを遺憾と存じます、けれども、今非常に努力してゐますから遠からず順調になるとを信じます、何卒此の邊の御諒解を願つて置きます

交換雜誌

建澁雜誌　第三三輯第三九一號（建築學會）
建築世界　第十三卷第九號（建築世界社）
住宅　第四卷第九號（住宅改良會）
鐵道協會雜誌　第二十卷第九號（鐵道協會）
工業之友　第一四九號（工手學校）
工業之大日本　第十六卷第九號（工業之大日本社）
鐵と鋼　第五輯第九號（日本鋼鐵協會）
建築新報社　第一卷第五號（建築新報社）
建築評論　第一卷第五號　建築評論社
ガーデン　第三號（關西園藝協會）

寄贈雜誌

工業評論　木材新聞
オートモビル　ペイント商報
早瀨塗料商報　大橋月報
造船職工時報　商工時論
通俗衞生　產業勞働新聞
大工業

會合

第七部委員會（第十一回）

日時　大正八年九月八日午後六時—九時
會場　大阪商品陳列所
出席者　瀨戸（文）、松本（禹）、谷、新海、小笠原、龍村、波江、山崎（書記）
記事
一、木材品位決議に關し、最に谷委員より提案されし希望に就て同委員より說

明あり、之に對して二三質問及提議ありしが、次回に於て決議すべきことを協定す。

理事會兼各部委員會

日　時　大正八年九月六日午後六時——九時
場　所　大阪商品陳列所
出席者　片岡、日高、宗、野村、池田、（實）、山崎（書記）

記　事

一、第一部乃至第三部委員會の委員長は爰に理事の兼務せるを不可として辭任と共に委員長を推薦せし處、孰も事情に仍りて承諾なきを以て、至急再選すべき事を協定す。

一、次回の例會に第七部委員會の經過報告を爲すべく瀨戸委員長に交涉する事を決す。

一、其他、協會の諸般の事務に就て懇談を爲す。

第二十七回例會

日　時　大正八年九月十八日午後五時半——九時半
場　所　大阪商品陳列所
出席者　宗、小笠原、吉井、矢嶋、平塚、新海、淺井、光安、波江、土居、原、阪井、池村、永田、長田、大林、日高、野村、井上、吉木、片岡、須川、高橋、舟橋、瀨戸（文）、青田、谷本、大原、內藤、田中

記　事

一、宗主記より座長選擧を提議し、理事に其指名を託されむことを求め、滿場異議なく之に決す。

一、仍つて、宗主記は大原氏を座長に指名し滿場拍手之を迎へ、大原氏座長席に着く。

一、片岡理事長より、曩に內務省の諮問ありたる「市街地建築物法施行令」に就て、中央に於ける決議の結果に關し（一）地區の制限（二）ビルディングの高さ及用材の制限（三）住居地域（四）道路の境界線（五）不要突出物（六）地方長官が家屋の最低制度を定むる事（七）建築積の制限（八）建築物の賠償（九）過渡法の制定等に就て大要の說明あり、丁つて右に對して續々質問あり、片岡理事長一々之に對し說明を爲す。而して、右施行令案は追て協議を爲すことせり。

一、左記新入會員貳名に對する詮衡に移りしも、出席員規定數に足らざるを以て、先づ、出席員のみに於て諾否を決し、其他は通信決議の方法に據ることを決す、仍つて、採決の結果出席員は滿場之を承認す。

森萬次郎君　田邊隅一君

第七部委員會（第十三回）

日　時　大正八年九月廿二日午後六時——九時半
場　所　大阪商品陳列所
出席者　瀨戸（文）、新海、佐藤（彰）、吉木、置鹽、須川、大原、森、小笠原

記　事

一、床板の品位、寸法に就て意見を交換し、次回までに決定的意見を提出することに取り纏めて閉會せり。

新入會員

一、左記の諸氏は孰も頭書の通り新に入會されたり。

普通賛助員

野網友次郎君　清水半次郎君
屋崎　恒人君　大島居哲三君

西原　脩三君　辻井　太仲君

特別賛助員

萩原　貞君
（補遺）

地方會員

中村新治君（七月より入會ありしも報告漏れに付此處に紹介す）

▲左記諸氏の住所御通知あり度し

馬塲善一君
清水德治郎君
山口　博君
南　省吾君

會員長逝

一、會員宇佐美健人氏は、株式會社大林組建築係として勤務中なりしが、二惶の侵す處となりて終に去る七月九日長逝せられたり、仍つて、我日本建築協會は深厚なる哀悼の意を表すべく直ちに吊辭を贈りたり。

編輯だより

▲季は中秋に入り、紺青の虚空に嚙けば、神氣自ら清澄して、大自然の赤裸に觸るゝこと一層切實なるものを感じ申候

▲一箇年の季節を大自然の一大文章と觀候はゞ、秋季は實に其結論に御座候半むかと存候、而も雄偉なる夫れと存候

▲我等事に操觚の業ざに昏る者、顧みて其事起の上に奈何程の皈納を得候哉、懷ふて寔に忸怩たるざ次第に御座候

▲幸に、是より一層の努力を捧げて我協會の爲我國建築界の爲、殊に都市問題に貢獻の爲最善を竭し度相期し居候幸に本誌の使命遂行に向つて一層の御共力を仰ぎ度希望罷在候

役員及職員

理事長　片岡安
理事　宗兵藏（主記）
理事　野村一郎（編輯）
理事　松本禹象（編輯）
理事　日高胖（編輯）（主計）
編輯補　舟橋喜一
編輯補　波江悌夫
編輯補　佐藤四郎
書記　江村郊
書記　小谷信藏
書記　山崎萬壽夫

會員	一七三	會員（地方）	四二
名譽贊助員	六四	終身贊助員	三九
特別贊助員	九	普通贊助員	二四九
合計	五七六		

大正八年九月二十日印刷
大正八年九月廿五日發行　（毎月壹回廿五日發行）

大阪市北區相生町一三四
電話（東一八八三番）
發行兼編輯人　伊藤幸太郎
兼印刷人

印刷所　大阪活版所
大阪市東區今橋一丁目十一番地

發行所　日本建築協會
電話本局二二四一番
振替口座大阪三九、九七五

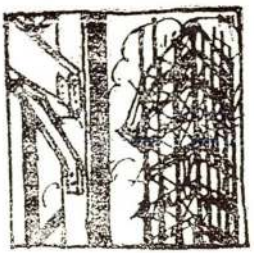
本誌及廣告料定價表

本誌	冊數	定價	郵稅
	一冊	金參拾錢	貳錢
	十二冊	參圓六拾錢	貳拾四錢

廣告料	種別	金額
	半頁	八圓
	一頁	拾五圓
	特別頁	貳拾圓
	裏表紙表	貳拾五圓

ベルン市建築條令

（上）



ベルン市建築條令（上）

備考　ベルン市建築條令ハ千八百三十九年三月七日ヨリ改正シタリ

1千八百七十八年十一月一日附市内建築取締ニ關スル規定第五條（第一附錄第一號參照）

2千八百七十八年十二月二日附組合決議（第一附錄第二號參照）

右改正事項ハ各條ニ掲ゲ規定ノ分ニハ（×）點ヲ附シ組合決議ノ分ニハ（十）點ヲ記セリ

ベルン市民組合ハ組合會ノ報告ト其發議トニ依リ千八百三十二年十一月十二日條令（第三條）及千八百三十二年十二月三十一日條令（第六十條及第六十一條）並ニ千八百三十三年十二月二十日附法律（第二十七條）ニ基キ又千八百三十八年一月十五日附ヲ以テ參事會ヨリ組合會ニ宛テタル依賴書ニ依テ當地知事ガ發シタル請求ノ結果警察委員ノ豫定會議ヲ經建築學協會ノ草案並ニ共和國ベルン建築署ノ注意書ヲ特ニ參考シテ千八百二十八年六月二十六日及二十八日付並ニ同年十二月六日付ベルン市建築警察條令ヲ調査シ且之ガ改正ヲ行フコト左ノ如シ

第一編　建築警察廳及建築警察事務取扱手續

第一條　市民組合會「ベルン」市及其管區内ノ建築警察廳ニシテ本條令規定ノ事務ヲ取扱フモノトス（×現時ハ建築委員ノ事務トナレリ）

第二條　本條令規定ノ取扱事項左ノ如シ本條令遵奉ニ付キテノ監視本條令適用上警察ニ關スル各事件ニ付キテノ判決但シ警察權ヲ有スル上級廳ニ抗告スルヲ妨ゲズ

建築事務ニ付キ假停止又ハ請求命令ヲ發シ若クハ上級警察廳ニ援助ヲ乞ヒ又危險發生ヲ認ムルトキハ必要ナル豫防手段ヲ施シ又ハ職權ヲ以テ徵罰事件ヲ警察事務裁判官ニ引渡スノ權

右ニ反シ本條令ニ規定ナキ私權上ノ關係ニシテ建築警察上ニ利害ヲ及ボサヽル所有用役（現時ハ建築委員會ノ事務）又ハ其他ノ契約事項職工トノ和解等ノ如キ事件ガ建築事務間ニ爭點トナレル場合ニアリテハ市民組合會ハ之等ノ事件ヲ所屬裁判官ニ引渡スベキモノトス

組合會ニハ懲罰權ナク單ニ引渡シノ權

アリ假停止又ハ準備請求ガ或物体ノ創設又ハ撤去ニ關シ其執レカノ執行ヲナスモ遣ハ懲罰ニアラズシテ警察上ノ取締ト云フベキ㠯ノトス

第三條 市民組合會ハ警察委員會（×現時建築委員會）又ハ其委員長又ハ官吏若クハ傭員ニ命ジテ直接又ハ間接ニ建築警察事務ヲ行フ

第四條 市民組合會（×現時ハ建築委員會）ハ條件付又ハ無條件建築ノ認可並ニ第二條ノ規定ニ依ル本條令ノ適用ニ關スル其他ノ判決並ニ建築事件ニ於ケル假禁止又ハ假請求ノ權及ビ何レカノ方面ニ危險發生ヲ認メタル場合ニ於テハ上級警察廳ニ援助ヲ請求シ並ニ處罰ニ關スル忌避ノ權ヲ有ス

右等ノ場合ニ於テ警察委員會（十建築委員會）及其會長ハ商議廳トシテ意見ヲ提出シ又市民組合會ハ鑑定人又ハ各官吏又ハ囑托員ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ行フ

第五條 危險發生ノ恐レアル場合ニ於テハ警察委員會（十建築委員會）ハ建築事件ニ付キ假禁止又ハ請求ヲ命令シ且上級警察廳ニ援助ヲ請求スルコトヲ得緊急ノ場合ニアリテ同委員會長自カラ之ヲ行フ但來期ノ市民組合會議ニ於テ右ニ關スル報告ヲナスヲ要ス然ルトキハ組合會ハ其處分ニ認諾ヲ與ヘ又ハ修正ヲ加フベシ（×此規定ハ廢止セラレタリ）

第六條 市民組合會ハ本條令（第二條）ノ勵行ニ付キ第一ニ其警察委員會（十建築委員會）又ハ同委員長ヲシテ監視報告ヲナサシム市内警察廳（十市内建築會）ノ各官吏屬員又ハ使丁並ニ市内ニ於テ作業スル棟梁建築職夫及ビ煙突掃除人モ亦右ニ關スル業務ヲ忠實ニ行ヒ警察委員會（十建築委員ニ）會長ニ向ヒ直チニ其屆出ヲナスベシ委員會長ハ其屆出ガ書面ヲナラザル場合ニ於テ即時之ガ書面ヲ作リ屆出人ヲシテ署名セシメ本條令ニ依リテ其手續ヲ進行スルモノトス前記棟梁建築職夫及煙突掃除人ハ右ニ關スル義ノ忠實ナル履行ニ付知事ニ對シ握手宣誓ヲ行ヒ警察委員會（十建築委員會）ハ其旨調書記入スベン

第七條 建築警察廳並ニ其官吏ハ現存建物ノ狀態ヲ內外ヨリ檢査シ各新築又ハ各部作業ニ付キ警察上ノ監視ヲ行フノ權利義務ヲ有ス

建築主又ハ其職工ニシテ僞築、上塗、築壁板張又ハ其他ノ方法ヲ以テ違犯事項ヲ隱蔽セントシタルトキハ建築警察廳ハ建築主ノ費用ヲ以テ其被覆物ヲ剝ギ第十五條ノ規定ニ依テ違犯者ヲ處罰スルノ權ヲ有ス

第八條 第二條ニ揭ゲタル建築事件ニ關スル禁止又ハ請求命令ヲ發スル官廳ハ其命令ヲ書面ニ作リ建築ヲ管理スベキ建築主又ハ棟梁ノ許ニ使丁ヲ以テ送達セシム但右ニ付相當ノ証明ヲ提示スルヲ要ス又危險發生ノ恐レアル場合ニアリテハ其旨命令書中ニ記入スルヲ要ス危險ノ恐レナキ場合ニアリテハ二十四時間內ニ處置抗議ヲ受ケタルトキハ其命令ヲ停止スベシ但抗議アリタルニ不拘官廳ニ於テ其命令ノ實行ヲ固執セントセバ知事ニ對シテ命令ヲ乞フベシ此場合ニ於テ知事ハ概括的調査ヲ行ヒ前命令變更シ又ハ變更セズシテ建築警察廳ニ對シテ下附シ又ハ拒絶スルヲ得而

メ該處分ニハ一時上級判決ノ下ルマデ服從スルヲ要ス

二十四時間以内ニ拒絶ヲ受ケザルトキハ命令ハ一時其進行ヲ繼續スベシ但シ第十二條ニ規定スルガ如ク建築主又ハ棟梁ハ之ニ對シテ抗議ヲナスヲ妨ゲズ命令送達ヨリ之ニ對スル抗議ノ判決確定ニ至ル期間ニ於ケル違犯行爲ニハ第一級ノ罰ヲ課スベシ而メ之ニ對シテ二十四時間内ニ異議ノ申立テナキ場合ニアリテハ警察ハ犯人ノ費用ヲ以テ規定ノ位置ニ復セシムベシ

知事ヨリ發セル禁止令又ハ命令ニ對スル違犯行爲ハ第二級ヲ以テ處罰ス而テ其事件ハ警察權ヲ以テ規定ノ位置ニ復セシム

第九條 危險發生ノ恐レナキ建築事件ニ關スル要求ニアリテハ命令廳ハ其命令中ニ實施ニ要スベキ適當期間ヲ揭ゲベシ而テ建築主ニ於テ相當ノ請求ヲナシタル場合ニアリテハ事情ニ從ヒ期間ノ延長ヲナスベシ建築主ハ期間延長拒絶ノ場合ニアリテハ上級廳ニ向ヒ抗議ヲナスノ權ヲ有ス

要求ノ期間經過後ニ至リテモ滿足ナル效果ヲ奏セザル場合ニアリテハ警察廳ハ懈怠者ノ費用ヲ以テ其工事ヲ準備施行シ懈怠者ヲ處罰ス

命令ニ對スル抗告ノ理由ナキヲ發見シ又ハ認メタルトキ亦同シ禁止又ハ警察禁止令ヲ受ケタル後二十四時間内ニ建築者之ニ從ハザルトキハ警察廳ハ建築者ノ費用ヲ以テ禁示行爲ヲ中止セシムベシ

第十條 建築警察廳、警察委員會（十建築委員會又ハ委員長ガ禁止又ハ要求ニ當リ明カニ危險發生ノ恐レアルトキハ其命令ハ直チニ實施セラルベキモノニシテ此場合ニ於テ建築警察長ハ建築主ノ費用ヲ以テ假リニ必要ナル工事ヲ施スノ權ヲ有ス但建築主ハ上級廳ニ對シテ抗告ヲナスノ權及該告ガ理由アルモノニシテ上級廳ニ於テ之ニ關スル賠償ヲ認ムルニ於テハ要償權ヲモ有スルモノトス

右ノ如キ禁止又ハ要求ニ反スル行爲ハ第二級ノ處罰ヲ受クベキモノトス

第十一條 建築警察廳ハ前數條ノ規定ニ依リ一時中止ヲ命ズベキ行爲ヲ防止シ又ハ警察廳ガナスベキ事ヲ工防護セン爲メ知事ニ向テ官權ノ援助ヲ請求スルノ權ヲ有ス

第十二條 （※建築取締規定第五條第三項ニ依リ本條ノ一部ヲ變更セリ）建築警察廳警察委員會（十建築委員會）又ハ其委員長ノ處分ニ關スル抗告ハ知事ニ向テナスベキモノトス但シ引續キ參事會ニ提出スルヲ妨ゲズ而メ知事ノ處分ニ關スル抗告ハ直チニ參事會ニ向テナスベキモノトス右ニ關スル一切ノ手續ハ官吏ニ對スル行政訴訟法ノ規定ニ依ル

處分ニ關與シタルモノハ各自抗告ノ權ヲ有ス故ニ知事ノ處分ニ對シテハ建築警察廳亦其權ヲ有ス

第十三條 知事ハ工事ニ關シテ建築警察廳ノ要求ナキモ自ラ進ンデ禁止令又ハ命令ヲ發シ建築警察廳ノ請求ニ依リタル場合ノ如ク處分ヲ行フコトヲ得

第十四條 本條令ニ依テ處罰スベキ罰科左ノ如シ

本科第一級ニ對シテハ一乃至廿五フランケンノ罰金

又ハ無資產者ニ對シテハ一日乃至三日マデ（二十四時間）ノ拘留

第二級ニ對シテハ十乃至百フランケンノ罰金又ハ無資産ノ場合ニアリテハ二日乃至六日マデ（二十四時間）ノ拘留

過失者ガ他ノ法律又ハ條令ニ依リ同一ノ罪科ニ付キ處斷セラルヽ場合ニアリテハ本規定ノ罰ヲ除ク

罰金ハ其三分ノ一ヲ國庫ニ三分ノ一ヲ市内貧民ニ三分ノ一ヲ處分者ニ分與ス但シ處分者ニ受取ノ意志ナキ場合ニアリテハ其金額ハ市民警察金庫ニ歸ス（十建築金庫）

第十五條 第一級ニ屬スベキ罪科左ノ如シ

1 本章程規定ノ罰科ヲ輕視シ本令ニ違反シタル行爲

2 二十四時間以内ニ拒絶ヲナサズシテ（第八條）建築警察廳ノ禁止又ハ要求ニ違反シタル單純行爲

第二級ニ屬スベキ罪科次ノ如シ

1 初犯ニテハ第一級ニ屬スベキ事件ヲ反復シ又ハ前記載ノ方法ヲ以テ同時ニ本令數箇條ノ規定ニ違反シタル行爲

2 知事ガ工事ニ關シテ發シタル警察命令又ハ警察禁令（第八條及第十三條）ニ反シタル行爲

3 命令ヲ受ケタル地ニ榜示ヲ施サズ又ハ工事ノ認可ヲ受ケズ又ハ工事認可條件又ハ規定ニ反シテ工事ヲ開始シタル行爲

4 禁止事項ヲ故意ニ隱蔽シタル場合

5 地形及隔壁ノ厚サ及建築法ニ關スル規定ニ違反シタル行爲

違反行爲トハ禁止行爲ヲナシ又ハ命令行爲ヲ停止シタル行爲ヲ云フ

第二編 工事施行ニ付キ必要ナル準備

第十六條 何人ニテモ「ベルン」市内ニ於テ新タニ工事ヲ開始シ又ハ現在ノ建物ヲ高メ又ハ之ガ取壞ゲチナサントスルモノハ先ツ其目的トセル建築ノ場所及近傍ノ略圖ヲ調製シ工事實施認請書ヲ市民警察委員會（十建築委員會）ニ提出シ同時ニ審査用トシテ左ノ書類ヲ呈出スベシ

1 詳細ナル工事設計圖但新築物ニアリテハ建物平面圖及境界綿亜ニ本壘ヲ一定シテ特ニ本圖ニ顯ハスベシ

2 新築建物ノ斷面圖

3 建物ノ本坪數並ニ其用途及其建築方法ヲ詳記セル仕樣書

穴庫、井（ポンプ井又ハ引揚井）溝等ヲ掘鑿セントスル場合ニアリテハ符號又ハ其他ノモノヲ以テ其地點ヲ表示スベシ而テ略圖又ハ本條3項ノ書面ニハ掘鑿ノ深サ及ビ隣家所有地ヨリノ距離ヲ詳記スベシ

第十七條 何人ニテモ路道又ハ或場所ニ現在セル建物ヲ取拂ヒ建築場ヲ空地トシテ使用セントスルトキハ前條ノ如キ審査用ノ書類ヲ市民警察委員會ニ提出スベシ（十建築委員會）

第十八條 何人ニテモ市街地又ハ共有地ニ於テ建築數設排出ヲ行ハントスルトキハ提出書面中常ニ特ニ詳記スルヲ要ス工業又ハ法定認可ノ障碍的業務ヲ營マンガ爲メ建物、製造所、車動力又ハ機械動力機又ハ溶解爐ストーブ、火爐又ハ蒸汽爐ヲ有スル工場ヲ建築變更又ハ轉移セントスルトキハ亦同ジ

第十九條 障碍物權利ノ付着セザル建築場ニ於テ其權利ヲ行使セントスル目的

ガ新築ニ附隨セル場合ニ於テハ特ニ政府ニ對シテ必要ナル認可ヲ追願スベシ何トナレバ建築認可ナルモノハ政府ヨリ認可サレベキ之等權利行使ニ關係ナクシテ單ニ建築及消防警察ノ規定ニ依リ營業用ノ設計建築ヲ實施スル上ニ關係ヲ有スルニ過ギザレバナリ

第二十條 前條ニ示セル建築設計ニ關シテハ建築主ハ官報ヲ以テ二回ノ廣告ヲナシ右ニ付異議アルモノハ最終廣告ノ日ヨリ四週間内ニ市民警察廳（十市内建築廳）ニ申出ツベキ旨催告スベシ此期間經過後ノ異議ニ對シテハ受付ケヲナスコトナシ但法律規定ノ手續ヲナスベキ官署ノ權利ハ此限リニアラズ

第二十一條 提出シタル圖面並ニ建坪ノ標示書面（第十六條及第十七條）ハ右廣告期間中市民警察廳内（十建築委員會）ニ置キ衆庶ノ閲覽ニ供スベク又建築場ニ設置セル圖面ハ變更ヲ許サズ認可前ニ於テ建築掘鑿又ハ取壞等ノ開始ヲ許サズ（第十六條及第十七條）

第二十二條 建築ノ認可又ハ拒絶ノアリタル場合ニ於テハ標榜ヲ撤去スルヲ得但建築上爭ヲ生ジ（第二十五條）其結果判決確定マデ引續キ保存ヲ要スルアリ此場合ニ於テ建築警察廳ハ相當假處分ヲ施スモノトス

提出ニ係ル書面並ニ圖面ハ其他ノ命令書類ト共ニ建築完成後一ケ年間市民警察廳ニ於テ注意保存シ建築主ガ認可事項ニ違反セルヤ否ヤヲ判定シ得ルノ用ニ供スベシ

第二十三條 四週間ノ期間（第二十二條）經過後十四日以内ニ警察委員會（十建築委員會）ハ職權ヲ以テ設計工事ノ建築上及消防上幷ニ營業上及衛生警察上幷ニ共故障如何ニ注意ヲ拂ヒ且異議申込事件ニ關シテ審査ヲ行ヒ建築主幷ニ異議申立人ノ理由及反對理由ニ付キ口頭辯論ヲ開クベシ

建物ノ高サヲ增築スルカ又ハ改築ニアリテハ土臺トナルベキ本壁及中壁ノ强度ヲ特ニ檢査スベシ

右檢査ノ際ニハ噪ハガシキ又ハ其他公衆ノ厭フベキ又ハ火災ニ罹リ易キ工場ヲ本道路ニ接シ（第三十四條）又ハ寺院學校病院ノ附近ニ設立セザル樣可成的將來ノ爲メニ慮カルベキモノトス

第二十四條 建築警察廳ハ警察委員會（十建築委員會）ノ報告ニ基キ警察上建築ノ許否ニ付キ直ニ決定ヲ行ヒ請求ニ對スル認可証又ハ理由ヲ附シタル（×現時ハ建築委員會ニ於テ此決定ヲ司ル）拒絶書ヲ與フベシ工事ノ一部ヲ許可スベキモノト認メタルトキハ訂正建築圖面ノ提供マデ其認可ヲ延期スルコトヲ得

設計工事ハ認可証下附ノ日ヨリ一ケ年内ニ開始スベシ然ラザレバ該認可ハ消滅シタルモノト見做サルベシ

第二十五條 工事ニ對シテナサレベキ異議申立ガ私權上ノ原因契約又ハ要役ニ關スルモノナルトキハ該障碍事件ガ確定スルマデ警察認可ハ其効力ヲ中止ス

第二十六條 建築主及ビ其職工ハ自己ノ費用ヲ以テ相當ノ準備ヲ施シ作業ノ爲メ隣家ノ建物庭園又ハ所有地權ニ損害ヲ加ヘザルノ責任ヲ有ス

第二十七條 建築主及其工事者ハ殊ニ取毀ハシ堀鑿又ハ築設ノ際接近セル建物又ハ自己ノ建物ニ適當ニ且充分ノ支

柱ヲ與ヘ壁及圍天井又ハ地盤ハ土止板又ハ足場ヲ以テ之ガ警戒ヲ加ヘ雨雪等ノ侵入セザル樣屋根又ハ壁ヲ設ケ共有又ハ隣家圍障ノ入口ハ夜中及祭日ニ於テハ之ヲ閉鎖シ其他一般ニ建築ノ結果ト見做サルベキ震動降下、龜裂、陷落、濕氣、火災又ハ盜難ニ罹ラザル樣隣家所有物ノ安全ヲ計ルベキモノトス

右規定ヲ輕視セル結果損害ヲ受クベキ恐レアル場合ニ於テハ各所有主ハ建築主ニ向テ懇切ナル忠告ヲ與ヘ其結果ナキニ至リ建築警察廳ノ仲裁ヲ仰グベシ然ルトキハ警察廳ハ即時建築主ニ向テ必要ナル準備ヲ命ジ又ハ其費用ヲ徵シテ準備工事ヲ施サシム

第二十八條 新築又ハ修繕ノ爲メ隣家ノ所有物ニ損害ヲ與ヘタル場合ニ於テハ建築主ハ當ニ破壞又ハ損傷シタル物品ヲ自己ノ費ヲ以テ確實ニ修理スルニ止マラズ其期間所有者ノ使用權又ハ處分權ヲ侵害シタル程度ニ對シ相當ノ賠償ヲナスノ義務アリ

工事實施ノ爲メ不得止隣家ノ建物又ハ土地ヲ通行シ又ハ材料等ノ置場ニ使用スル場合ニ於テハ常ニ豫ジメ之ヲ隣家ニ通知シ愼重ニシテ叮嚀ナル擧動ヲ有スベシ但此場合ニ於テ故障ノ生ジタルトキハ建築警察廳之ガ判決ヲナス

第二十九條 （※注意千八百七十七年六月十八日附公有地）ニ於ケル建築材料ノ積卸及積置ニ關スル警察令參照（附錄第二號）石材木及其他ノ建築用材料ハ建築警察廳ノ特別認可ヲ受ケタルトキニ限リ警察廳ノ指定セル期間以內ニ於テ街路、場所、井ニ其他一般ノ公有地ニ積置クヿヲ得

シエルメン（工場用小屋）車付引揚機械及第二十七條ニ揭ゲタル安全準備品ニ付キテモ亦同ジ如何ナル場合ヲ問ハズ道路ノ半分及ビ隣家ニ通ズル入口及通路ニ積置クベカラズ又夜中ハ道路閉塞セル部面ニ點燈ヲナスベシ警察廳ハ建築主ノ費用ヲ以テ之ガ設備ヲナサシム狹隘ナル道路ニ於テ建築ヲナサントスルトキハ其材料ハ他所ニ於テ仕上ゲヲナスベシ又材木ニアリテハ如何ナル工事ニアリテモ常ニ仕上ヲ經テ目的地ニ送ルベキモノトス小路ノ入口ハ休息時間中其通路ヲ蔽ヒ又ハ柵ヲ施スベシ

通路ニ接シテ修繕ヲナシ又ハ石板目立テ作業ノ場合ニアリテハ其作業中通路ヲ閉鎖スベシ

第三十條 取毀ハシ及築設ハ中止スルヿナク可成的迅速ニナスベシ、材木、石、瓦又ハ其他ノ破片ハ之ヲ放下セズ上下器ヲ以テ降スベシ

第三十一條 直チニ再ビ使用スルヲ得ザル破損物品例セバ上下器棚又ハ支柱等ノ如キモノハ不用後即時之ガ取除ヲナスベシ

道路鋪石又ハ其他公有建設物ヲ建築ノ結果損傷シタル場合ニアリテハ**建築主ハ自己ノ費用ヲ以テ確實ニ修復スルヲ要ス**

第三十二條 本條令ニ揭ゲタル面積ハ新瑞西式尺度ニ依ル

第三編 家屋ノ建築

I 建物前面其道路關係井ニ其前面ニ設備シ得ベキモノトス

第三十三條 道路及公ノ場所ニ向ヘル建物ノ前面ハ如何ナル場合ニアリテモ石造トナスベシ

從來ノ木造又ハ木及煉瓦石混合建物ノ前面ヲ全部若クハ一部改築ノ際再ビ木造又ハ木及煉瓦石混合ニナスヲ許サズ

第三十四條　本道路（即チ裁判小路、小間物小路、市場小路、病院小路、及町門ノ間）ニ接スル前面ハ完全ナル切石ニシテ外部ヲ美麗ニ切揃ヘタルモノニテ建設スベシ副小路ニ接シ又ハ公ノ場所ニ面スル前面ニアリテハ碎石、煉瓦、又ハ土燒ノ壁瓦造ヲ許ス但之等ハ裏積壁ト相互ニ適當ナル接合ナシ善ク洗滌シテ外面ニ石灰モルタルヲ塗ラレタルモノナルヲ要ス然ルニ之等ノ斜角、隅角、及縁ニアリテハ常ニ加工セル角石ヲ用ユベキモノトス之ニ反シテ粘土又ハ粘土製舗瓦ノ築壁ハ絶對ニ禁止ス

第三十五條　三十呎以上ノ幅ヲ有スル街路ニ沿ヒ又ハ公ノ場所ニ接スル建物ノ前面ハ五十四呎以上ノ高サトナスヲ得ズ又前條ニ示セル本道路ニ接セスルモノニアリテハ四十四呎以下ノ高サトナスコトヲ得ズ而テ所謂セントソール半階層一ヲ算入シ階層四以上ヲ有スルヲ得ズ又各階ハ衛生ノ點ヨリ天井內面ニ於テ九呎ヨリ低キヲ得ザルモノトス

幅三十呎以下ノ街道ニ接シテ築設セラルベキ前面ノ高サハ建築警察廳ニ於テ之ヲ指定シ全街路ヲ通ジテ同一ノ高サトナサシム

本條令又ハ特別ノ場合ニ於テ規定セラルベキ高サハ組合會ノ表示セル水平面ヲ以テ標準トナス

第三十六條　切石又ハ粗石造前面ノ壁ノ厚サヲ左ノ如ク定ム

1 三階造建物ニアリテハ

根積及土中室ニ於ケル各新築ノ前面壁厚ハ二呎五吋以上地階ニ於テ二呎一吋五分第一階ニ於テ一呎九吋第二階ニ於テ一呎六吋五分第三階ニ於テ一呎四吋ノ壁厚ヲ要ス

2 四階建物ニアリテハ

各新築前面ハ根積及土中室ニ於テ三呎以上地階ニ於テ二呎四吋第一階ニ於テ二呎一吋五分第二階ハ一呎九吋第三階ハ一呎六吋五分第四階ハ一呎四吋ノ壁厚ヲ要ス

碎石又ハ煉瓦ヲ以テ築ケル前面ニアリテハ右規定ノ厚サヨリ二吋半多カラシムベシ

幅三十呎以下ノ街道ニ接スル新築ニ於テ外壁ハ建築警察廳ニ於テ階數ニ比シテ薄キ壁厚ヲ許スコトアルベシ尤モ此厚サハ何レノ場合ニアリテモ建築認可書ヲ以テ指定スベキモノトス

建築警察廳ノ檢査ニ依リ（二十三條）上記規定ノ厚サヲ有シ且堅牢ナル場合ニアリテモ舊建物前面上ニ高築ヲ許サズ而テ其全高サニ於テ壁厚ノ半分以上側石ノ上ニ突出セル場合ニアリテハ警察上其前面ヲ取毀ハシ新築スベキモノトス

第三十七條　新建物前面ハ建築認可書指定ノ方面（道路線）ニ向ハザルベカラズ但之ガ爲メ建築主ニ於テ場所ヲ失フ場合ニアリテハ當然賠償ヲ受クベシ

第三十八條　出窓（ラウベ）、便所入口前ノ昇降段、ベロン戶外階段、下水、煙筒、床張出、鐵格子又ハ其他家屋前面ノ平面ノ路線ヲ超ヘテ道路又ハ場所ニ突出シタル裝置又ハ屋前ノ通路ヲ妨害スベキ物体ノ建設ハ之ヲ禁ズ

ラウベヲ有セザル建物ニ限リ此人道ニ出ツベキ一呎幅ノ戸前階段ヲ設クルヲ得

ラウベナキ家屋ニ接シテ支柱ヲ設クルヲ得ズラウベ支柱ノ場合ニアリテハ支柱ハ其上ニアル圓天井ヲ堅牢ナラシムル爲メニ必要ニシテ且專門家ノ鑑定ニヨリ各場合ニ於テ建築警察廳ガ許可シ得ベキ範圍内タル事又家屋前面ノ側石ヲ超エテ突出セシムベカラズ

ラウベナキ家屋ニ於テ戸前ニ人道ノ設ケアリテハ場合ニアリテハ第一階ニ鐵欄ヲ有スル屋根ナキ石造出窓ヲ設クルヲ得但此出窓ハ兩極端ニアル窓ニ達セサルヲ要ス而テ四呎以上突出スルヲナク人道ヨリ十二呎以上高キヲ要ス

第三十九條 硝石ノ爲メ損傷ヲ生ズルカ又ハ其他ノ爲メニ支柱又ハ前面建物ノ修理ヲ必要トセル場合ニアリテハ建築警察廳ハ假檢査ヲ行ヒ右ハ全部新築トナスベキモノナルヤ又ハ一部ノ移轉修繕ヲ施スベキモノナルヤヲ指定スベシ但此修繕ニアリテハ張付ケ物ノ厚サヲ七吋五分以下トナスコトヲ得ズ

2ラウベ人道穴庫入口及階段

第四十條 歩行者ノ一般使用ニ供セラルヽラウベ又ハ通路ハ新築家屋ニアリテハ少クモ十呎以上ノ幅ニナスベキモノトス而テ其床ヨリ天井ニ達スル高サ並ニ其上部ノ圓天井ノ高サハ少クトモ十呎アルヲ要ス又隔壁ニ於ケル圓天井ハ石客製天井ヲ阻止スルヲナク又明取リニ困難ナラザル樣之ヲ高クスベシ

建築警察廳ノ認可ヲ受クルトキハラウベヲ有セザル家屋ノ前ニハ石造ノアプワイセルヲ設置シ得ベキモ入口及歩行者通路ハ決シテ之ヲ鎖サスコトヲ得ズ

街路上ニ設クル柵ハ警察委員會ノ指圖ヲ以テ家屋所有者ヲシテ自己ノ費用ニテ轉置若クハ取拂ハシムベシ

ラウベナキ家屋線ニ於テ一般使用ノ人道ヲ必要トセル場合ニアリテハ警察廳ハ組合ノ費用ヲ以テ之ヲ設ケ現在ノ土中室入口及ビ坑ハ之ヲ埋メ其他ノ障害物ヲ取拂ハシムルコトヲ得人道ニ於テハ穴庫入口ヲ將來設クルコトヲ得ズ

第四十一條 ラウベノ通路ハ床ノ階段又ハ壁ヨリ一呎以上突出セル戸前ノ階段扉掛、格子突起セル穴庫ノ明窓又ハ其他ノ建築物又ハ器具ヲ以テ之ヲ狹ムルヲ得ズ又支柱及穴庫入口箱壁（第四十三條）ハ家屋前面ノ外部側石ヨリ三呎以上ラウベ内ニ入ルベカラズ

ラウベ前街路上ニハ通常各軒下ニ四呎ヲ下ラザル幅ヲ有スル自由ナル出口ヲ設クベシ而テ必要ノ場合ニアリテハ之ニ踏段ヲモ設クベシ此踏段ハ家屋前面ノ平面ノ外部側石ヨリ一呎以上小路又ハ園地ニ向ヒ突出スベカラズ又側石ヨリ二呎以上ノラウベ内ニ引込ムベカラズラウベノ床ガ街路ヨリ一呎半以上高キ場合ニアリテハ階段ノ設ケアラザル部分ニ圓ヒ格子ヲ設クベシ之ニ反シテ街路及ラウベノ水平面ガ二呎以上ナル場合ニ於テハ係ノ廳各水平面ニ依リ必要ニ應ジテ通路階段若クハ圓ヒ格子ノ取付ニ付キ決定ヲ與ヘ必要ナル處分ヲ行フモノトス

第四十二條 ラウベ人道及通路ニ向ヘル各地階室ノ窓及ビ道路前面窓ニシテ街路又ハ人道ノ水平面ヨリ少クトモ七呎以下ノ高サニアルモノハ外部ニ開クヲ

許サズ又穴庫ノ明窓ハ横ニ開クベカラズ而テ其オトシ窓蓋及扉ハ引戸又ハ取放ツコトナシ得ル様構造スヘシ

右ノ規定ハ獨リ新築ノ場合ニ適用スルニ止マラズ窓・窓蓋等ノ修繕若クハ同種ノ新設ニアリテ亦之ヲ準用スルモノトス

第四十三條 場所道路及小路ニ面スル各穴庫入口ニハ錠前付戸ヲ備フベシ

入口上ニ設ケタル穴庫入口箱壁ハ修繕ノ際ニハ覆ヒ格子ヲ以テ之ニ代フベシ

場所ニ依リ右ノ變換ヲナシ能ハザルモノニアリテハ建築警察廳ハ舊箱壁ヲ石造ニ改築セシムベシ但シラウベノ床ヨリ三呎以上ノ高サヲ有スベカラズ

穴庫入口ノ屋蓋ハ凡テ高ク設クルヲ許サズ

第四十四條 ラウベノ床ニハ砂石板又ハ硬石板（但ゴルヂスウイル板ヲ使用スベカラズ）又ハ「アスファルト」ヲ敷キ家屋持主ハ之ガ保存ノ責ニ任ズ現ニゴルヂスウイル板又ハ其他ノ硬石ニシテ切目ノ磨滅シタルモノアル場合ニ於テハ警察廳ハ當該家屋主ノ費用ヲ徴シテ目立テ工事ヲナスベシ修繕ニアリテハ四平方呎面以下ノ石板ヲ使用スルヲ得ズ又此際ニ床ノ水平面ニ注意スルヲ要ス

ラウベノ通路ニハ碎石ヲ敷クヿヲ得

第四十五條 新築家屋ニアリテハ屋根階ニ達スル石造ノ階段ヲ取付クルヲ要ス

而テ階段室ハ總石造トナスベシ故ニ踏段ヲ木材積込壁ニ取付クルヿヲ禁ズ又新築家屋ニアリテハ廊下ラウベ及人道ノ床ニ穴庫ノ梯子ヲ取付クルコトヲ嚴禁ス

若シ右種類ノ揩梯ガ現存セル場合ニアリテハ殊ニ注意ヲ用ヒテ其入口ヲ掩ヒ圍ヒ格子ヲ其口ニ設ケ充分ニ墜落ヲ防ゲベシ

裳華房
池田稔事務所
出浦建築事務所
新海工務所
大阪工務所
渡辺建築事務所
片岡建築事務所
横河工務所
宗建築事務所
真水工務所
真水三橋建築事務所
古橋建築事務所
遠藤於菟
木子建築事務所
設楽建築工務所
川崎工場
茂、野村建築事務所

池田勘蔵
大倉土木組大阪出張所
橋本料左衛門
大林組
竹中工務店
久保田工務所
長瀬兵馬
山本鑑之進工務所
山中建築部
松村組
山本組
鴻池組
小西組
木村組
安藤組大阪出張所
清水組大阪支店
清水福太郎

山本窯業商店
銭高組
石井定七
加佳美石商会
濱恒次郎本店
矢橋商店
松尾和助本店
大阪鉄筋混凝土工務所
砂崎
北木島石材大阪出張所
有田製陶所
ホーン大阪支店
巣鴨製作所大阪支店
原安商会
明正社大阪支店
日本コルク
日本石綿盤製造

山本商会
宇野沢組スティンド硝子製作所
西原衛生工業所
河津商店
大野正営業所
大阪煖房商会
大阪電気商会
高田商会
横河橋梁製作所
高石商会
大阪窯業
銀座建築用品店大阪支店
浅海商店
村井工業所
野沢幸三郎商店
コルク工業
須賀商会
共同建材製作所
米国貿易会社

銀座建築用品店
穴原商会
内外土木建築材料
浅野スレート大阪出張所
栄進社
茂木